

**和歌山県高齢者等生活意識調査
(高齢者一般調査)**

報 告 書

平成29年3月

和歌山県 福祉保健部
福祉保健政策局 長寿社会課

< 目 次 >

1 . 調査の概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 回収状況	1
2 . 高齢者一般調査の結果	3
(1) 回答者	3
(2) 回答者の属性	4
(3) 仕事や収入について	11
(4) 近所づきあい、外出の状況などについて	13
(5) 買い物などの日常の状況について	16
(6) 通院状況などについて	25
(7) 健康について	28
(8) 今後の在宅での暮らし、住み替えなどについて	34
(9) 自宅での看取りの考え方などについて	40
(10) 高齢者の生活支援や介護の仕事について	44
(11) 介護保険制度などについて	48
(12) 認知症について	52
(13) 自由意見	54
3 . 調査間の比較	56
(1) 回答者の属性	56
(2) 日常生活について	58
(3) 医療等の状況について	61
(4) 健康について	62
(5) 住まい、住み替えなどについて	64
(6) 看取りなどについて	66
(7) 高齢者の生活支援や介護の仕事について	67
(8) 介護保険制度等について	69
(9) 認知症について	70
参考資料：アンケート調査票	72

1. 調査の概要

(1) 調査対象

本調査は、和歌山県在住の以下の3種類の対象者に調査を行いました。調査対象者の抽出にあたっては、市町村別に一定の標本数を確保するために、市町村単位の層化を行い、標本数を配分したうえで、各市町村において無作為抽出を行いました。

調査は郵送により配布・留置し、郵送で回収しました。

高齢者一般調査	平成28年8月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されていない人	合計3,000人を抽出
要支援・要介護者調査	平成28年8月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されている人	合計2,000人を抽出
第2号被保険者調査	平成28年8月1日現在、県内在住の40～64歳の人	合計2,000人を抽出

(2) 回収状況

調査票の回収状況は以下の通りです。

	高齢者一般調査	要支援・要介護者調査	第2号被保険者調査
配布・発送数	3,000	2,000	2,000
配布実数※	2,977	1,983	1,985
回収数	1,984	1,042	983
回収率	66.6%	52.5%	49.5%

※未達分を除く有効配布数

本報告書は、上記3種類の調査のうち、**高齢者一般調査**について報告するものです。

(調査結果の見方)

- ◆集計にあたっては、平成27年国勢調査人口を基準人口として、市町村別の標本数の補正を行っています。
- ◆集計値はすべて%表示です。なお、四捨五入により小数点以下第1位までの表示としており、見かけの合計値が100%にならない場合があります。
- ◆複数回答の質問は、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- ◆図表中、帯グラフでは、表示が煩雑になるため、3.0%未満の比率については数値表示を省略しています。
- ◆標本数（回答者数）は図表中に「N=」と表示しています。それ以外の数値は回答比率の百分率（%）です。表示が煩雑になるため、%等の単位表示は省略しています。

(集計における「地域区分別」の対象地域)

- ◆県内において、比較的人口の集中している地域と、人口の少ない地域における地域特性の分析等を行うため、県内市町村を以下のように「都市地域」と「都市地域以外」の категорияに区分し、「地域区分別」の集計を行いました。

都市地域	都市地域以外
和歌山市	田辺市（旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町）
海南市	新宮市（旧熊野川町）
橋本市	紀の川市（旧粉河町・那賀町・桃山町）
有田市	紀美野町
御坊市	かつらぎ町
田辺市（旧田辺市）	九度山町
新宮市（旧新宮市）	高野町
紀の川市（旧打田町・貴志川町）	湯浅町
岩出市	広川町
	有田川町
	美浜町
	日高町
	由良町
	印南町
	みなべ町
	日高川町
	白浜町
	上富田町
	すさみ町
	那智勝浦町
	太地町
	古座川町
	北山村
	串本町

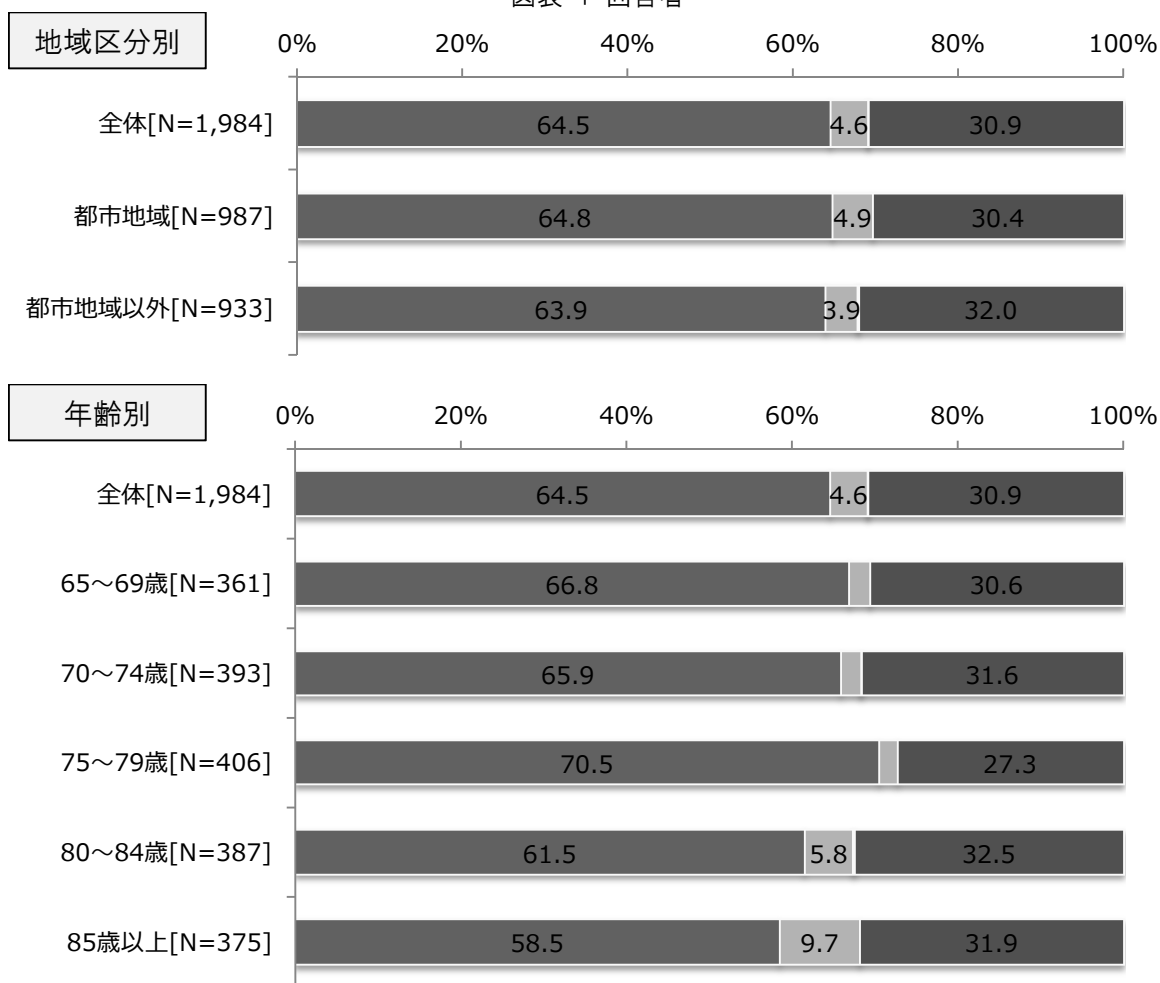
2. 高齢者一般調査の結果

(1) 回答者

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。(あてはまるもの1つに○)

調査票の回答者は、「あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）」が64.5%となっています。

図表 1 回答者



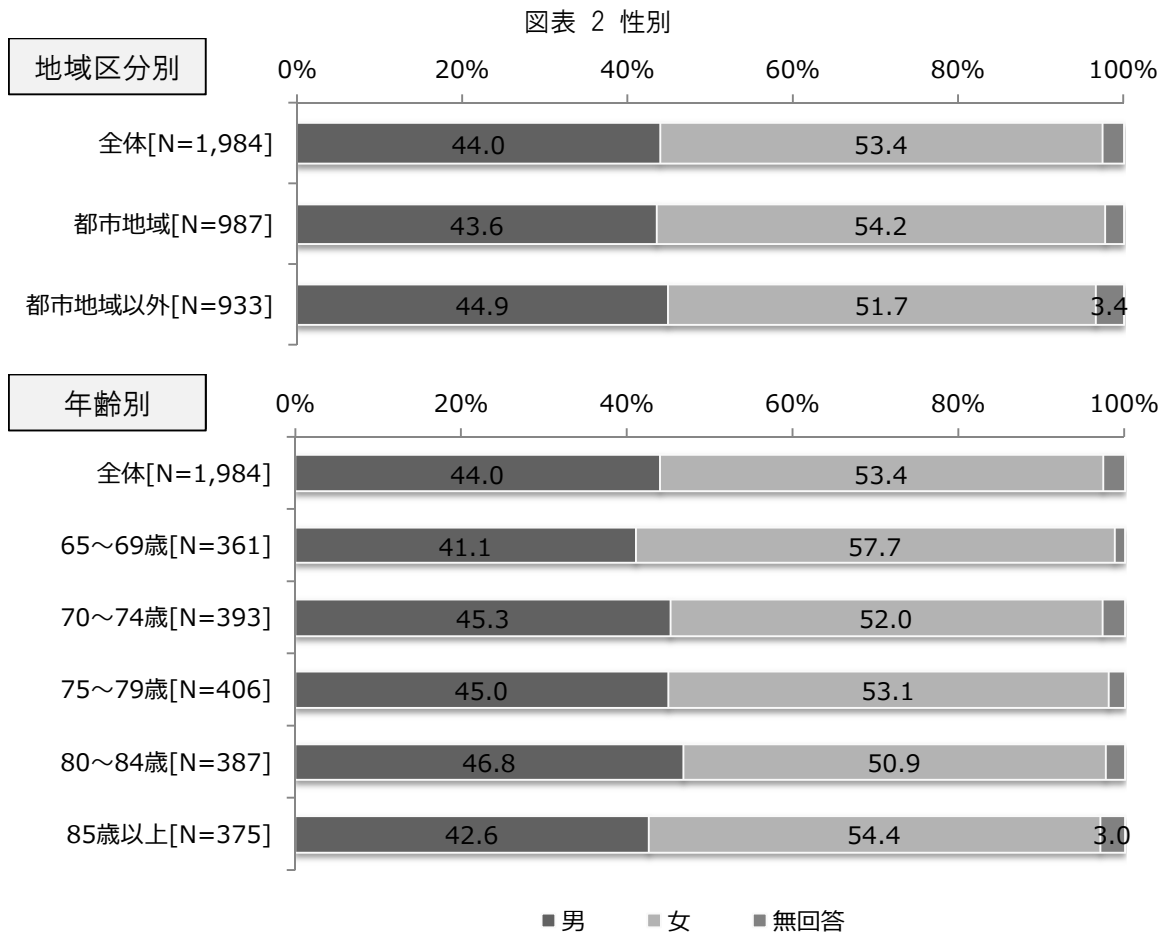
- あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）
- ご家族がご本人の代わりに回答
- ご家族以外の方がご本人の代わりに回答
- 無回答

(2) 回答者の属性

①性別

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

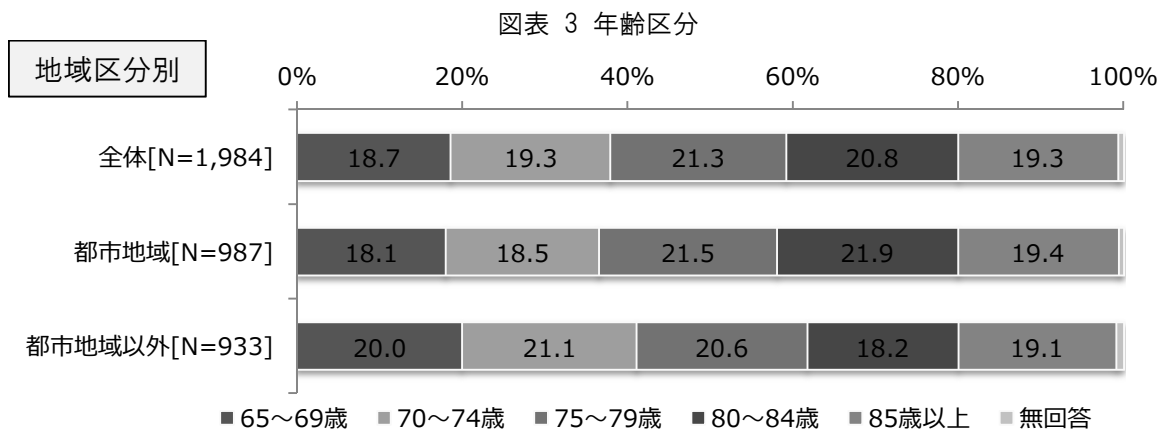
回答者の性別は、「女」が53.4%、「男」が44.0%となっています。



②年齢区分

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。(ご記入ください)

年齢区分は、「75～79歳」が21.3%、「80～84歳」が20.8%、「85歳以上」が19.3%、「70～74歳」が19.3%、「65～69歳」が18.7%となっています。



③居住市町村

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

居住市町村については、以下の通りとなっています。

図表 4 居住市町村

全体[N=1,984]			
和歌山市	17.8	広川町	1.5
海南市	5.2	有田川町	2.9
橋本市	5.2	美浜町	2.0
有田市	3.4	日高町	2.1
御坊市	3.6	由良町	1.6
田辺市(旧田辺市)	5.2	印南町	1.5
田辺市(旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)	5.5	みなべ町	1.2
新宮市(旧新宮市)	2.6	日高川町	1.6
新宮市(旧熊野川町)	1.7	白浜町	2.5
紀の川市(旧打田町・貴志川町)	2.7	上富田町	1.4
紀の川市(旧粉河町・那賀町・桃山町)	2.8	すさみ町	1.7
岩出市	4.1	那智勝浦町	1.9
紀美野町	1.9	太地町	1.6
かつらぎ町	2.1	古座川町	1.6
九度山町	1.9	北山村	1.1
高野町	1.4	串本町	2.2
湯浅町	1.7	無回答	3.2

④世帯区分

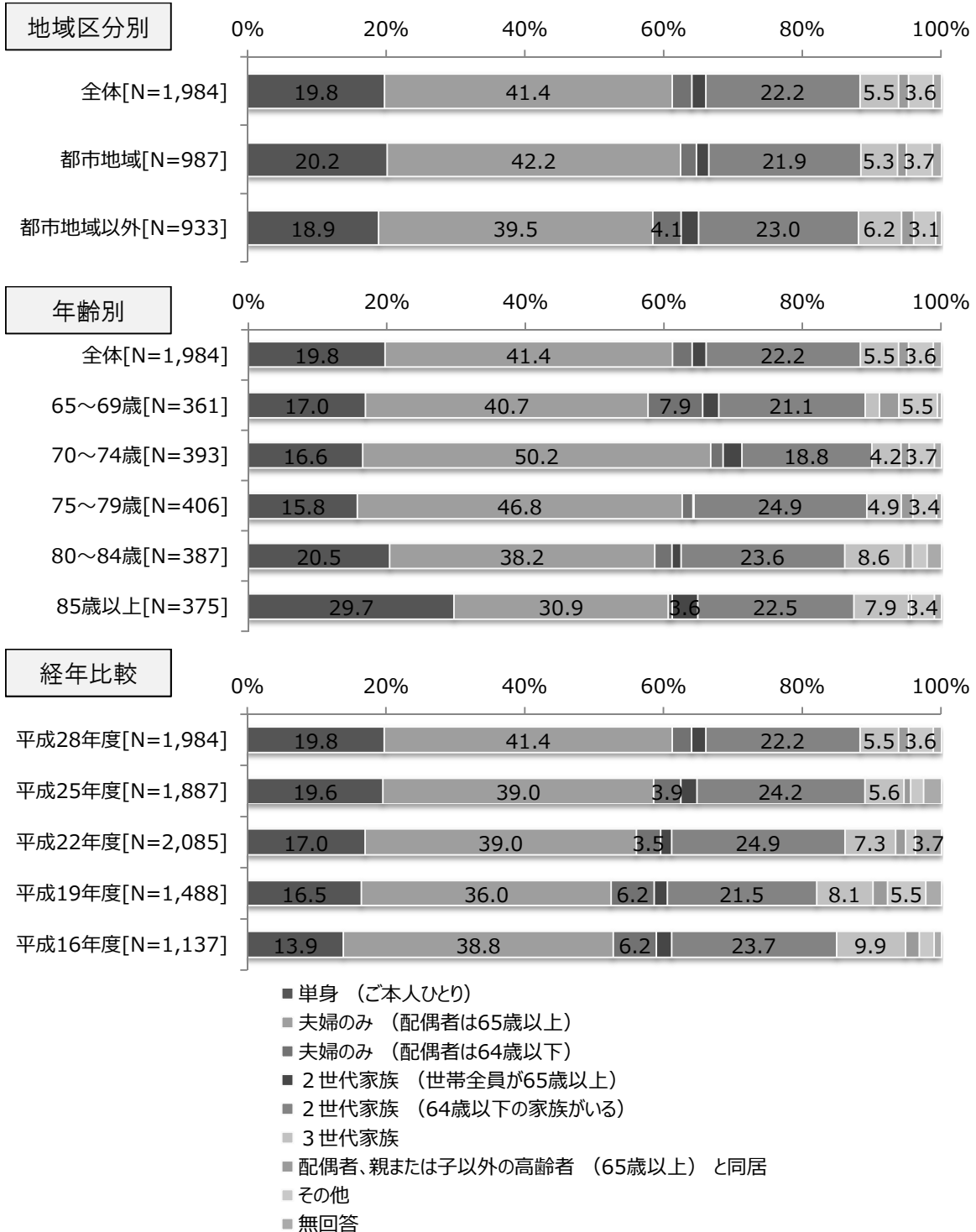
問4 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

回答者の世帯については、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が41.4%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が22.2%、「単身（ご本人ひとり）」が19.8%等となっています。

地域区分別では、それほど違いは見られません。年齢別では、70～74歳で「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」、85歳以上で「単身（ご本人ひとり）」の割合が比較的高くなっています。

経年比較を見ると、「単身（ご本人ひとり）」と「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」の世帯が増加しています。

図表 5 世帯区分



⑤ 昼間独居の状況

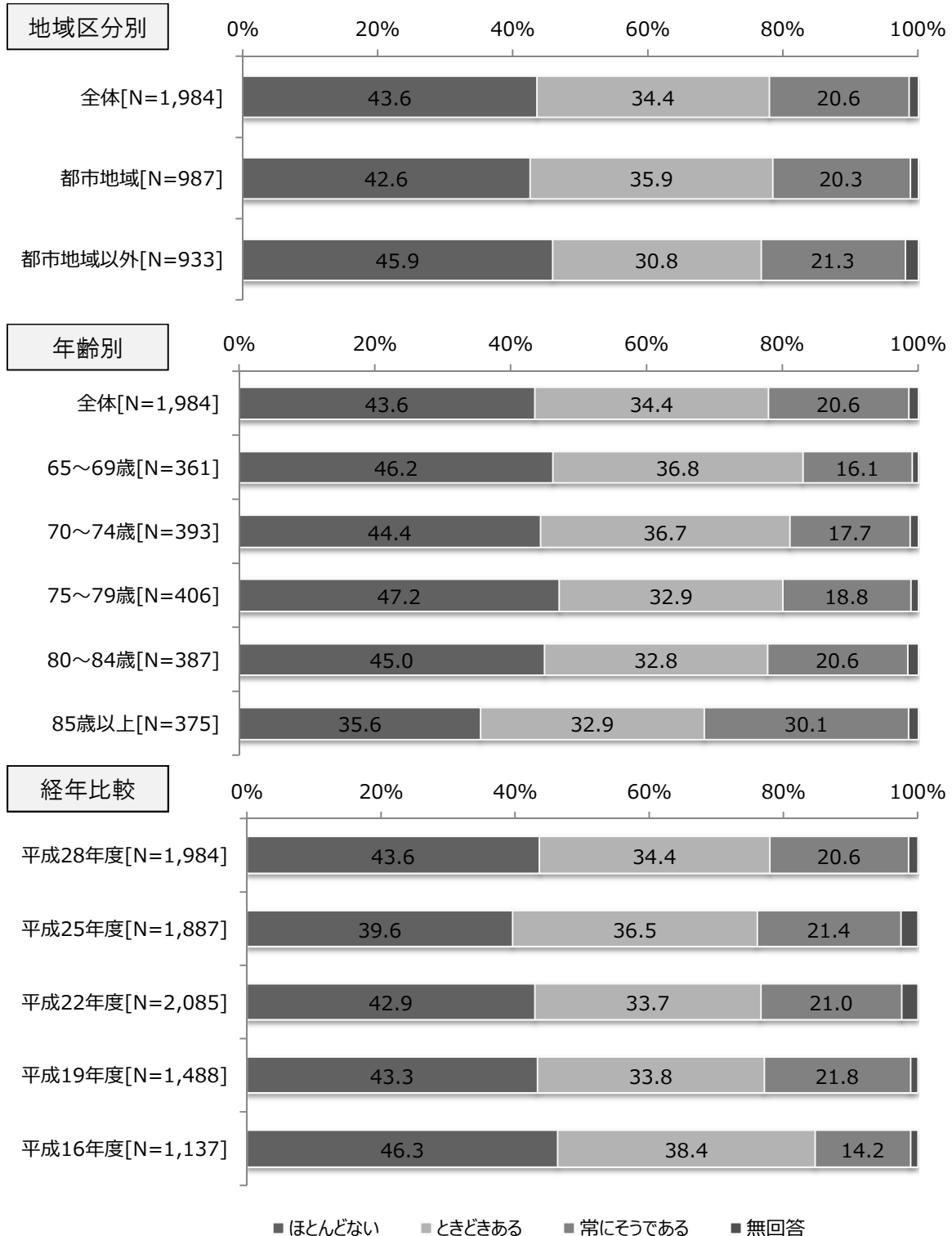
問5 あなたは、昼間、ひとりきりになることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

昼間独居の状況について聞いたところ、「ほとんどない」が43.6%、「ときどきある」が34.4%、「常にそうである」が20.6%となっています。

地域区分別では、それほど違いは見られません。年齢別では、85歳以上で、「常にそうである」の割合が高くなっています。

経年比較では、平成28年度で「ほとんどない」がやや増加しています。

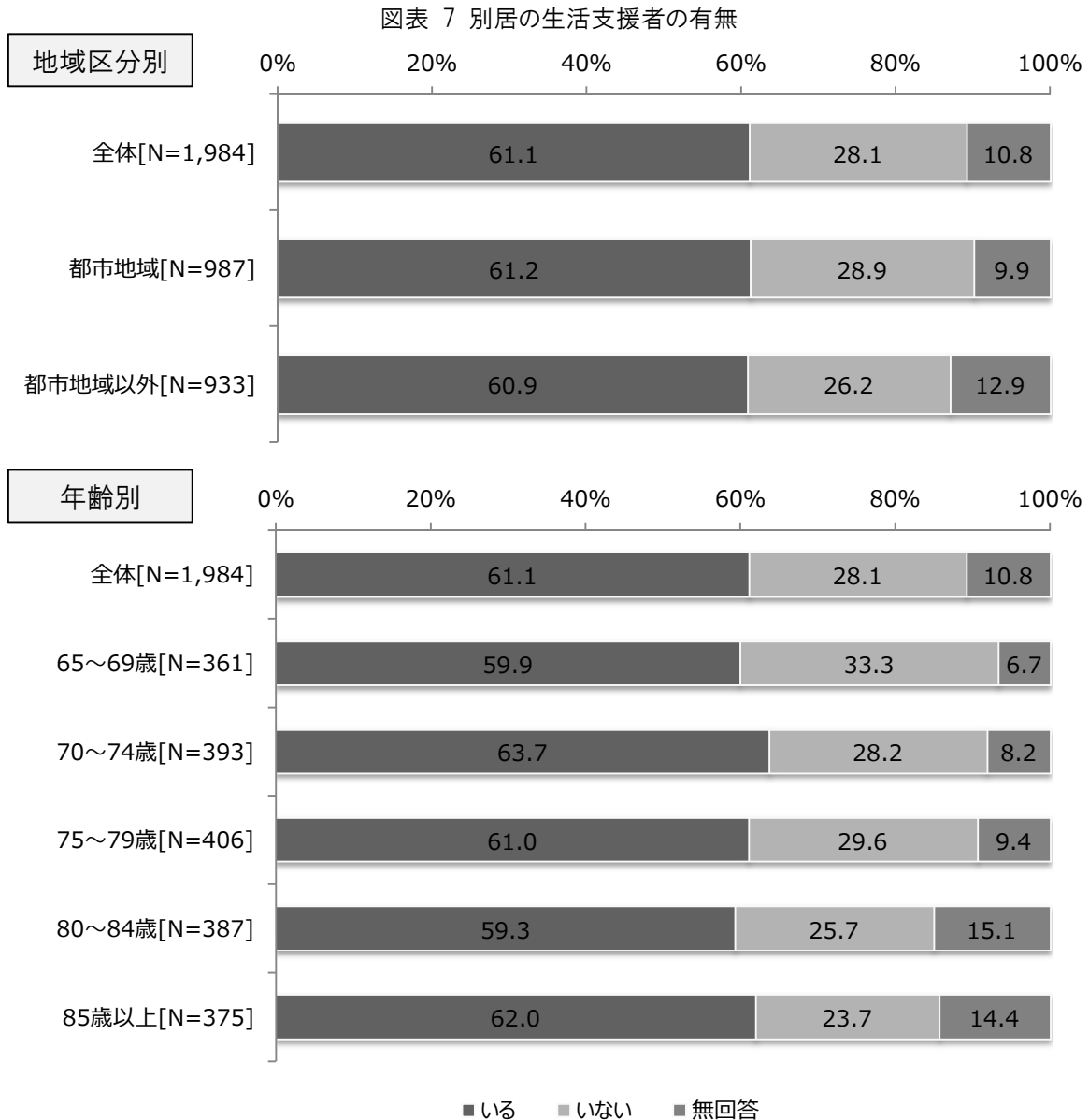
図表 6 昼間独居の状況



⑥別居の生活支援者の有無

問6 あなたには、同居はしていないけれども生活を支援してくれる子や孫、親せきなどはいますか。(いずれか1つに○)

別居で生活を支援してくれる家族等の有無について聞いたところ、「いる」が61.1%、「いない」が28.1%となっています。



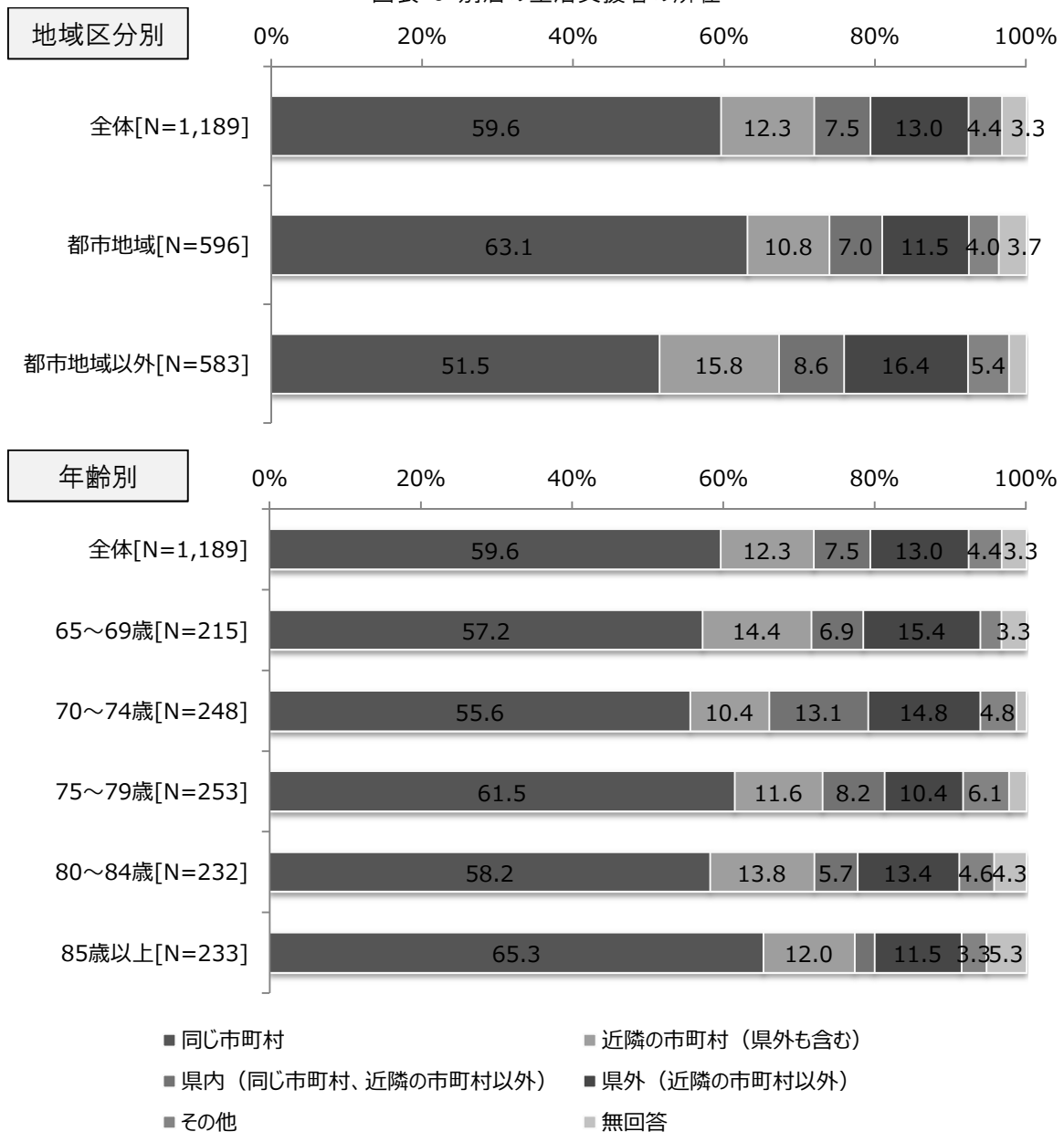
⑦別居の生活支援者の所在

問7 前の中で「1. いる」と答えた方におたずねします。支援してくれる子や孫、親せきなどのうち、一番近くにいる人はどこに住んでいますか。(あてはまるもの1つに○)
 また、行き来に片道でどのくらい時間がかかりますか。分単位で記入してください。

別居で生活を支援してくれる家族等のいる人に、その所在について聞いたところ、「同じ市町村」が59.6%と多く、次いで、「県外（近隣の市町村以外）」が13.0%、「近隣の市町村（県外も含む）」が12.3%等となっています。

地域区分別で見ると、都市地域では、「同じ市町村」の割合が高くなっています。年齢別では、85歳以上で「同じ市町村」の割合が高くなっています。

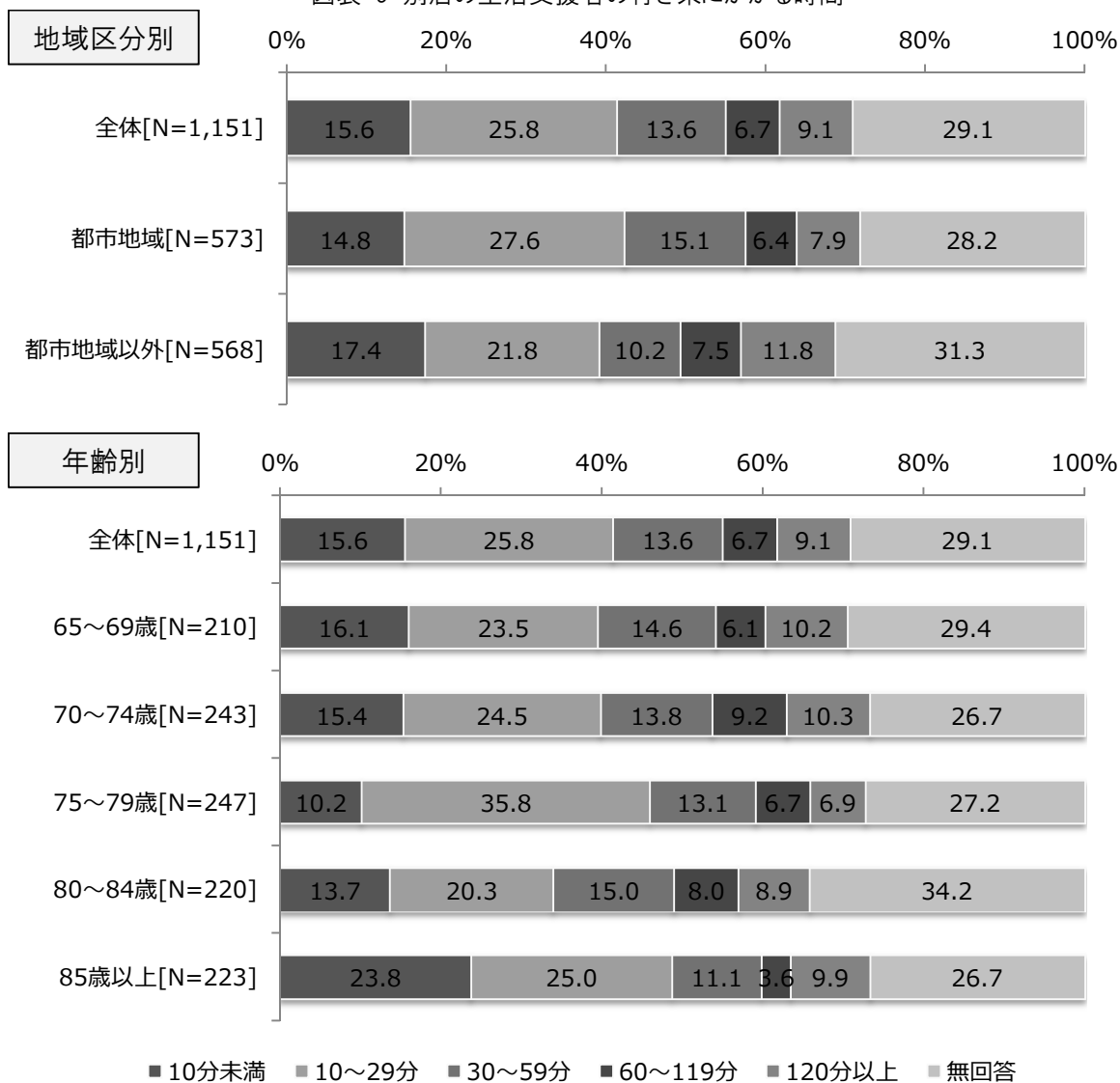
図表 8 別居の生活支援者の所在



別居で生活を支援してくれる家族等の行き来にかかる時間は、10～29分が25.8%、次いで、10分未満が15.6%となっています。

地域区分別で見ると、都市地域以外では、10分未満が多い一方、60分以上かかる人も多くなっています。

図表 9 別居の生活支援者の行き来にかかる時間



(3) 仕事や収入について

①収入のある仕事

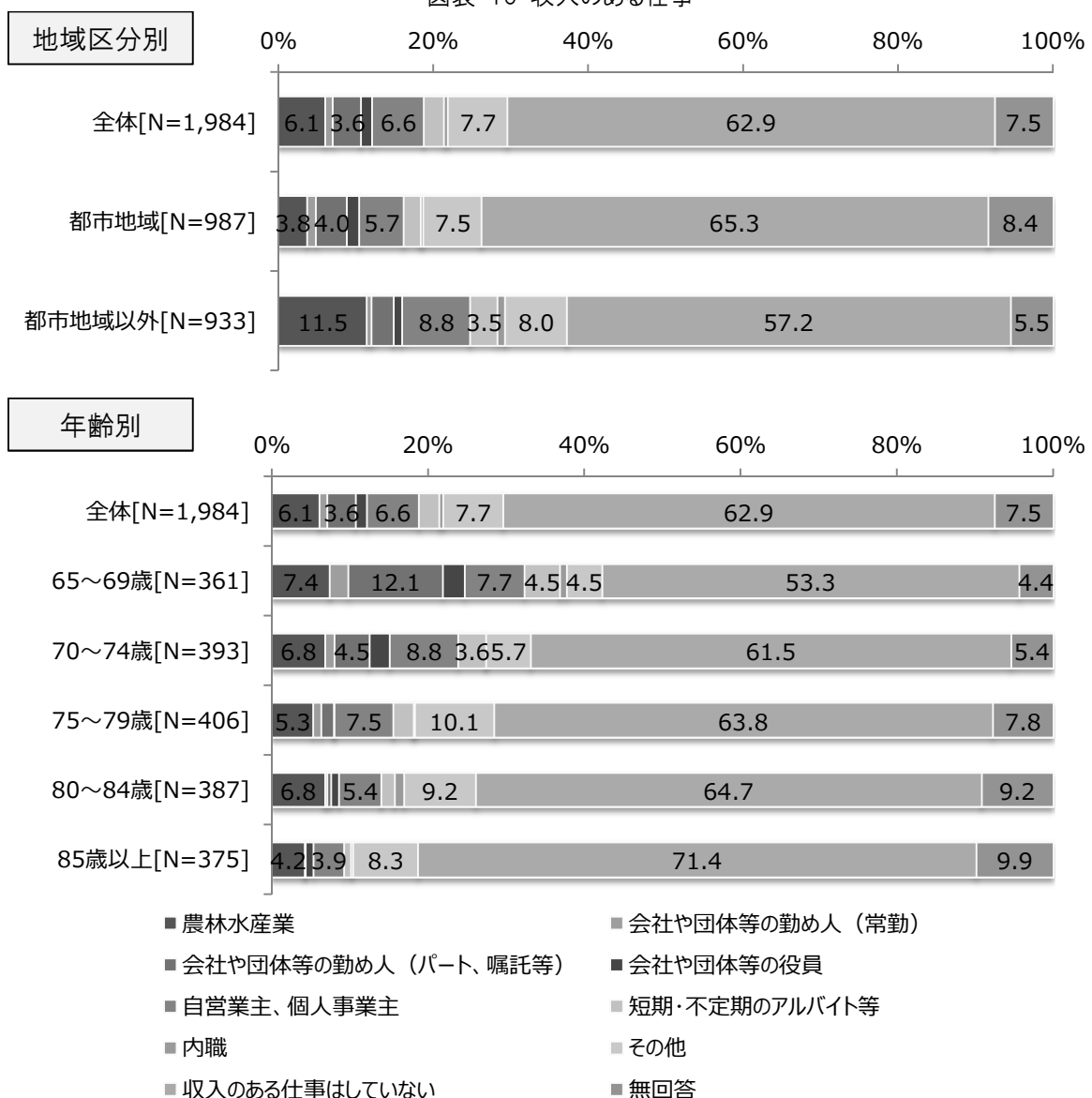
問8 あなたは、収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

収入のある仕事については、「収入のある仕事はしていない」が62.9%と多く、仕事については、「自営業主、個人事業主」が6.6%、「農林水産業」が6.1%、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が3.6%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外で「農林水産業」の割合が高くなっています。都市地域では、都市地域以外と比べて、「収入のある仕事はしていない」という人が多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「収入のある仕事はしていない」の割合が高くなります。

図表 10 収入のある仕事

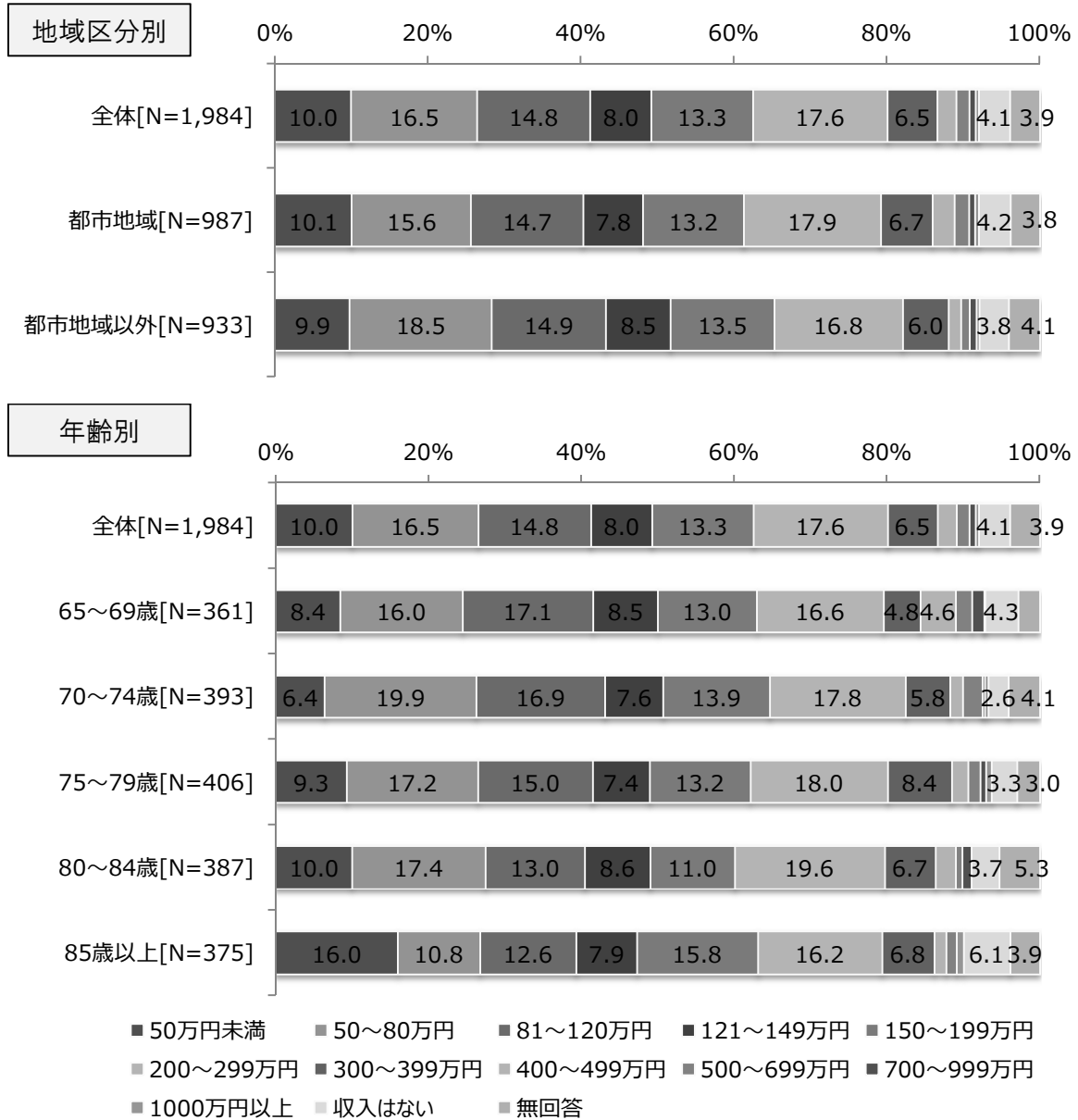


②昨年1年間の収入額

問9 昨年1年間のあなたの収入額はどのくらいでしたか。(あてはまるもの1つに○)

昨年1年間の収入額は比較的分散しており、「200～299万円」が17.6%、「50～80万円」が16.5%、「81～120万円」が14.8%等となっています。

図表 11 昨年1年間の収入額



(4) 近所づきあい、外出の状況などについて

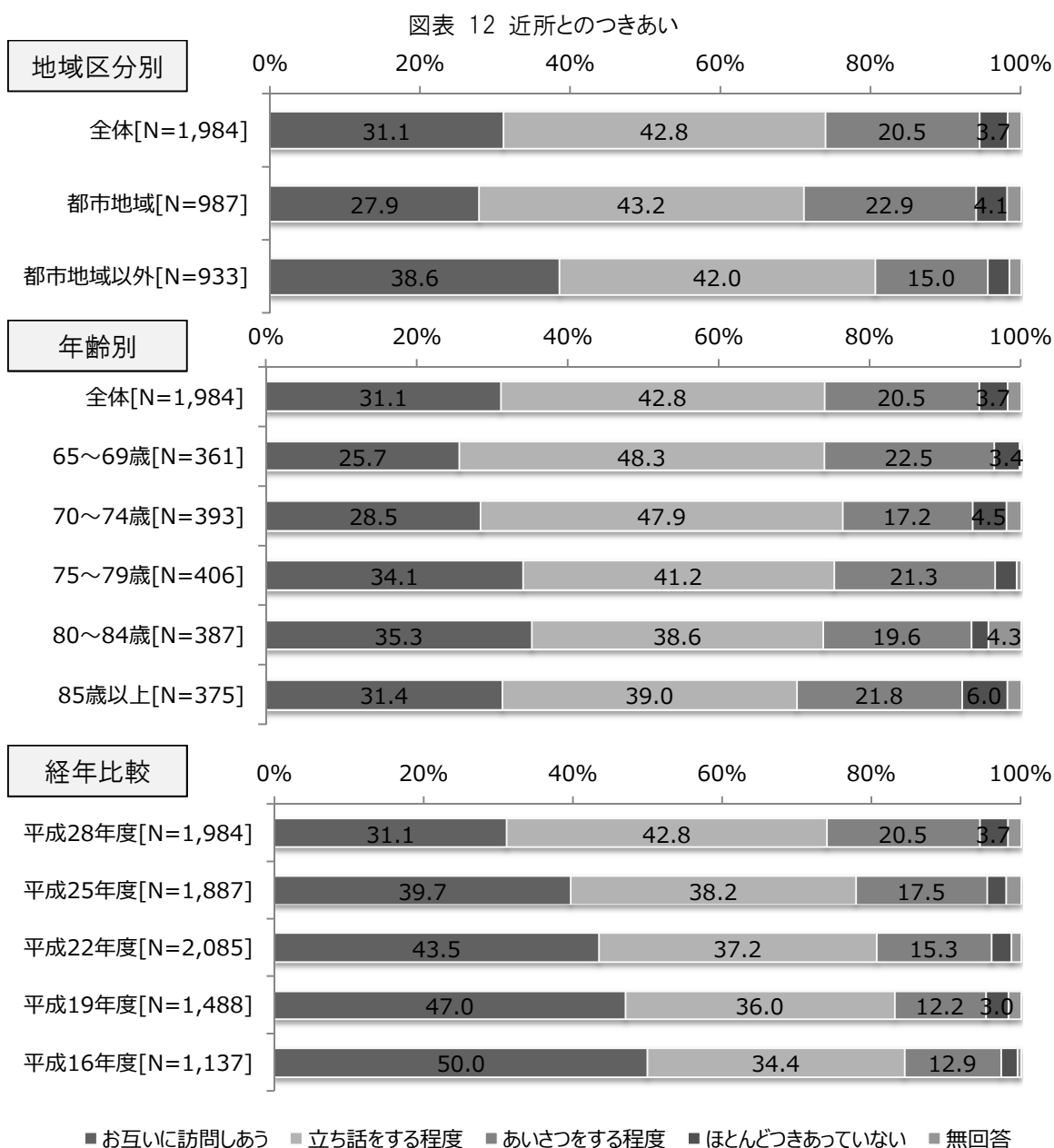
①近所とのつきあい

問 10 あなたはふだん、最も親しいご近所さんとのようなつきあいをしていますか。(あてはまるもの1つに○)

近所とのつきあいについて聞いたところ、「立ち話をする程度」が42.8%と最も多く、次いで、「お互いに訪問しあう」が31.1%等となっています。

地域区分別で見ると、都市地域と比較して、都市地域以外で「お互いに訪問しあう」の割合が高くなっています。年齢別では、65～74歳の層で、「お互いに訪問しあう」という人がやや少ない傾向が見られます。

経年比較では、「お互いに訪問しあう」という人は年々減少しています。



②外出の程度

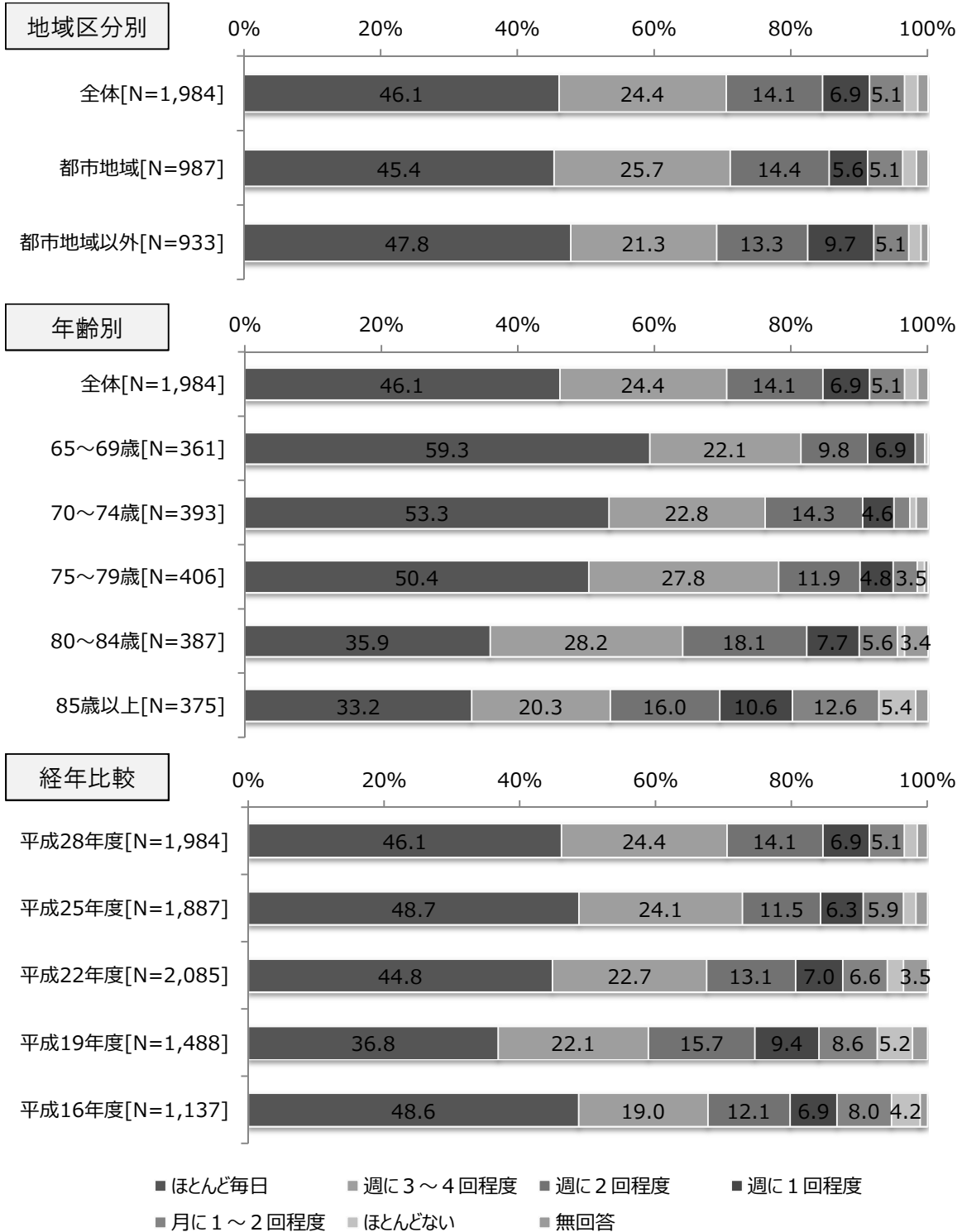
問 11 あなたは、日頃、どの程度外出をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

外出の程度については、「ほとんど毎日」が46.1%とほぼ半数、次いで、「週に3～4回程度」が24.4%等となっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにつれ、「ほとんど毎日」の割合が低くなっています。

経年比較では、「ほとんど毎日」という人がやや減っています。

図表 13 外出の程度

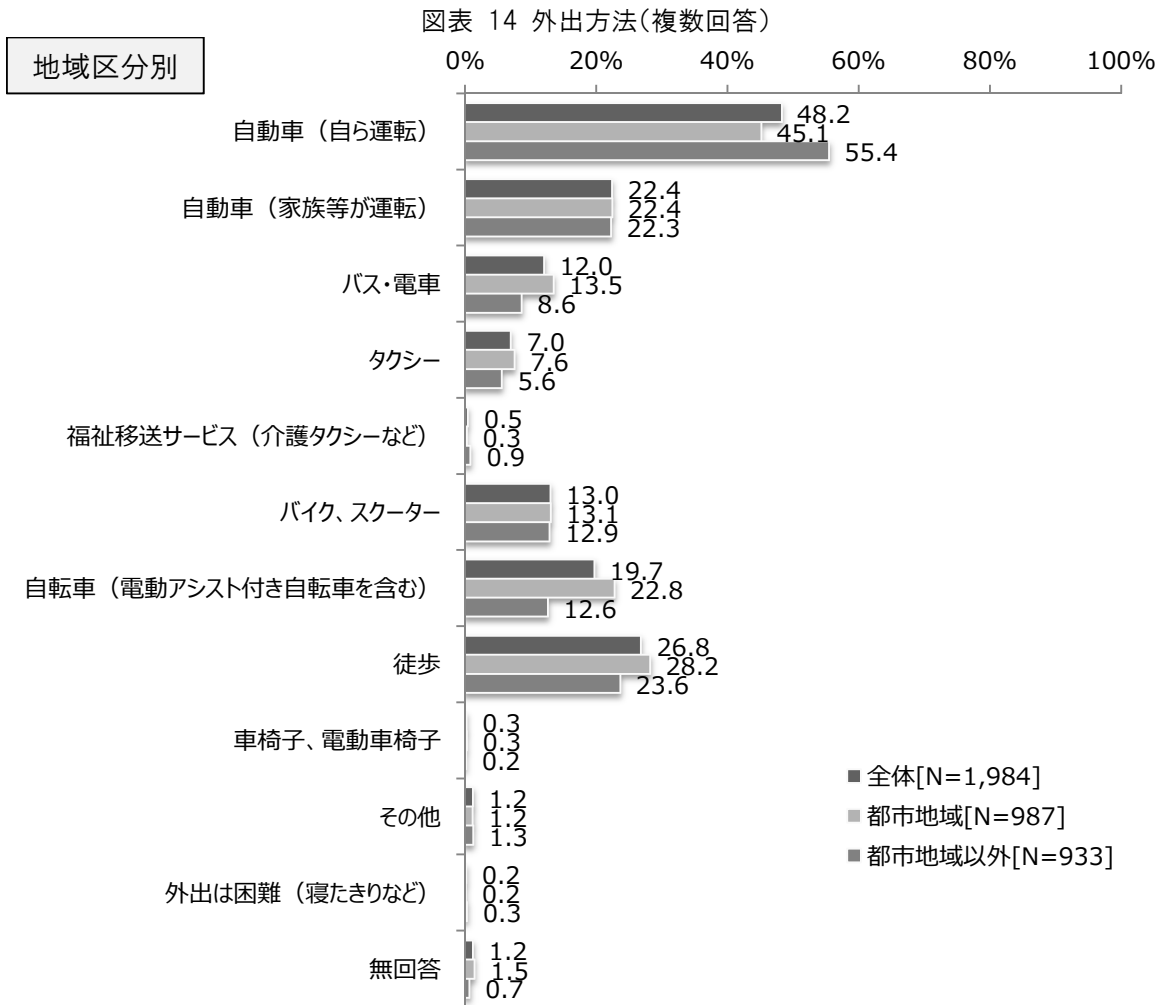


③外出方法

問 12 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

外出方法について聞いたところ、「自動車（自ら運転）」が48.2%とほぼ半数となっています。次いで、「徒歩」が26.8%、「自動車（家族等が運転）」が22.4%、「自転車（電動アシスト付き自転車を含む）」が19.7%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外で「自動車（自ら運転）」の割合が高くなっています。年齢別では、年齢が上がるにつれ、「自動車（自ら運転）」が減り、「自動車（家族等が運転）」が増える傾向が見られます。「自転車（電動アシスト付き自転車を含む）」については年齢でそれほど差がありません。



年齢別	全体 [N=1,984]	65～69歳 [N=361]	70～74歳 [N=393]	75～79歳 [N=406]	80～84歳 [N=387]	85歳以上 [N=375]
自動車（自ら運転）	48.2	70.6	58.7	51.3	37.7	25.3
自動車（家族等が運転）	22.4	13.5	20.0	19.9	25.5	32.2
バス・電車	12.0	9.2	10.8	15.2	11.8	12.9
タクシー	7.0	1.5	3.3	5.8	9.7	14.1
福祉移送サービス（介護タクシーなど）	0.5	0.0	0.0	0.5	1.1	0.6
バイク、スクーター	13.0	15.6	18.5	15.1	10.1	6.1
自転車（電動アシスト付き自転車を含む）	19.7	18.4	20.7	20.3	20.6	18.5
徒歩	26.8	21.2	25.5	28.0	27.7	32.1
車椅子、電動車椅子	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6
その他	1.2	0.8	1.4	0.6	1.1	2.2
外出は困難（寝たきりなど）	0.2	0.3	0.0	0.0	0.3	0.5
無回答	1.2	0.0	1.2	0.6	2.2	2.0

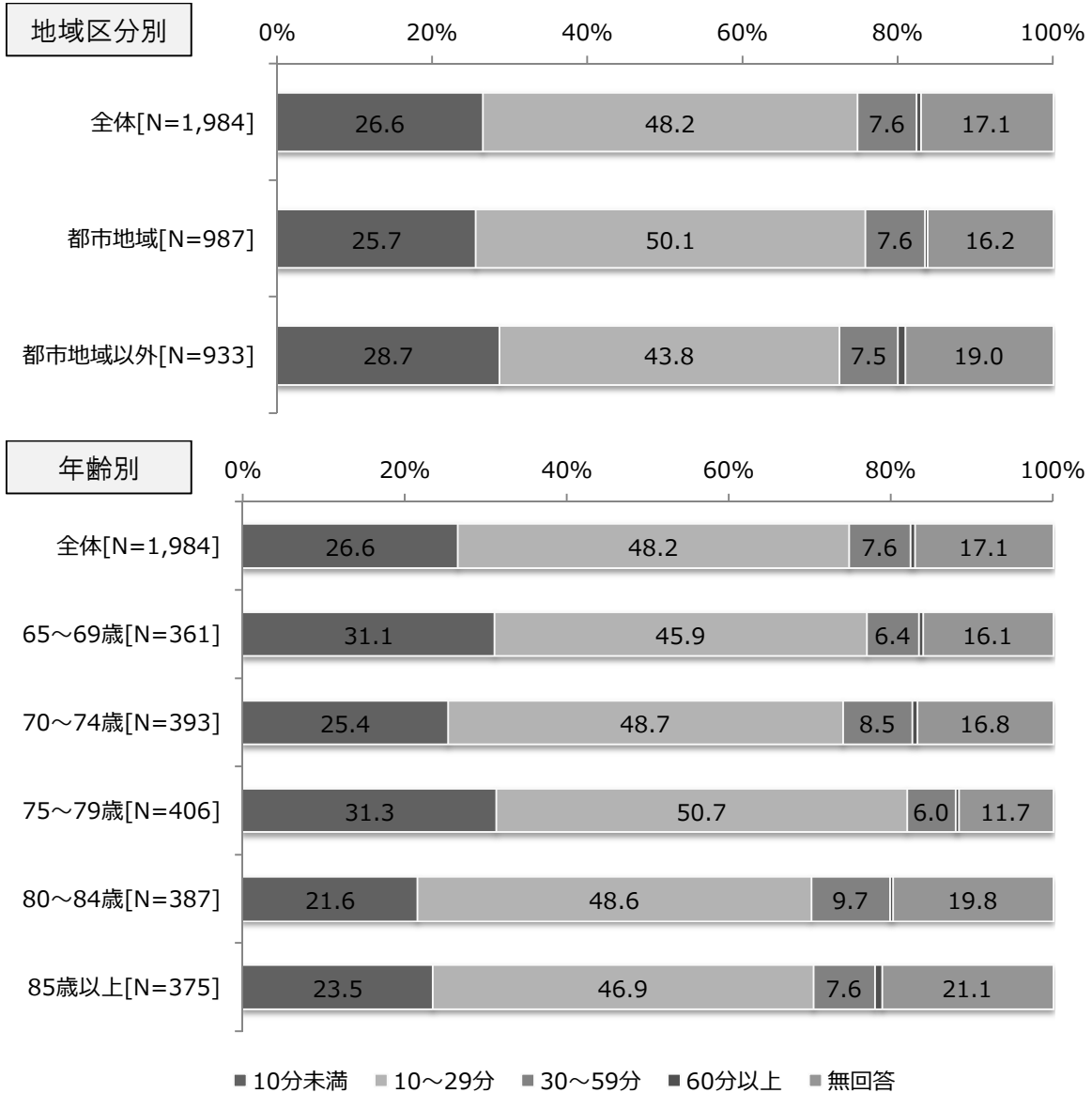
④最寄りの駅等までの時間

問 13 あなたは、電車やバスなど公共交通機関を利用するときに、最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかりますか。分単位で記入してください。

最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかるかを聞いたところ、10～29分が48.2%と最も多く、一方、10分未満は26.6%となっています。

地域区分別では、都市地域以外で10分未満の割合がやや高くなっています。

図表 15 最寄りの駅等までの時間



(5) 買い物などの日常の状況について

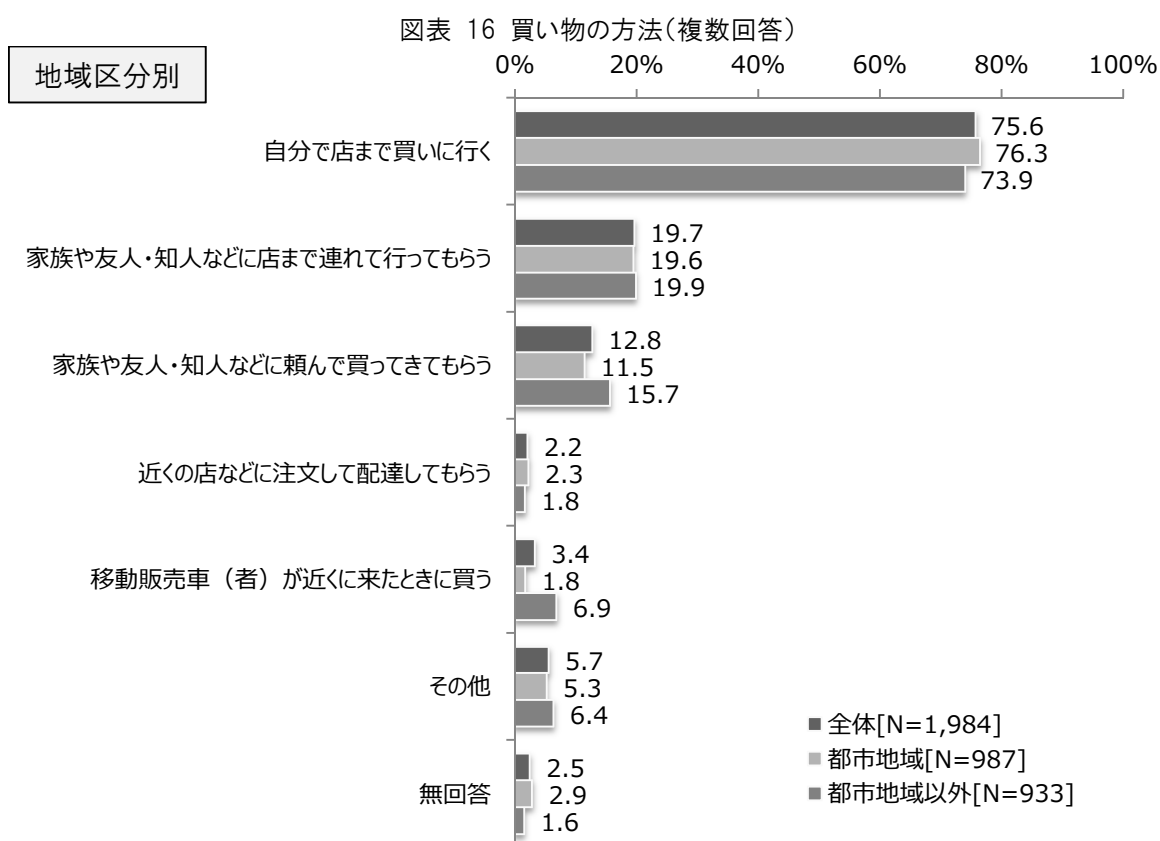
① 買い物の方法

問 14 あなたは、日頃、食料品や日用品など生活に必要な買い物は、どのような方法で購入していますか。
(よく使う方法すべてに○)

買い物の方法としては、「自分で店まで買いに行く」が 75.6%と多くなっています。その他、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が 19.7%、「家族や友人・知人などに頼んで買ってきてもらう」が 12.8%等となっています。

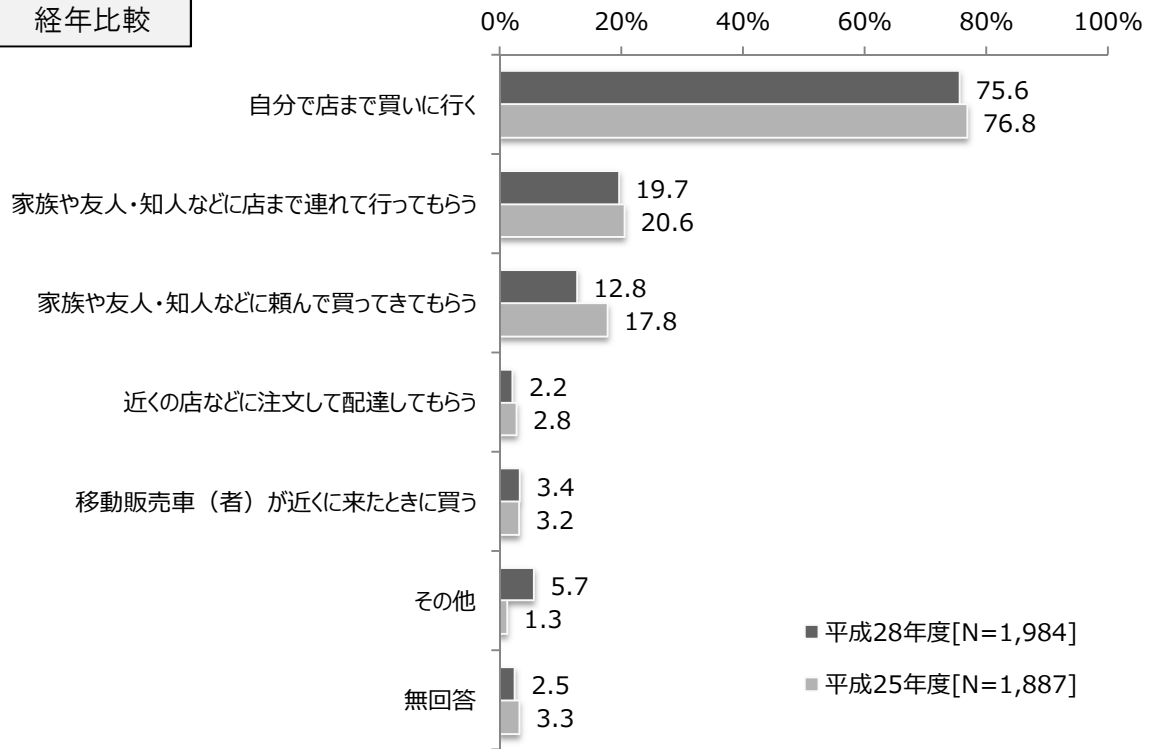
年齢別で見ると、年齢が上がるにつれ、「自分で店まで買いに行く」という人が少なくなり、「家族や友人・知人などに頼んで買ってきてもらう」が多くなっています。

経年比較では、「家族や友人・知人などに頼んで買ってきてもらう」という人が減っています。



年齢別	全体 [N=1,984]	65~69 歳 [N=361]	70~74 歳 [N=393]	75~79 歳 [N=406]	80~84 歳 [N=387]	85 歳以上 [N=375]
自分で店まで買いに行く	75.6	88.5	83.4	83.0	70.3	53.9
家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう	19.7	10.6	18.3	16.2	22.2	30.2
家族や友人・知人などに頼んで買ってきてもらう	12.8	7.6	7.9	11.0	14.4	22.8
近くの店などに注文して配達してもらう	2.2	0.8	1.0	1.3	4.4	3.2
移動販売車(者)が近くにきたときに買う	3.4	1.3	2.2	1.7	5.8	4.9
その他	5.7	5.2	3.8	7.3	4.3	7.8
無回答	2.5	0.6	2.4	1.7	4.5	3.3

経年比較



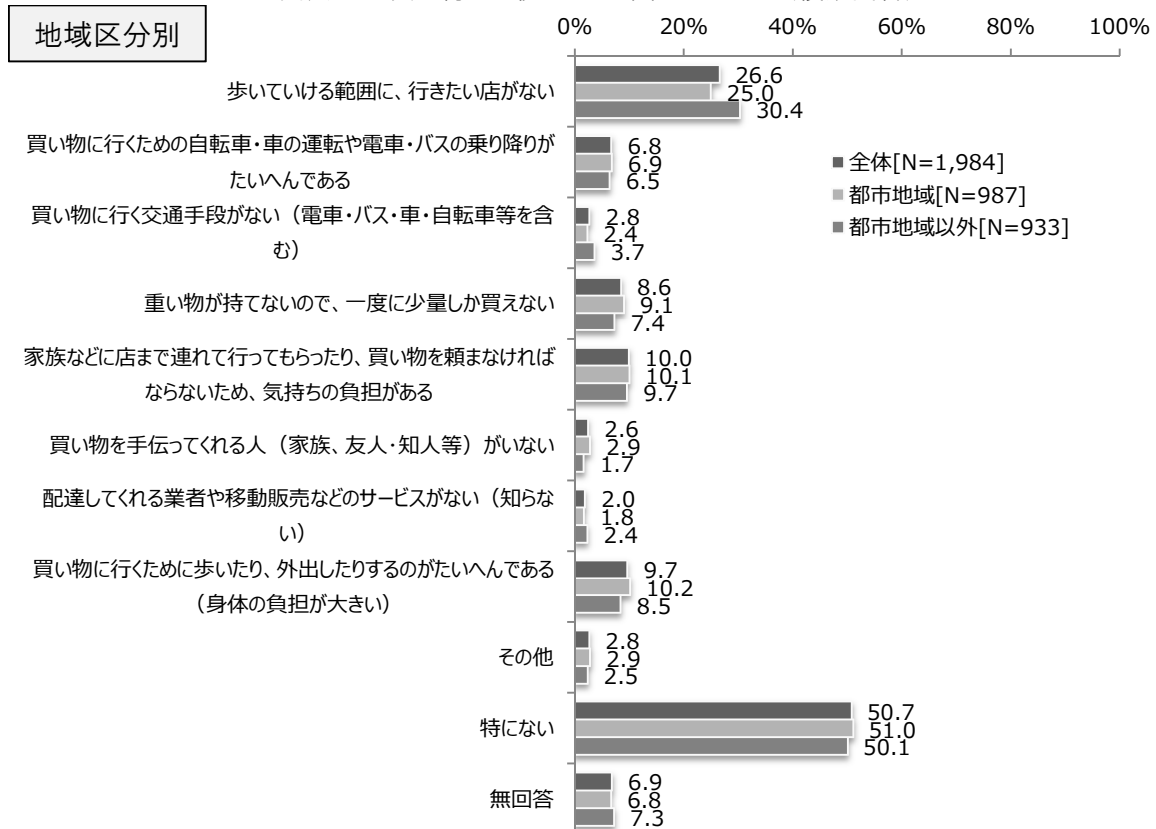
②買い物で不便なことや困っていること

問 15 ふだんの買い物で不便なことや困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

買い物で不便なことや困っていることについて聞いたところ、「特にない」が 50.7%と半数を占めます。不便なことや困っていることとしては、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が 26.6%、「家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある」が 10.0%等となっています。

地域区分別で見ると、都市地域以外で、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が比較的多くなっています。

図表 17 買い物で不便なことや困っていること(複数回答)



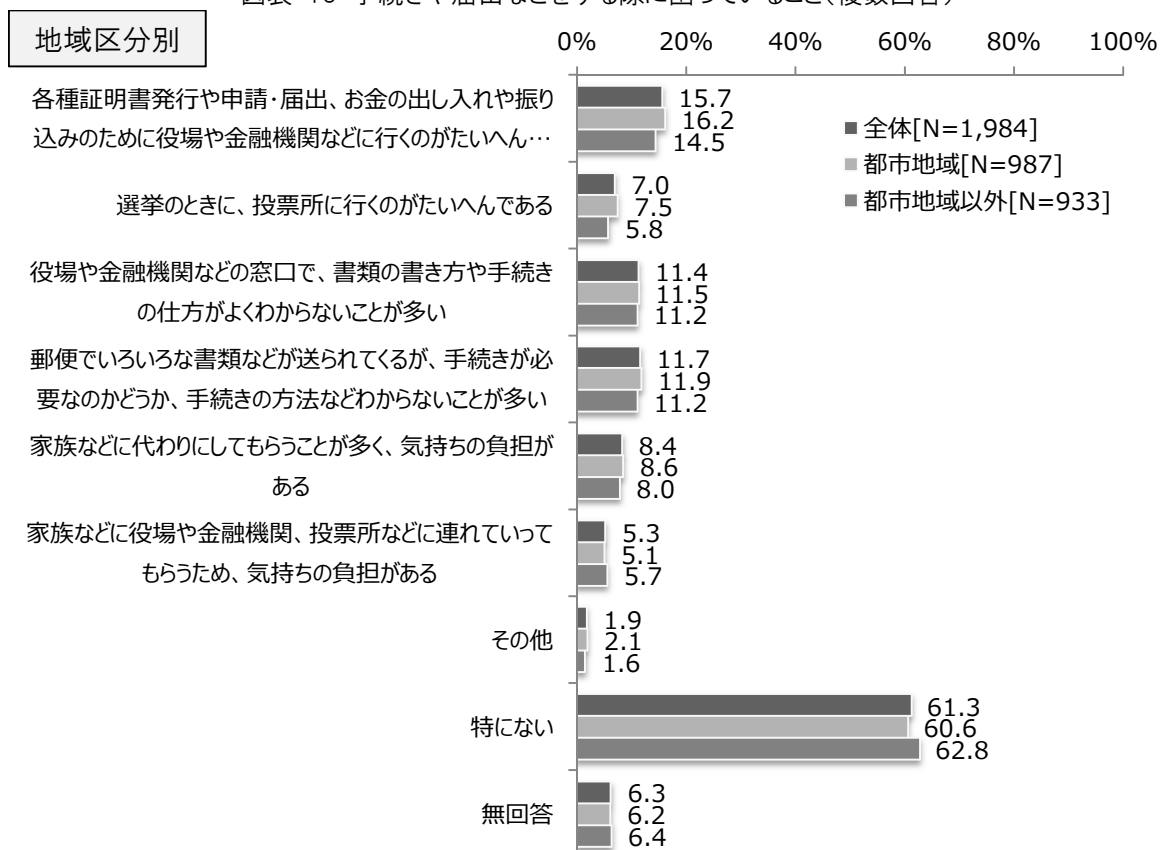
年齢別	全体 [N=1,984]	65~69歳 [N=361]	70~74歳 [N=393]	75~79歳 [N=406]	80~84歳 [N=387]	85歳以上 [N=375]
歩いていける範囲に、行きたい店がない	26.6	26.1	22.0	23.8	28.3	32.6
買い物に行くための自転車・車の運転や電車・バスの乗り降りがたいへんである	6.8	3.4	5.8	5.2	10.5	8.7
買い物に行く交通手段がない(電車・バス・車・自転車等を含む)	2.8	1.1	1.8	2.8	3.3	5.0
重い物が持てないので、一度に少量しか買えない	8.6	4.2	4.2	6.8	10.3	17.2
家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある	10.0	5.2	7.9	7.4	11.2	18.0
買い物を手伝ってくれる人(家族・友人・知人等)がいない	2.6	2.5	0.0	1.5	4.1	4.1
配達してくれる業者や移動販売などのサービスがない(知らない)	2.0	1.4	1.1	2.7	2.4	2.1
買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである(身体の負担が大きい)	9.7	1.4	3.7	7.0	13.2	22.8
その他	2.8	0.5	2.9	3.8	2.1	4.3
特にない	50.7	65.0	56.7	56.5	42.5	34.7
無回答	6.9	3.4	8.1	7.4	9.0	6.7

③手続きや届出などをする際に困っていること

問 16 あなたは、生活の中でのいろいろな手続きや届出などをする際に、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

手続きや届出などをする際に困っていることとしては、「特にない」が 61.3%と多くなっています。困っていることについては、「各種証明書発行や申請・届出、お金の出し入れや振り込みのために役場や金融機関などに行くのがたいへんである」が 15.7%、「郵便でいろいろな書類などが送られてくるが、手続きが必要なかどうか、手続きの方法などわからないことが多い」が 11.7%等となっています。

図表 18 手続きや届出などをする際に困っていること(複数回答)



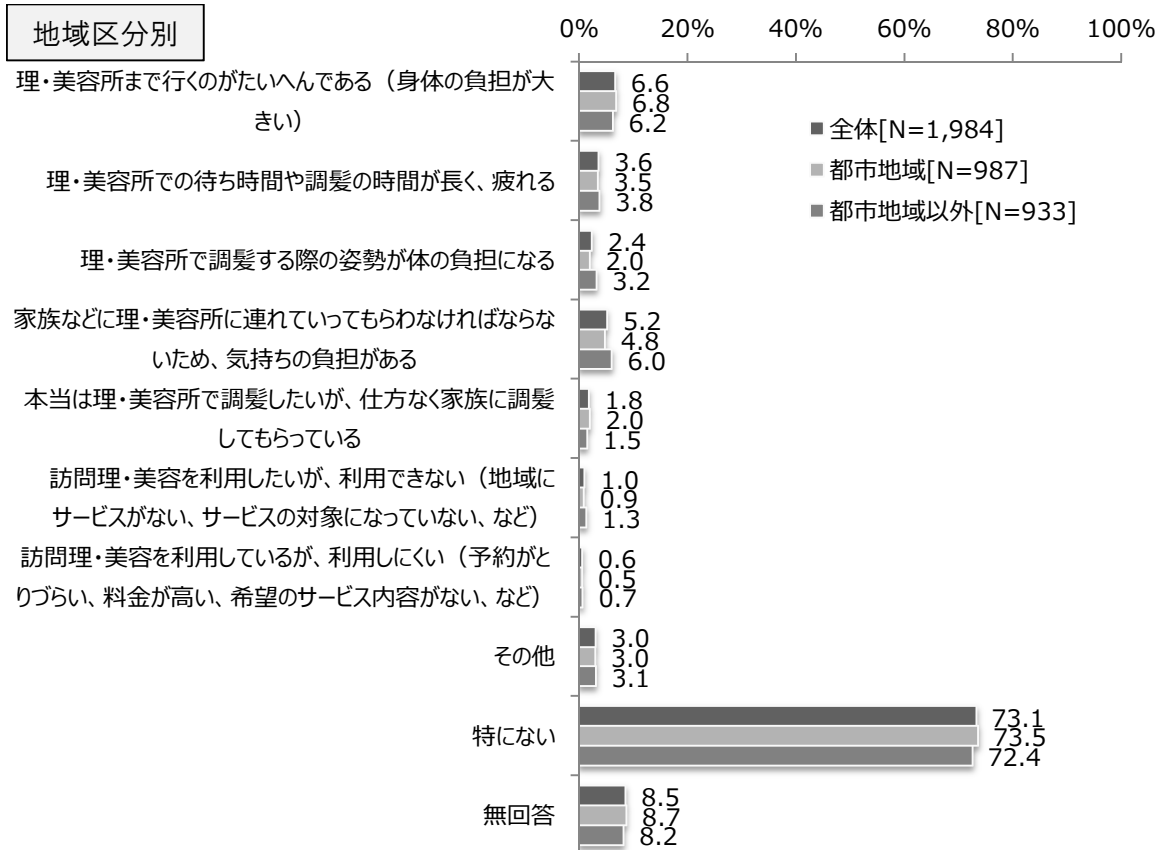
年齢別	全体 [N=1,984]	65~69歳 [N=361]	70~74歳 [N=393]	75~79歳 [N=406]	80~84歳 [N=387]	85歳以上 [N=375]
各種証明書発行や申請・届出、お金の出し入れや振り込みのために役場や金融機関などに行くのがたいへんである	15.7	5.6	10.9	13.5	20.1	27.2
選挙のときに、投票所に行くのがたいへんである	7.0	1.7	5.1	4.5	8.6	15.4
役場や金融機関などの窓口で、書類の書き方や手続きの仕方がよくわからないことが多い	11.4	4.5	10.4	10.3	16.0	15.4
郵便でいろいろな書類などが送られてくるが、手続きが必要なかどうか、手続きの方法などわからないことが多い	11.7	5.2	10.0	11.9	11.7	18.9
家族などに代わりにしてもらうことが多く、気持ちの負担がある	8.4	4.6	4.7	6.3	11.8	14.8
家族などに役場や金融機関、投票所などに連れていってもらったため、気持ちの負担がある	5.3	1.3	4.8	3.5	7.6	9.4
その他	1.9	0.9	1.8	1.2	2.2	3.4
特にない	61.3	78.3	65.6	68.0	50.0	45.9
無回答	6.3	3.1	7.4	5.6	10.5	4.9

④理・美容で困っていること

問 17 あなたは、日頃の理・美容(散髪やカット・パーマ)で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

理・美容で困っていることについて聞いたところ、「特にない」が73.1%と多くなっています。困っていることとしては、「理・美容所まで行くのがたいへんである(身体の負担が大きい)」が6.6%、「家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある」が5.2%等となっています。

図表 19 理・美容で困っていること(複数回答)



年齢別	全体 [N=1,984]	65~69歳 [N=361]	70~74歳 [N=393]	75~79歳 [N=406]	80~84歳 [N=387]	85歳以上 [N=375]
理・美容所まで行くのがたいへんである(身体の負担が大きい)	6.6	1.4	2.1	5.3	7.7	15.9
理・美容所での待ち時間や調髪の時間が長く、疲れる	3.6	1.5	2.5	4.8	4.5	4.2
理・美容所で調髪する際の姿勢が体の負担になる	2.4	0.1	0.8	2.6	4.3	3.9
家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある	5.2	1.9	2.0	5.6	5.1	11.1
本当は理・美容所で調髪したいが、仕方なく家族に調髪してもらっている	1.8	1.1	1.1	2.6	2.3	1.9
訪問理・美容を利用したいが、利用できない(地域にサービスがない、サービスの対象になっていない、など)	1.0	0.4	0.5	0.5	1.0	2.5
訪問理・美容を利用しているが、利用しにくい(予約がとりづらい、料金が安い、希望のサービス内容がない、など)	0.6	0.0	0.5	0.5	1.2	0.6
その他	3.0	1.3	2.4	3.2	4.7	3.1
特にない	73.1	88.2	79.8	75.0	63.8	60.9
無回答	8.5	5.0	8.9	6.0	12.6	10.0

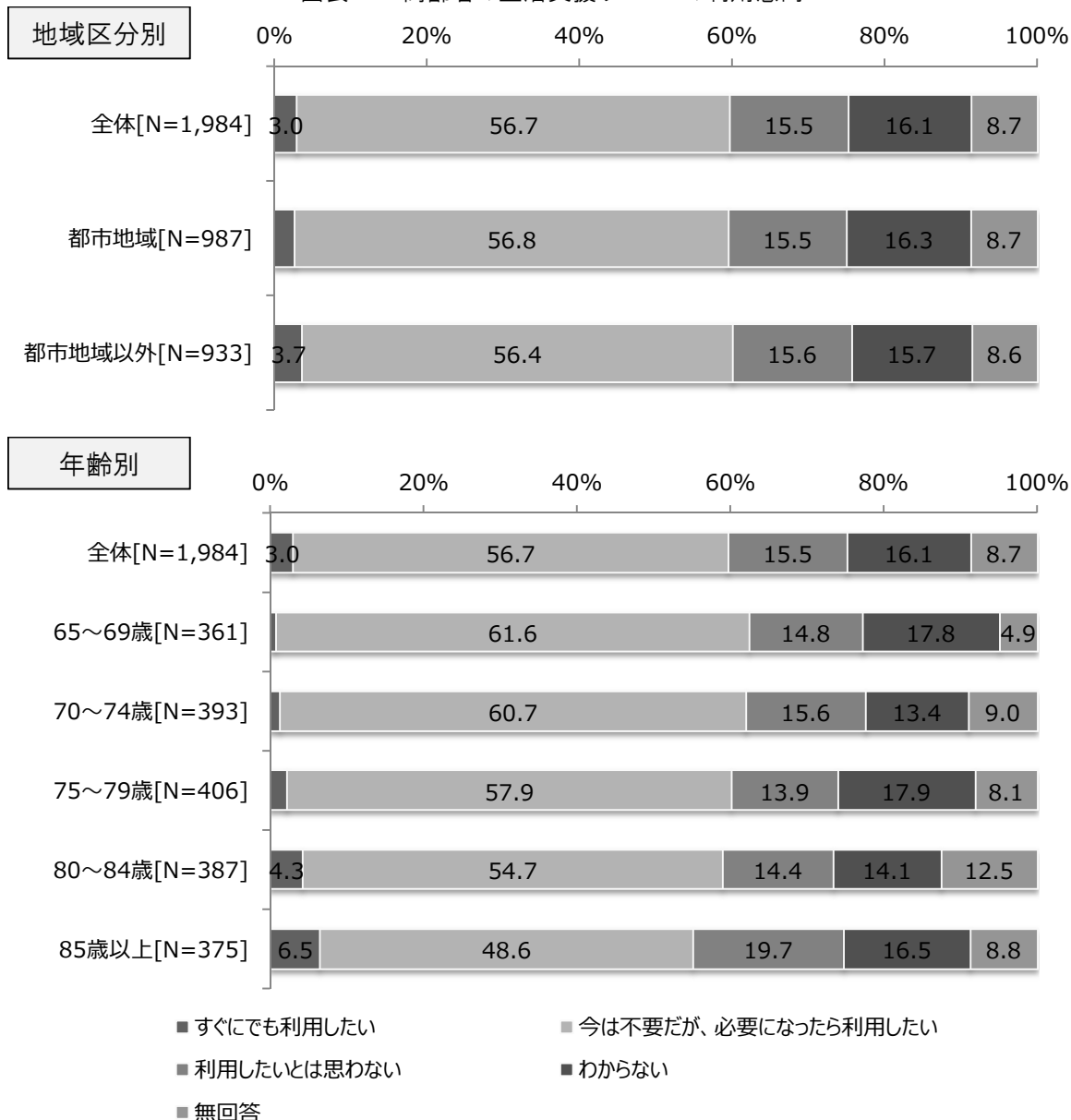
⑤高齢者の生活支援サービスの利用意向

問 18 あなたは、高齢者の生活の中での困りごとなどを助けてくれるサービスが、安い料金で身近に提供されれば、利用してみたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者の生活支援サービスの利用意向について聞いたところ、「今は不要だが、必要になったら利用したい」が56.7%と多くなっています。次いで、「わからない」が16.1%、「利用したいとは思わない」が15.5%等となっています。

年齢別では、85歳以上の人で、「すぐにでも利用したい」という人が比較的多くなっていますが、一方で、「利用したいとは思わない」という人も多くなっています。

図表 20 高齢者の生活支援サービスの利用意向

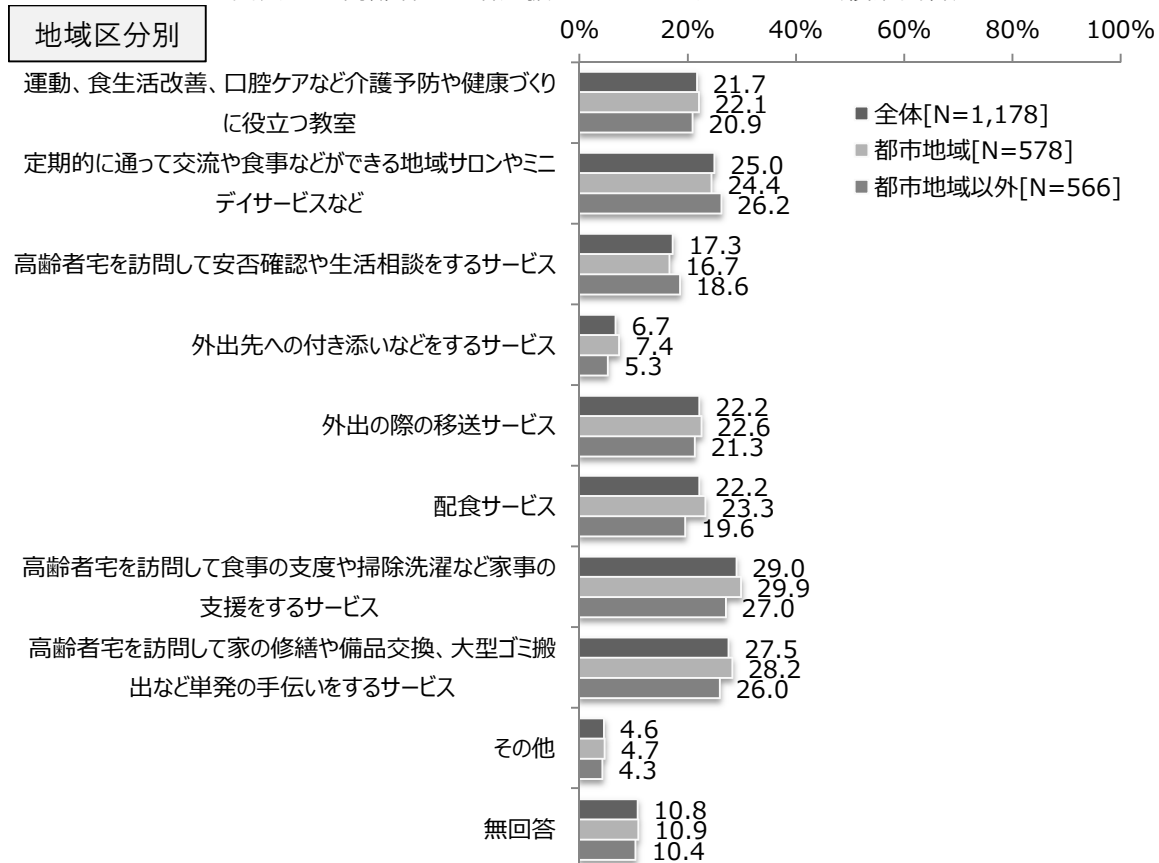


⑥高齢者の生活支援サービスで利用したいもの

問 19 前問で「1.」「2.」と答えた方にお聞きします。特にどのサービスを利用したいですか。(特に利用したいもの3つまでに○)

高齢者の生活支援サービスの利用意向のある人に、利用したいものについて聞いたところ、「高齢者宅を訪問して食事の支度や掃除洗濯など家事の支援をするサービス」が29.0%と最も多く、次いで、「高齢者宅を訪問して家の修繕や備品交換、大型ゴミ搬出など単発の手伝いをするサービス」が27.5%、「定期的に通って交流や食事などができる地域サロンやミニデイサービスなど」が25.0%と続いています。

図表 21 高齢者の生活支援サービスで利用したいもの(複数回答)



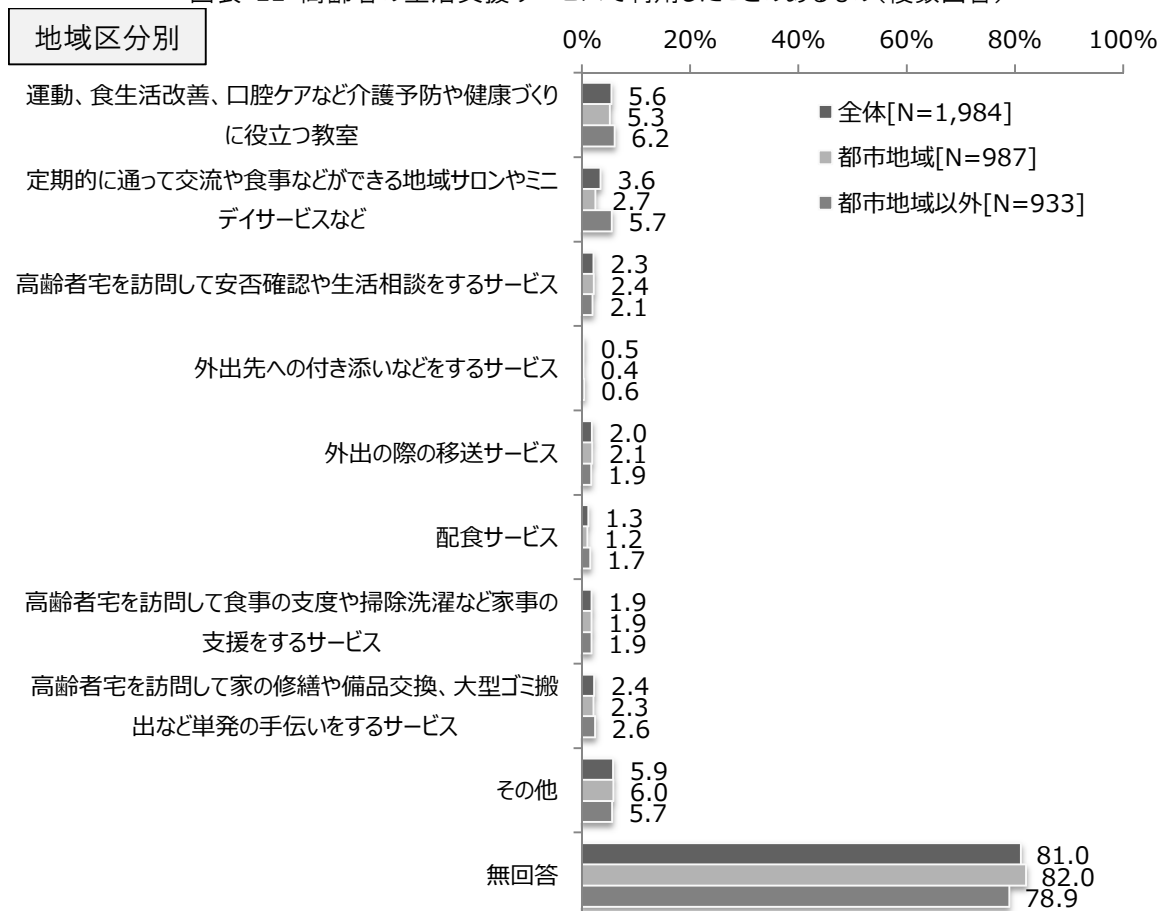
年齢別	全体 [N=1,178]	65~69歳 [N=221]	70~74歳 [N=243]	75~79歳 [N=248]	80~84歳 [N=229]	85歳以上 [N=206]
運動、食生活改善、口腔ケアなど介護予防や健康づくりに役立つ教室	21.7	20.7	31.5	26.6	18.2	10.2
定期的に通って交流や食事などができる地域サロンやミニデイサービスなど	25.0	26.8	31.0	29.2	16.6	21.6
高齢者宅を訪問して安否確認や生活相談をするサービス	17.3	21.0	13.5	16.5	15.1	20.5
外出先への付き添いなどをするサービス	6.7	4.9	5.1	7.0	6.2	9.8
外出の際の移送サービス	22.2	17.5	21.5	22.0	25.5	24.3
配食サービス	22.2	24.0	23.5	26.3	18.5	18.1
高齢者宅を訪問して食事の支度や掃除洗濯など家事の支援をするサービス	29.0	34.2	24.1	32.0	25.3	30.2
高齢者宅を訪問して家の修繕や備品交換、大型ゴミ搬出など単発の手伝いをするサービス	27.5	37.4	26.7	24.4	22.9	26.5
その他	4.6	5.9	2.6	3.7	4.2	7.1
無回答	10.8	3.8	7.9	10.3	19.8	11.4

⑦高齢者の生活支援サービスで利用したことがあるもの

問 20 利用意向に関わらず、現在すでに同様なサービスを利用している、または利用したことがある場合、下記からご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

高齢者の生活支援サービスで利用したことがあるものについて聞いたところ、「運動、食生活改善、口腔ケアなど介護予防や健康づくりに役立つ教室」が5.6%等となっていますが、無回答が多く、利用経験はわずかとなっています。

図表 22 高齢者の生活支援サービスで利用したことがあるもの(複数回答)



年齢別	全体 [N=1,984]	65~69歳 [N=361]	70~74歳 [N=393]	75~79歳 [N=406]	80~84歳 [N=387]	85歳以上 [N=375]
運動、食生活改善、口腔ケアなど介護予防や健康づくりに役立つ教室	5.6	3.2	6.8	8.4	5.2	4.2
定期的に通って交流や食事などができる地域サロンやミニデイサービスなど	3.6	2.3	2.6	4.2	4.5	4.0
高齢者宅を訪問して安否確認や生活相談をするサービス	2.3	1.0	2.0	2.3	2.6	3.6
外出先への付き添いなどをするサービス	0.5	0.0	0.1	0.4	0.9	1.1
外出の際の移送サービス	2.0	0.0	1.3	1.3	4.0	3.5
配食サービス	1.3	0.5	0.2	0.8	2.6	2.5
高齢者宅を訪問して食事の支度や掃除洗濯など家事の支援をするサービス	1.9	1.9	1.2	1.0	2.2	3.3
高齢者宅を訪問して家の修繕や備品交換、大型ゴミ搬出など単発の手伝いをするサービス	2.4	3.1	1.1	2.6	3.1	2.2
その他	5.9	2.0	8.2	7.8	4.1	7.5
無回答	81.0	88.9	81.3	78.3	78.7	78.5

(6) 通院状況などについて

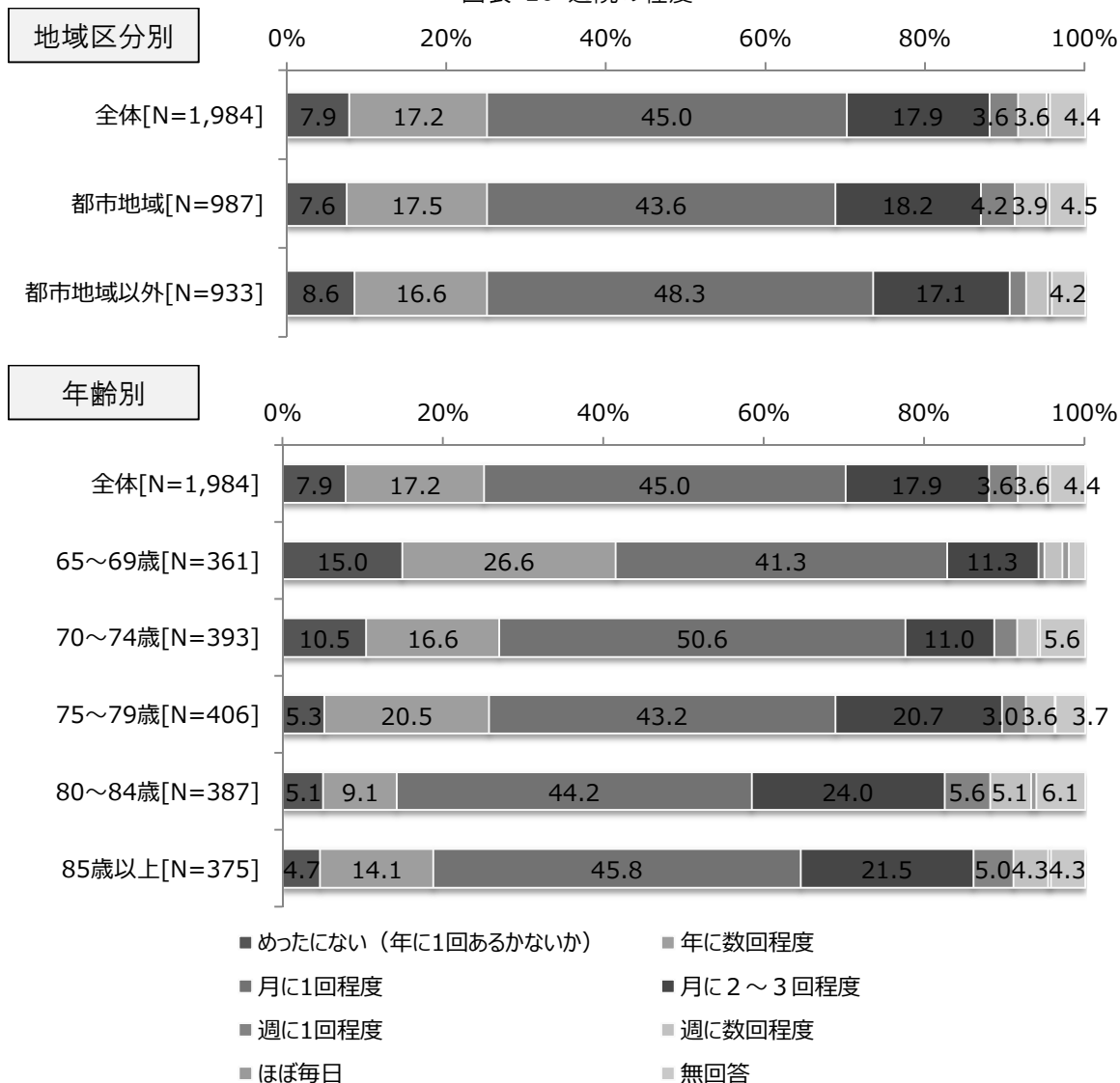
①通院の程度

問 21 あなたは、日頃、どの程度通院(医療機関の受診)をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

通院の程度としては、「月に1回程度」が45.0%と最も多く、次いで、「月に2～3回程度」が17.9%、「年に数回程度」が17.2%と続いています。

地域区分別では、都市地域以外で、「月に1回程度」がやや多くなっています。年齢別では、年齢が上がるにつれ、通院頻度の上がる傾向が見られます。

図表 23 通院の程度



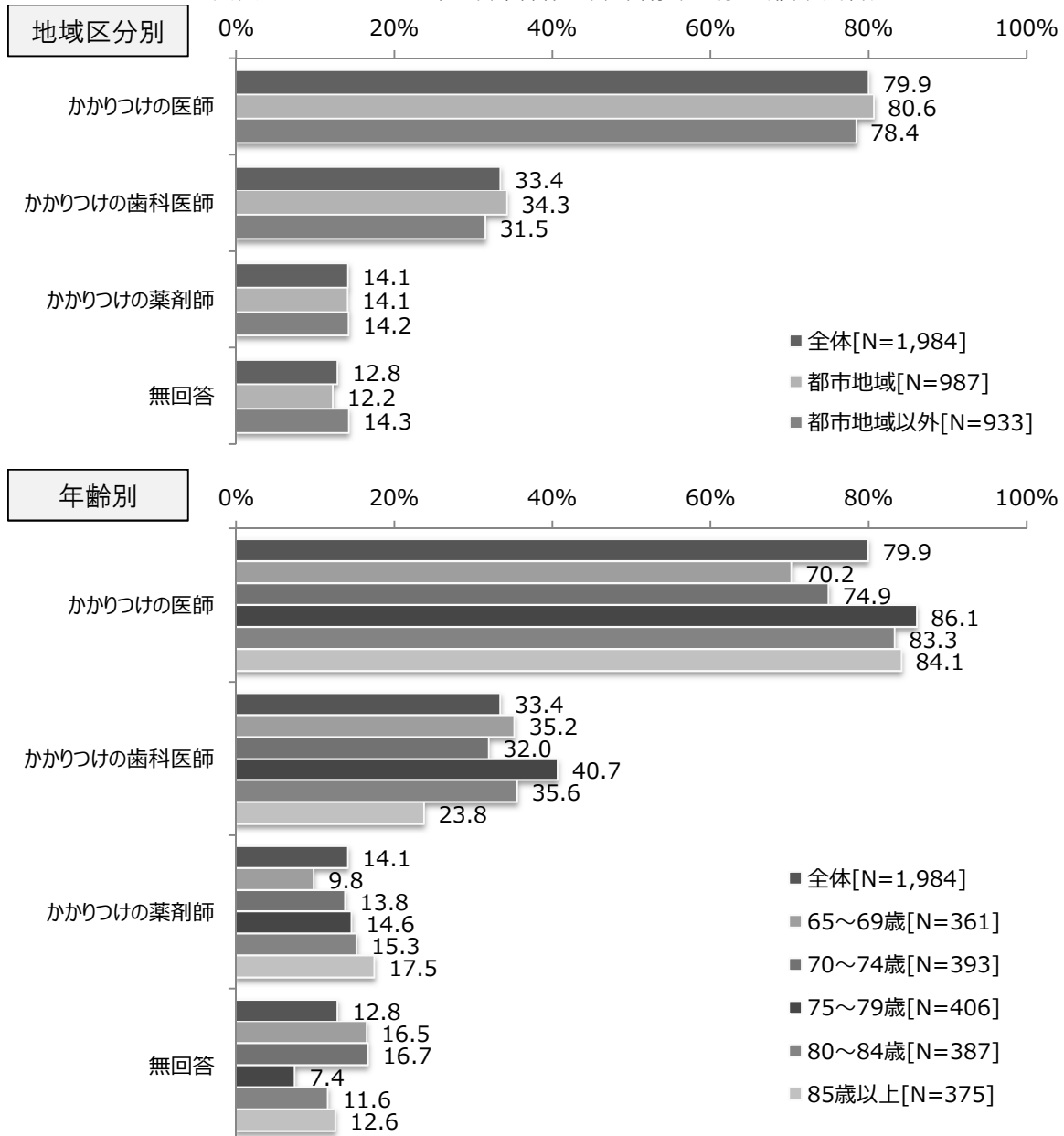
②かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無

問 22 あなたには、日頃から身近に診療、健康相談、薬の説明などを受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師はいますか。(あてはまるものすべてに○)

かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無については、「かかりつけの医師」は79.9%、「かかりつけの歯科医師」は33.4%、「かかりつけの薬剤師」は14.1%の人がいると回答しています。

年齢別で見ると、75～79歳で、「かかりつけの医師」「かかりつけの歯科医師」のいる人が多くなっています。「かかりつけの薬剤師」は年齢が上がるにつれている人の多くなる傾向が見られます。

図表 24 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無(複数回答)



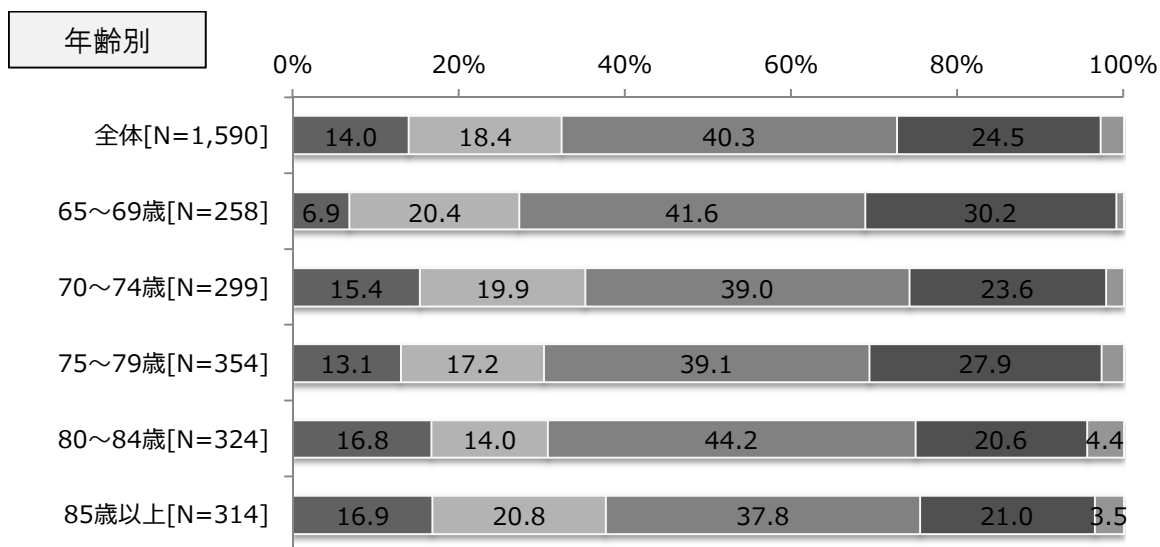
③往診等の有無

問 23 前の問で「1. かかりつけの医師」と答えた方におたずねします。あなたのかかりつけの医師は、往診などを行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

かかりつけの医師のいる人に、その医師の往診等の有無について聞いたところ、「往診などはしていない(外来診療のみ)」が40.3%と多くなっています。「診療時間内で往診などを行っている」は18.4%、「必要に応じて、夜間・休日等、診療時間外の往診などもしてもらえる」は14.0%です。

地域区分別では、都市地域以外で、往診をしている割合としていない割合のいずれもやや高い傾向が見られ、一方で「わからない」という人が少なくなっています。

図表 25 往診等の有無



- 必要に応じて、夜間・休日等、診療時間外の往診などもしてもらえる
- 診療時間内で往診などを行っている
- 往診などはしていない(外来診療のみ)
- わからない
- 無回答

(7) 健康について

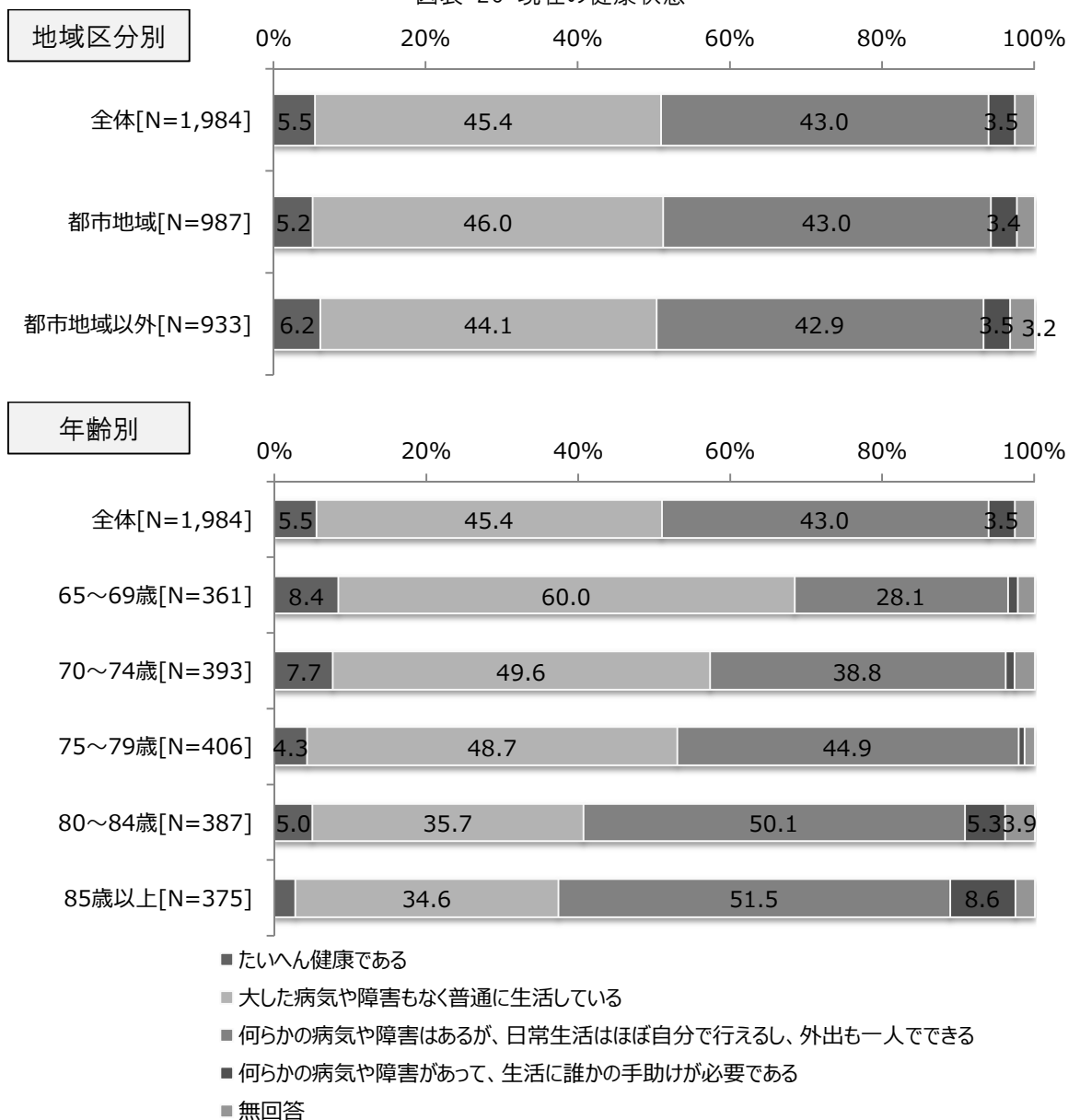
①現在の健康状態

問 24 あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

現在の健康状態については、「大した病気や障害もなく普通に生活している」が 45.4%、「何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える」が 43.0%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、なんらかの病気や障害のある人が多くなっています。

図表 26 現在の健康状態



②運動の有無

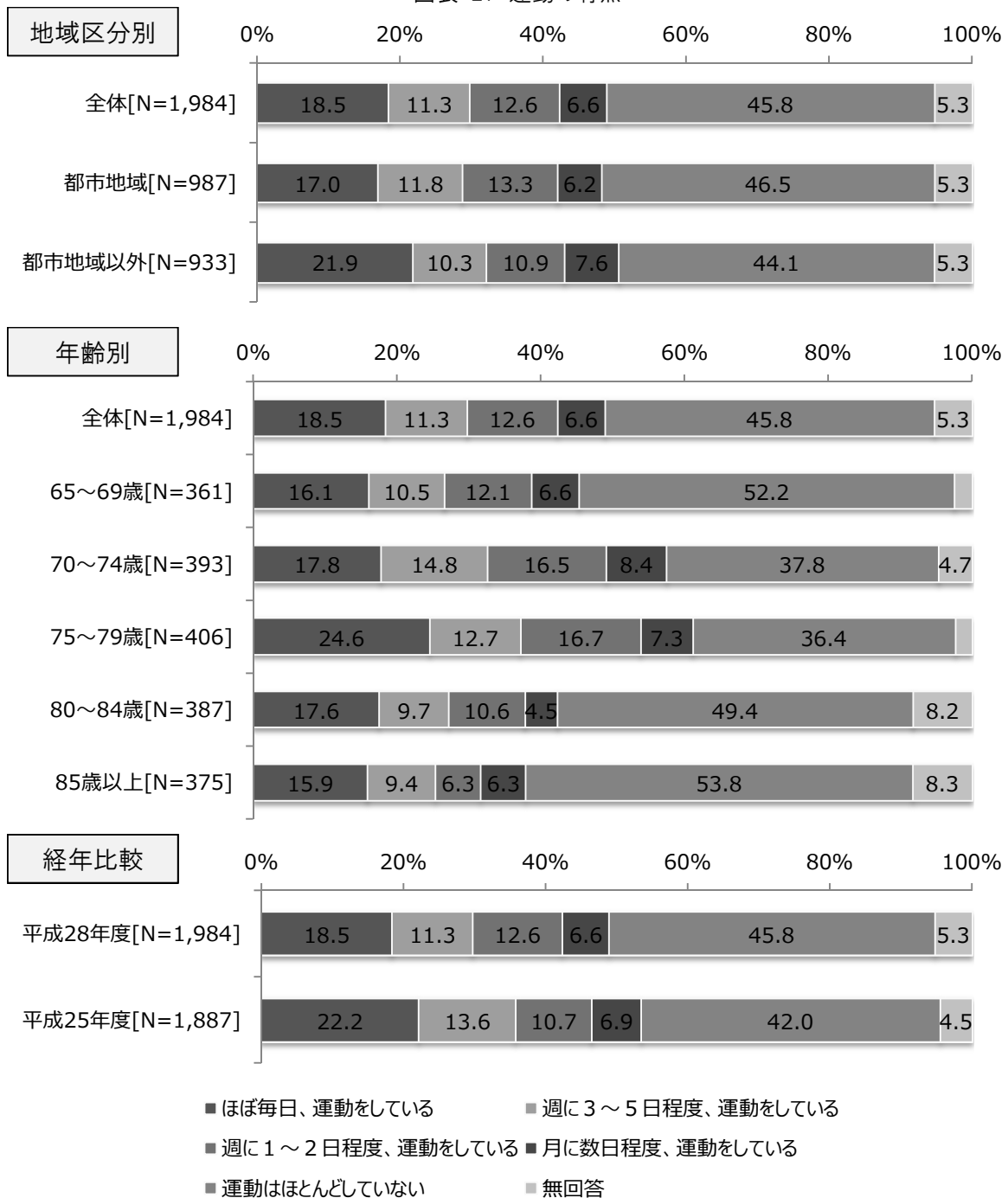
問 25 あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回 30 分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

運動の有無については、「運動はほとんどしていない」が 45.8%と多く、「ほぼ毎日、運動をしている」は 18.5%となっています。

地域区分別では、都市地域以外で、「ほぼ毎日、運動をしている」という人が比較的多くなっています。年齢別で見ると、75～79 歳で、「ほぼ毎日、運動をしている」という人が多くなっています。

経年比較では、「ほぼ毎日、運動をしている」という人が減っています。

図表 27 運動の有無

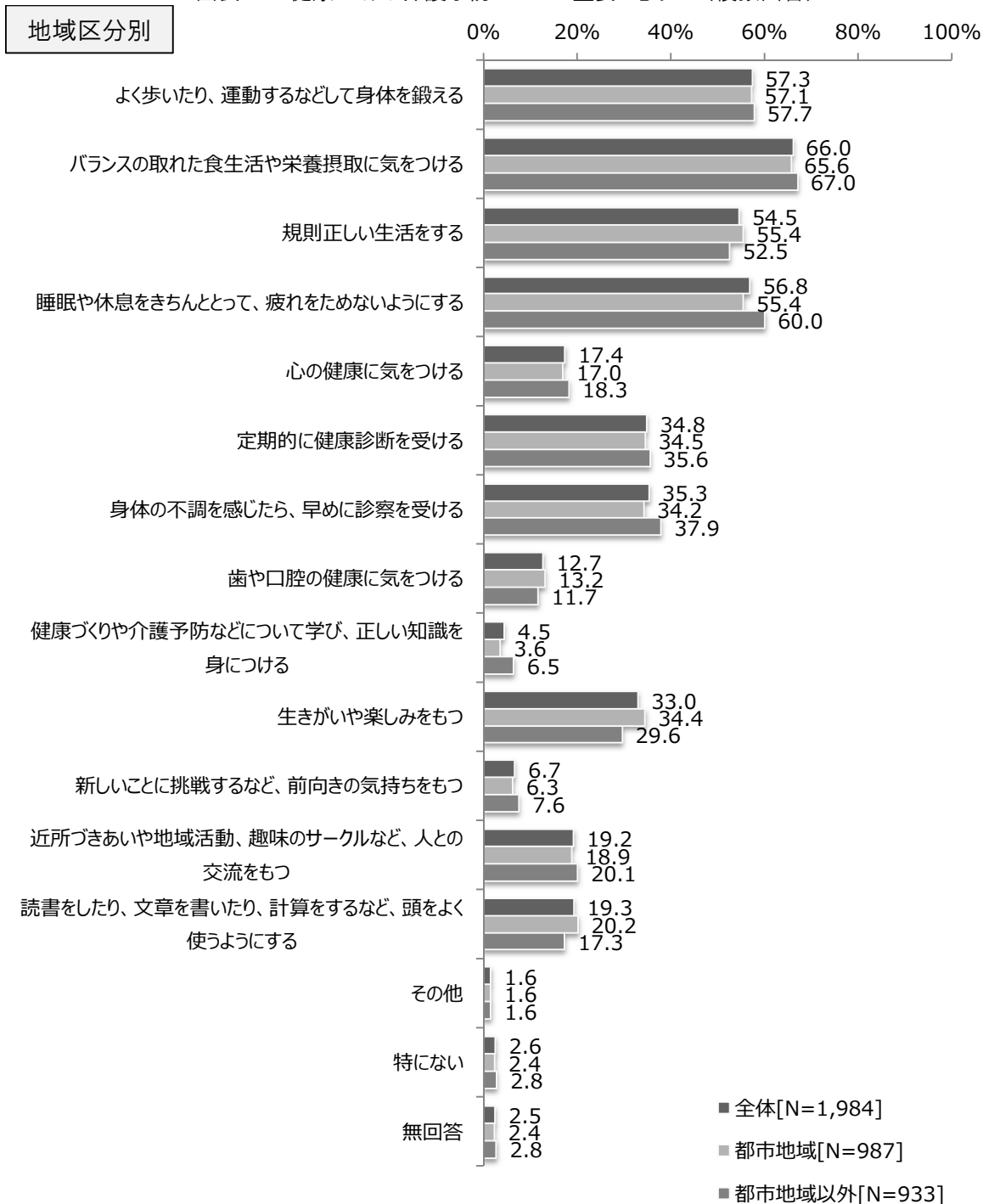


③健康づくりや介護予防のために重要と思うこと

問 26 あなたは、健康づくりや介護予防のために、どのようなことが重要だと思いますか。(特に重要と思うこと5つまでに○)

健康づくりや介護予防のために重要と思うことについて聞いたところ、「バランスの取れた食生活や栄養摂取に気をつける」が66.0%と最も多く、次いで、「よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える」が57.3%、「睡眠や休息をきちんととって、疲れをためないようにする」が56.8%、「規則正しい生活をする」が54.5%と続いています。

図表 28 健康づくりや介護予防のために重要と思うこと(複数回答)



年齢別	全体 [N=1,984]	65～69歳 [N=361]	70～74歳 [N=393]	75～79歳 [N=406]	80～84歳 [N=387]	85歳以上 [N=375]
よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える	57.3	63.3	65.0	61.5	50.1	47.9
バランスの取れた食生活や栄養摂取に気をつける	66.0	74.1	67.8	69.0	59.0	62.0
規則正しい生活をする	54.5	57.3	56.5	54.6	54.6	50.5
睡眠や休息をきちんととって、疲れをためないようにする	56.8	52.2	60.7	60.7	55.7	54.8
心の健康に気をつける	17.4	22.0	16.4	12.7	16.6	20.2
定期的に健康診断を受ける	34.8	38.2	33.3	39.0	32.3	31.4
身体の不調を感じたら、早めに診察を受ける	35.3	27.4	34.1	32.8	41.0	40.6
歯や口腔の健康に気をつける	12.7	12.2	11.5	14.1	13.5	12.2
健康づくりや介護予防などについて学び、正しい知識を身につける	4.5	3.4	2.0	4.3	4.1	8.8
生きがいや楽しみをもつ	33.0	38.9	33.4	34.6	25.7	33.2
新しいことに挑戦するなど、前向きな気持ちをもつ	6.7	7.4	8.4	6.2	6.1	5.6
近所づきあいや地域活動、趣味のサークルなど、人との交流をもつ	19.2	16.7	18.9	23.7	17.9	18.5
読書をしたり、文章を書いたり、計算をするなど、頭をよく使うようにする	19.3	15.3	16.1	21.4	19.6	24.4
その他	1.6	1.0	0.0	1.1	2.1	3.8
特になし	2.6	3.6	1.9	0.7	3.8	3.1
無回答	2.5	0.5	3.1	2.3	2.3	4.2

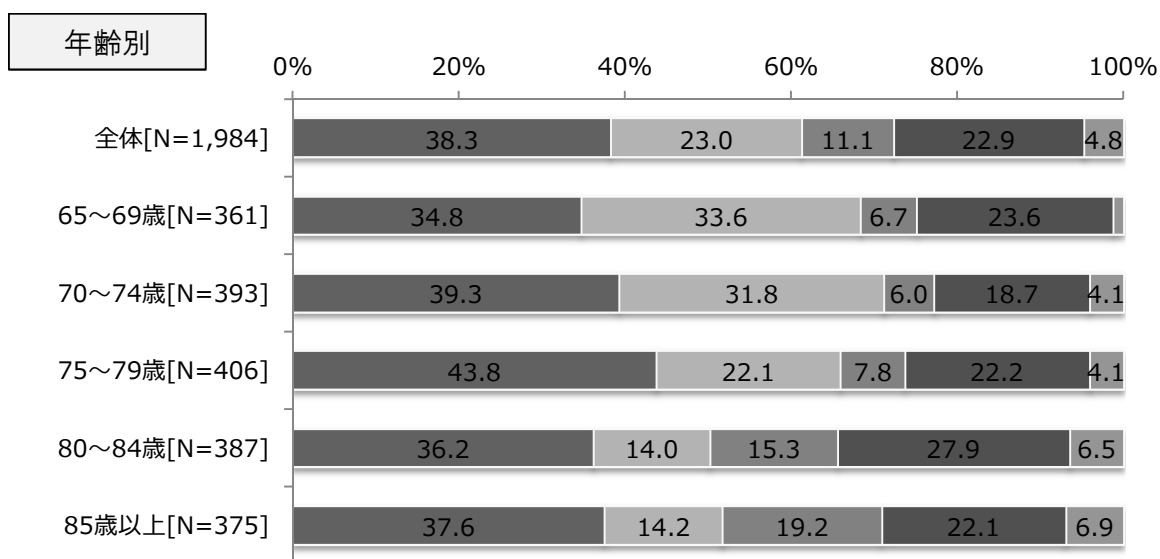
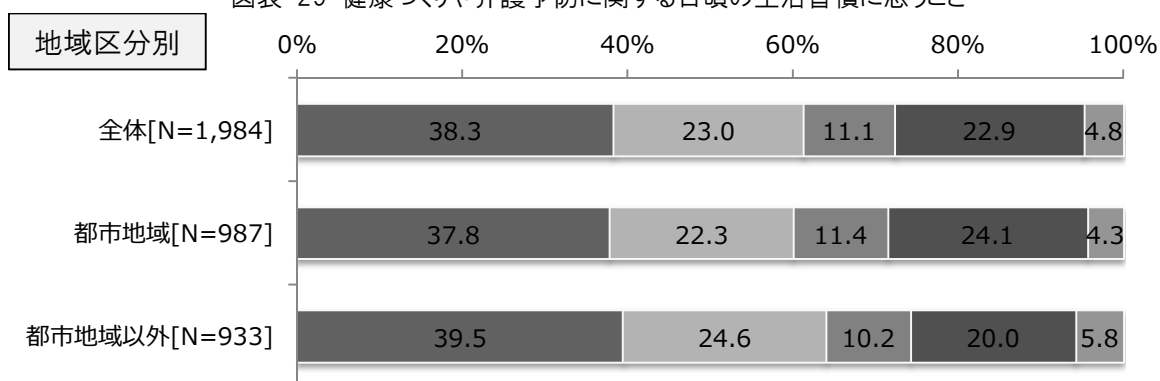
④健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと

問 27 あなたは、ご自身の健康づくりや介護予防に関して、日頃の生活習慣(ロコモ予防やメタボ予防など)をどのように思いますか。(あてはまるもの1つに○)

健康づくりや介護予防に関し、日頃の生活習慣について聞いたところ、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が 38.3%と最も多くなっており、次いで、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が 23.0%、「特に意識をしていない」が 22.9%、「意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う」が 11.1%となっています。

年齢別で見ると、75～79歳で、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」という人が多くなっています。

図表 29 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと



- 普段から意識をして運動や食生活に気をつけている
- 意識をしており、もっと改善する必要があると思っている
- 意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う
- 特に意識をしていない
- 無回答

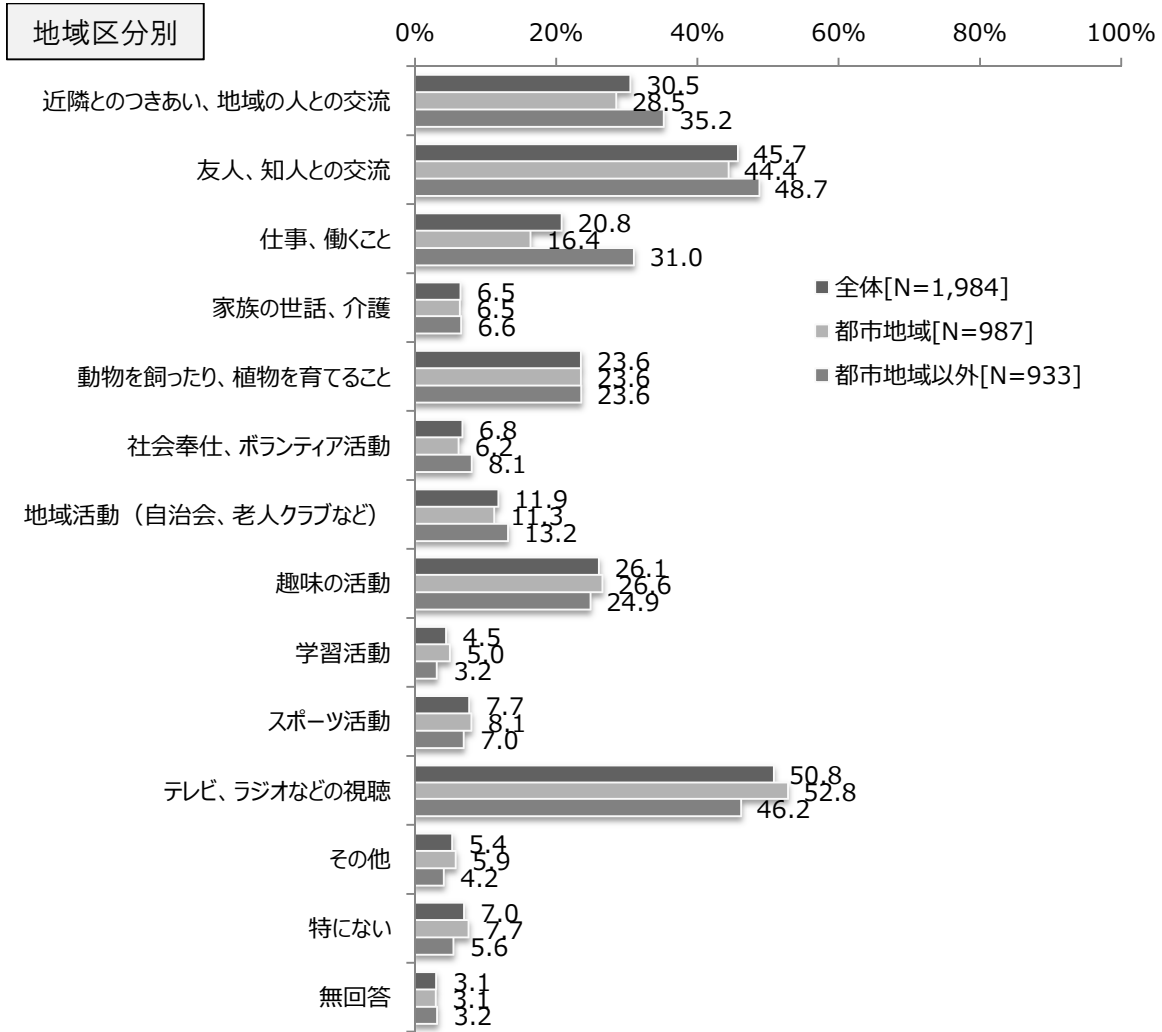
⑤生きがいや楽しみ

問 28 あなたの生活の中で、生きがいや楽しみになっていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

生きがいや楽しみとしては、「テレビ、ラジオなどの視聴」が 50.8%と多くなっています。次いで、「友人、知人との交流」が 45.7%、「近隣とのつきあい、地域の人との交流」が 30.5%、「趣味の活動」が 26.1%と続いています。

地域区分別では、都市地域以外で、「仕事、働くこと」をあげる人が多くなっています。

図表 30 生きがいや楽しみ(複数回答)



年齢別	全体 [N=1,984]	65~69歳 [N=361]	70~74歳 [N=393]	75~79歳 [N=406]	80~84歳 [N=387]	85歳以上 [N=375]
近隣とのつきあい、地域の人との交流	30.5	21.8	26.2	34.0	36.9	32.6
友人、知人との交流	45.7	49.5	50.2	50.0	43.7	35.3
仕事、働くこと	20.8	28.0	24.6	18.7	18.9	14.7
家族の世話、介護	6.5	7.5	5.0	5.8	8.7	5.5
動物を飼ったり、植物を育てること	23.6	28.8	30.4	20.8	19.9	18.8
社会奉仕、ボランティア活動	6.8	9.3	5.2	9.4	7.6	2.5
地域活動(自治会、老人クラブなど)	11.9	8.2	9.4	16.1	15.9	9.5
趣味の活動	26.1	31.6	29.5	32.3	19.6	18.0
学習活動	4.5	7.7	2.5	5.8	2.4	4.2
スポーツ活動	7.7	11.0	8.2	9.5	5.8	4.5
テレビ、ラジオなどの視聴	50.8	45.9	47.6	46.0	53.8	61.6
その他	5.4	3.9	7.0	5.3	4.4	6.2
特にない	7.0	7.5	4.2	7.0	8.0	8.7
無回答	3.1	1.4	2.7	2.5	2.8	6.2

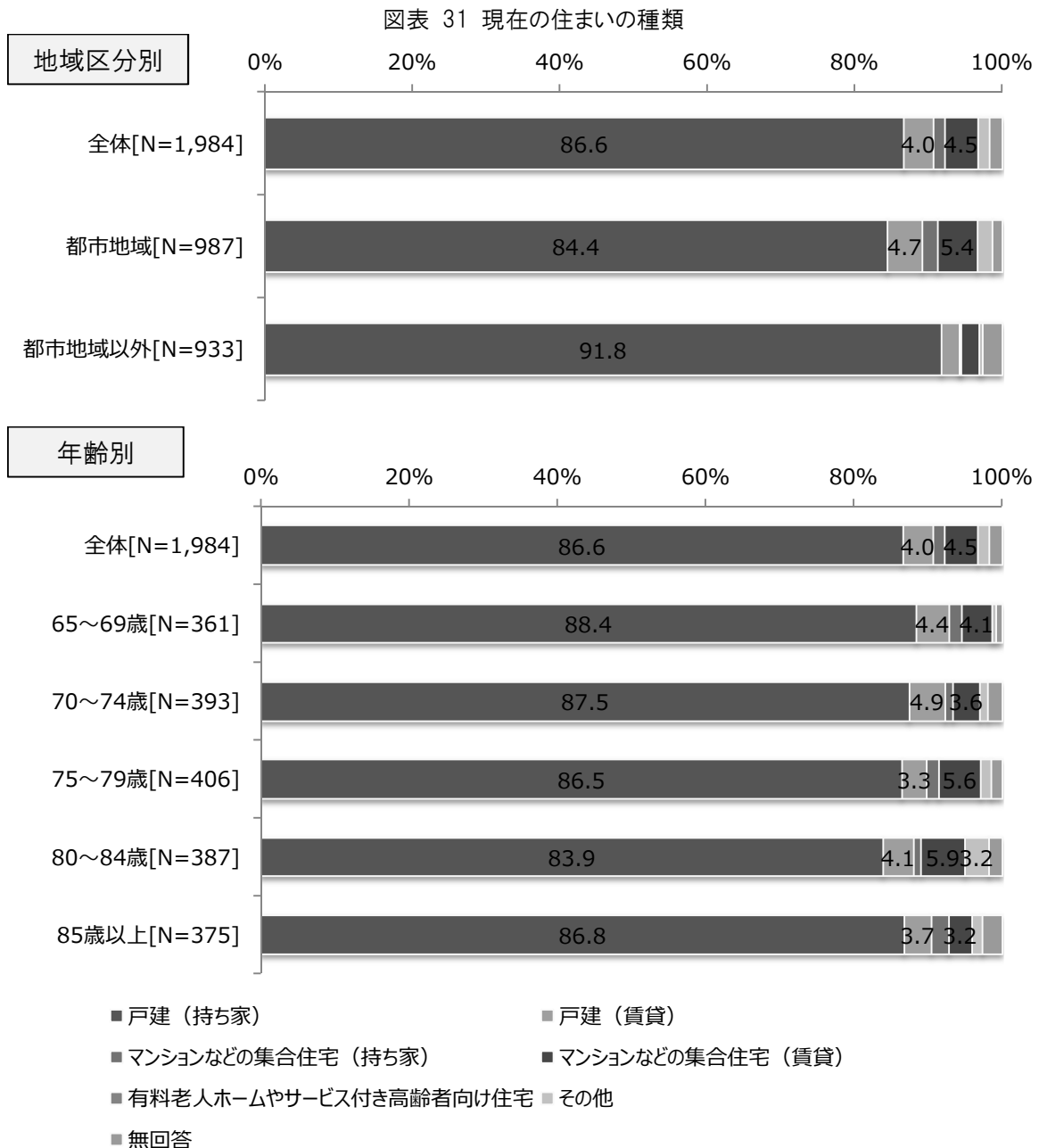
(8) 今後の在宅での暮らし、住み替えなどについて

①現在の住まいの種類

問 29 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

現在の住まいの種類については、「戸建（持ち家）」が86.6%と多くなっています。

地域区分別で見ると、都市地域に比べて、都市地域以外で「戸建（持ち家）」の割合が高くなっています。



②介護が必要になった場合の住み替え意向

問 30 前の問で「1.」～「4.」と答えた方におたずねします。次の(1)～(2)をご回答ください。

(1)あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

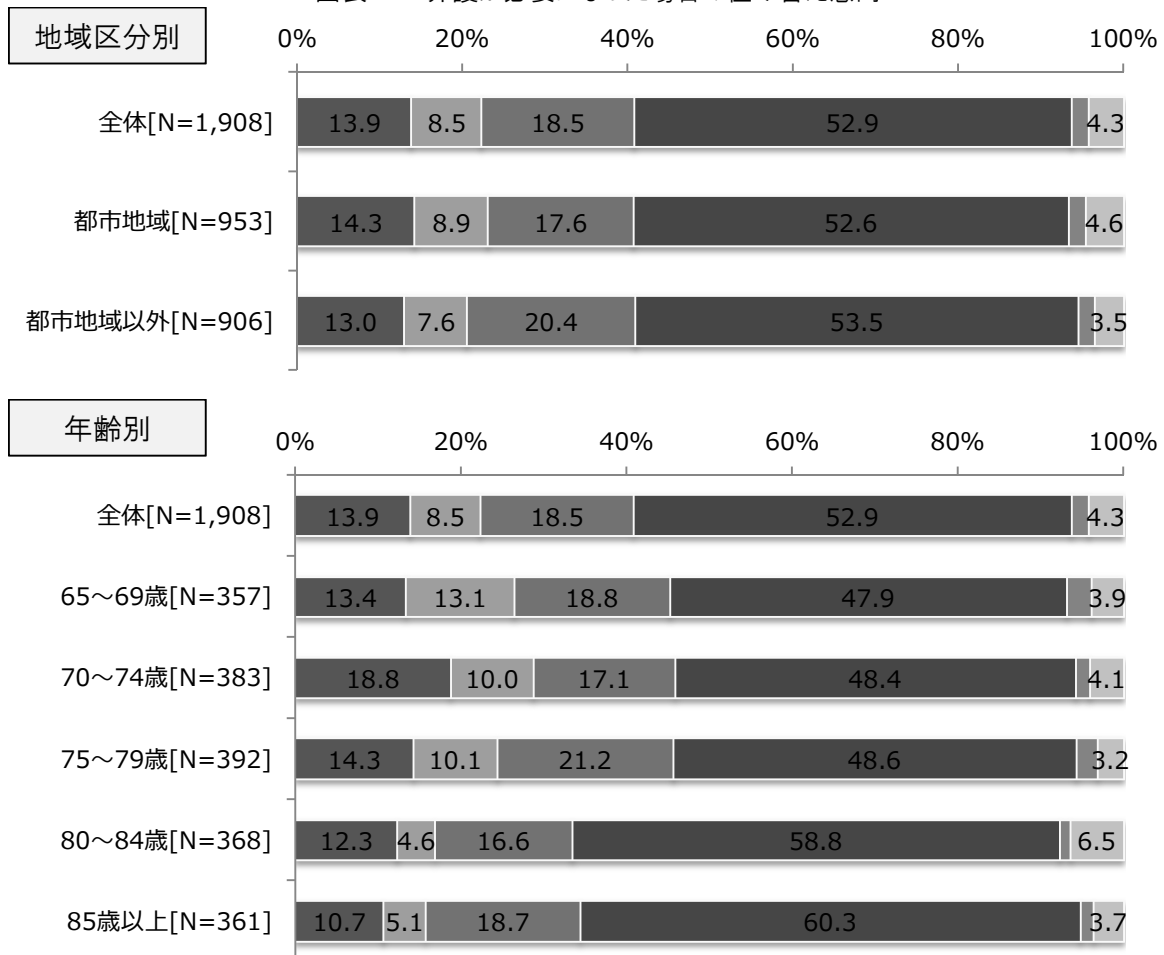
介護が必要になった場合の住み替え意向について聞いたところ、「今の住宅にできるだけ住み続けたい（住み替えは考えない）」が52.9%とほぼ半数を占めます。

地域区分別で見ると、都市地域では「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」という人がやや多く、都市地域以外では「家族の介護が受けられれば今の住宅がよいが、難しい場合は住み替えを考えたい」という人がやや多くなっています。

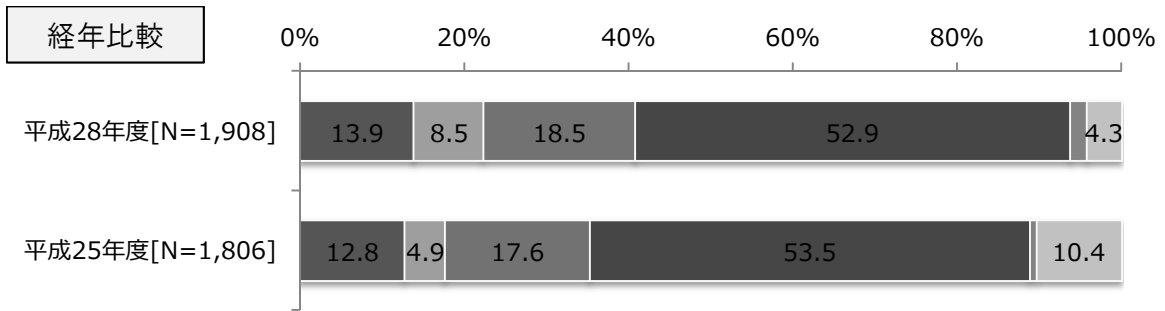
年齢別で見ると、80歳以上の人で、「今の住宅にできるだけ住み続けたい（住み替えは考えない）」という人が多くなっています。

経年比較では、「今の住宅にできるだけ住み続けたい（住み替えは考えない）」以外をあげる人が増えている傾向が見られます。

図表 32 介護が必要になった場合の住み替え意向



- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい
- 施設までは考えないが、サービスの付いた住宅があれば住み替えを考えたい
- 家族の介護を受けられれば今の住宅がよいが、難しい場合は住み替えを考えたい
- 今の住宅にできるだけ住み続けたい（住み替えは考えない）
- その他
- 無回答



- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい
- 施設までは考えないが、サービスの付いた住宅があれば住み替えを考えたい
- 家族の介護を受けられれば今の住宅がよいが、難しい場合は住み替えを考えたい
- 今の住宅にできるだけ住み続けたい（住み替えは考えない）
- その他
- 無回答

③住み替えで重視すること

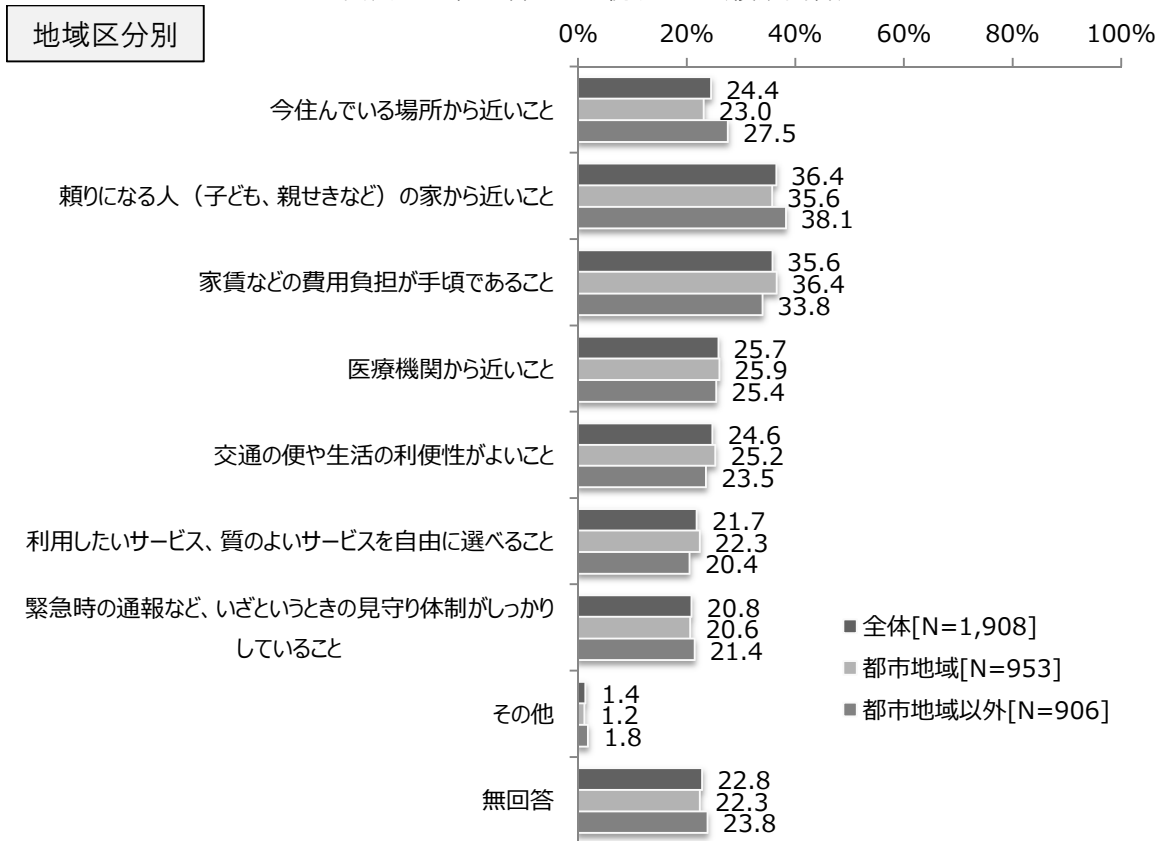
(2)もし、住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか。(あてはまるものすべてに○)

住み替えで重視することについて聞いたところ、「頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」が36.4%、「家賃などの費用負担が手頃であること」が35.6%等となっています。

地域区分別で見ると、都市地域以外では、都市地域に比べて、「今住んでいる場所から近いこと」をあげる人がやや多くなっています。

年齢別で見ると、年齢の若い層で、「家賃などの費用負担が手頃であること」を重視する傾向が見られます。

図表 33 住み替えで重視すること(複数回答)



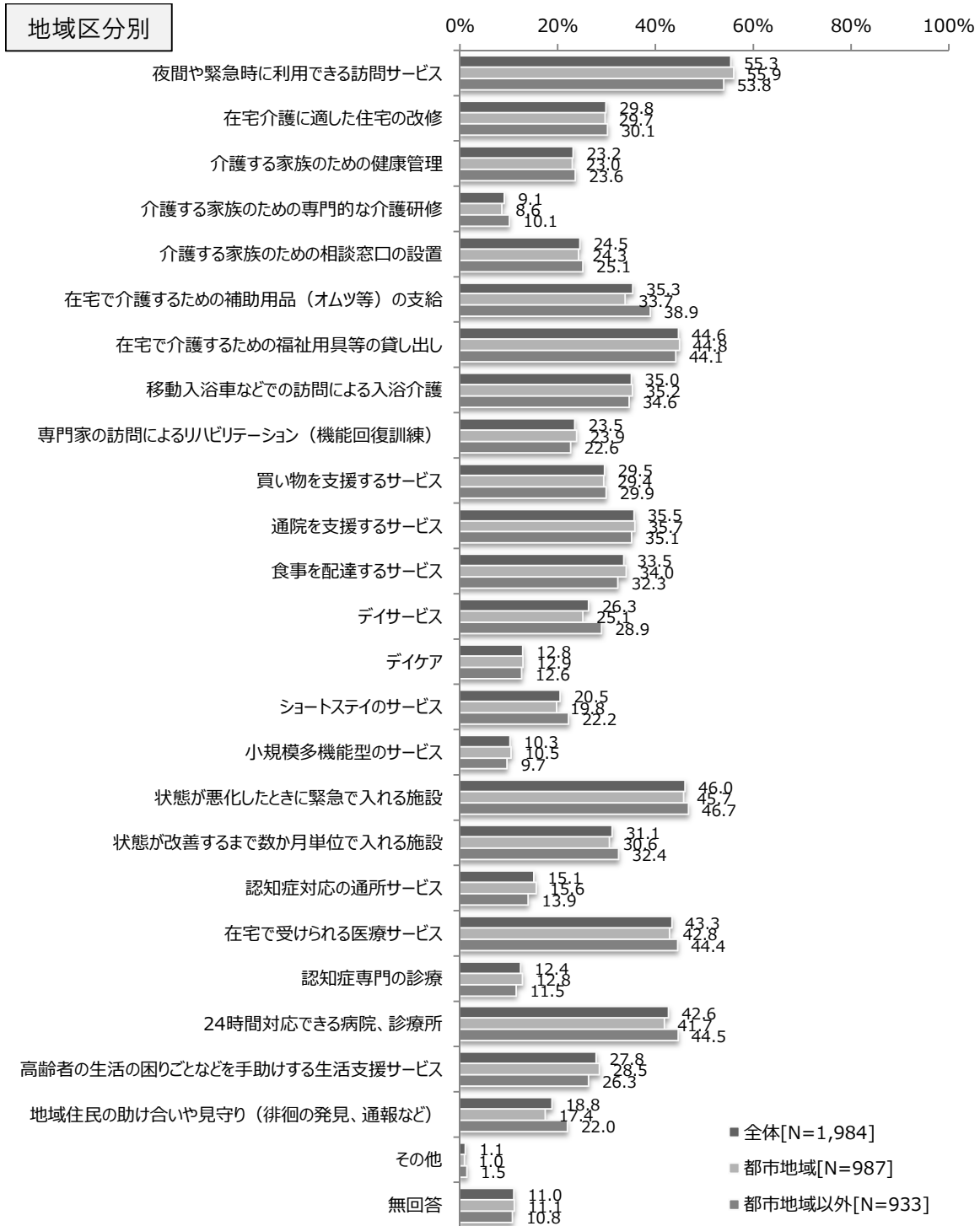
年齢別	全体 [N=1,908]	65~69歳 [N=357]	70~74歳 [N=383]	75~79歳 [N=392]	80~84歳 [N=368]	85歳以上 [N=361]
今住んでいる場所から近いこと	24.4	21.3	23.4	21.5	30.3	24.8
頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと	36.4	36.3	38.1	35.4	35.1	37.3
家賃などの費用負担が手頃であること	35.6	44.2	37.6	38.1	31.0	28.1
医療機関から近いこと	25.7	24.8	24.2	26.9	28.1	24.9
交通の便や生活の利便性がよいこと	24.6	31.1	24.2	28.4	21.4	18.6
利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること	21.7	28.3	21.2	21.4	20.7	18.1
緊急時の通報など、いざという時の見守り体制がしっかりしていること	20.8	20.9	18.2	21.8	20.0	23.2
その他	1.4	0.6	1.1	1.8	1.3	2.0
無回答	22.8	13.4	20.8	20.4	26.7	32.4

④介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービス

問 31 将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービスについて聞いたところ、「夜間や緊急時に利用できる訪問サービス」が 55.3%と最も多く、次いで、「状態が悪化したときに緊急で入れる施設」が 46.0%、「在宅で介護するための福祉用具等の貸し出し」が 44.6%、「在宅で受けられる医療サービス」が 43.3%と続いています。

図表 34 介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービス(複数回答)



年齢別	全体 [N=1,984]	65～69歳 [N=361]	70～74歳 [N=393]	75～79歳 [N=406]	80～84歳 [N=387]	85歳以上 [N=375]
夜間や緊急時に利用できる訪問サービス	55.3	58.7	54.5	59.8	48.4	55.9
在宅介護に適した住宅の改修	29.8	36.9	35.9	29.4	24.3	23.7
介護する家族のための健康管理	23.2	20.1	26.1	24.7	23.7	21.1
介護する家族のための専門的な介護研修	9.1	9.6	8.9	9.8	8.5	8.9
介護する家族のための相談窓口の設置	24.5	29.7	27.8	24.6	23.1	18.3
在宅で介護するための補助用品（オムツ等）の支給	35.3	37.3	34.1	39.2	32.4	34.0
在宅で介護するための福祉用具等の貸し出し	44.6	51.6	42.1	51.1	41.5	37.8
移動入浴車などでの訪問による入浴介護	35.0	38.3	35.4	37.3	29.2	36.0
専門家の訪問によるリハビリテーション（機能回復訓練）	23.5	25.9	26.7	23.6	20.0	21.9
買い物支援サービス	29.5	32.0	35.6	27.7	27.3	26.3
通院を支援するサービス	35.5	33.7	38.7	40.2	32.7	31.9
食事を配達するサービス	33.5	42.2	34.5	33.7	29.3	27.6
デイサービス	26.3	36.9	28.9	29.1	20.0	17.7
デイケア	12.8	15.6	15.4	13.8	9.9	9.8
ショートステイのサービス	20.5	26.3	23.8	22.4	16.9	13.9
小規模多機能型のサービス	10.3	14.0	12.5	13.3	6.2	5.8
状態が悪化したときに緊急で入れる施設	46.0	50.4	47.6	44.3	44.8	43.5
状態が改善するまで数か月単位で入れる施設	31.1	34.8	33.7	33.1	27.5	26.9
認知症対応の通所サービス	15.1	17.5	18.0	17.8	10.4	11.8
在宅で受けられる医療サービス	43.3	47.0	42.5	44.7	41.8	40.9
認知症専門の診療	12.4	14.8	10.8	15.4	10.6	10.6
24時間対応できる病院、診療所	42.6	52.4	48.2	44.1	33.2	37.1
高齢者の生活の困りごとなどを手助けする生活支援サービス	27.8	43.4	33.2	29.6	16.8	17.5
地域住民の助け合いや見守り（徘徊の発見、通報など）	18.8	28.3	20.3	18.5	14.3	13.8
その他	1.1	0.0	1.7	1.9	1.2	0.8
無回答	11.0	9.2	10.1	8.9	12.9	13.7

(9) 自宅での看取りの考え方などについて

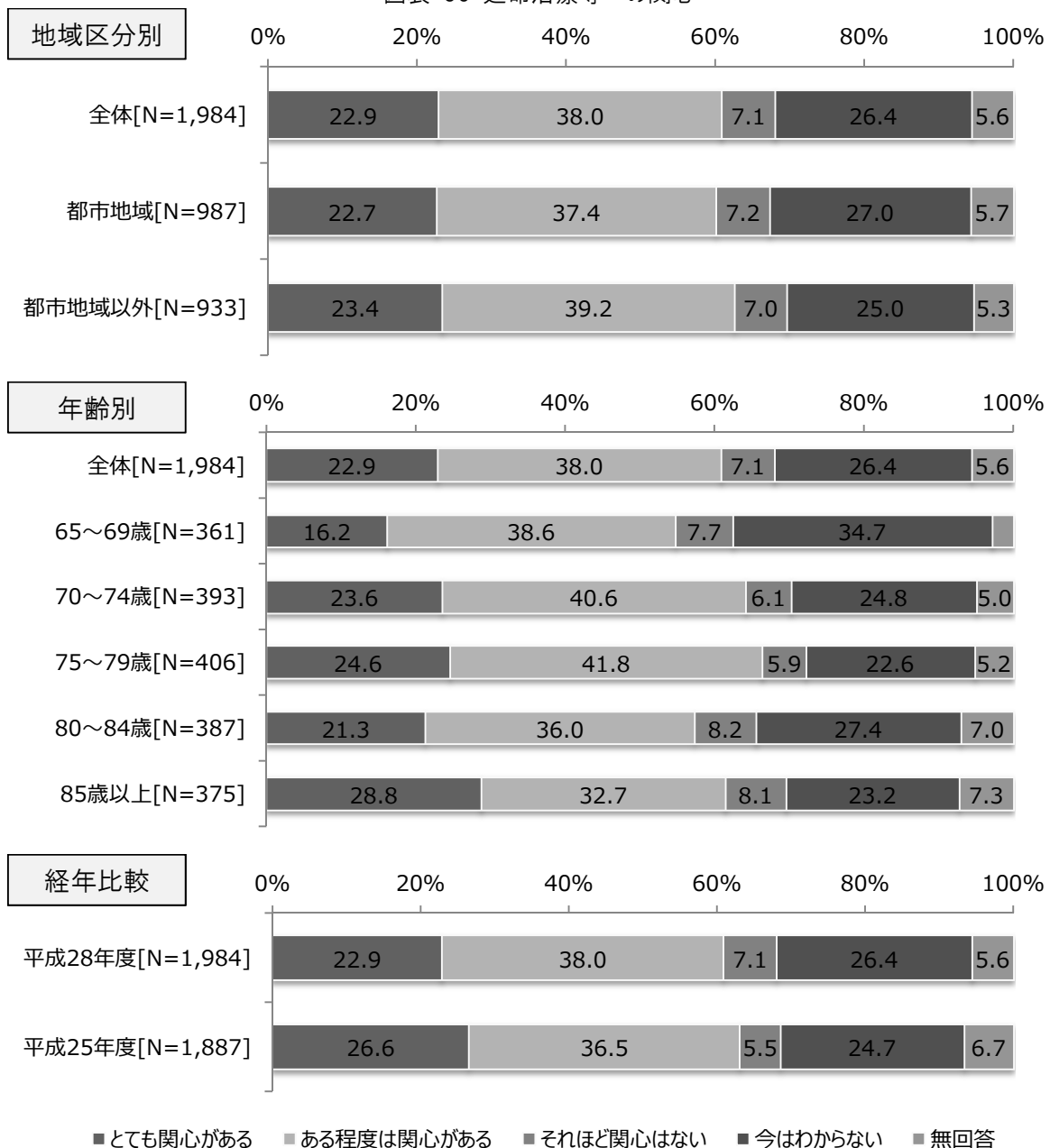
①延命治療等への関心

問 32 現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

延命治療等への関心については、「ある程度は関心がある」が 38.0%、「今はわからない」が 26.4%、「とても関心がある」が 22.9%、「それほど関心はない」が 7.1%となっています。

経年比較では、関心のある人がやや減少し、「今はわからない」という人がやや増加しています。

図表 35 延命治療等への関心



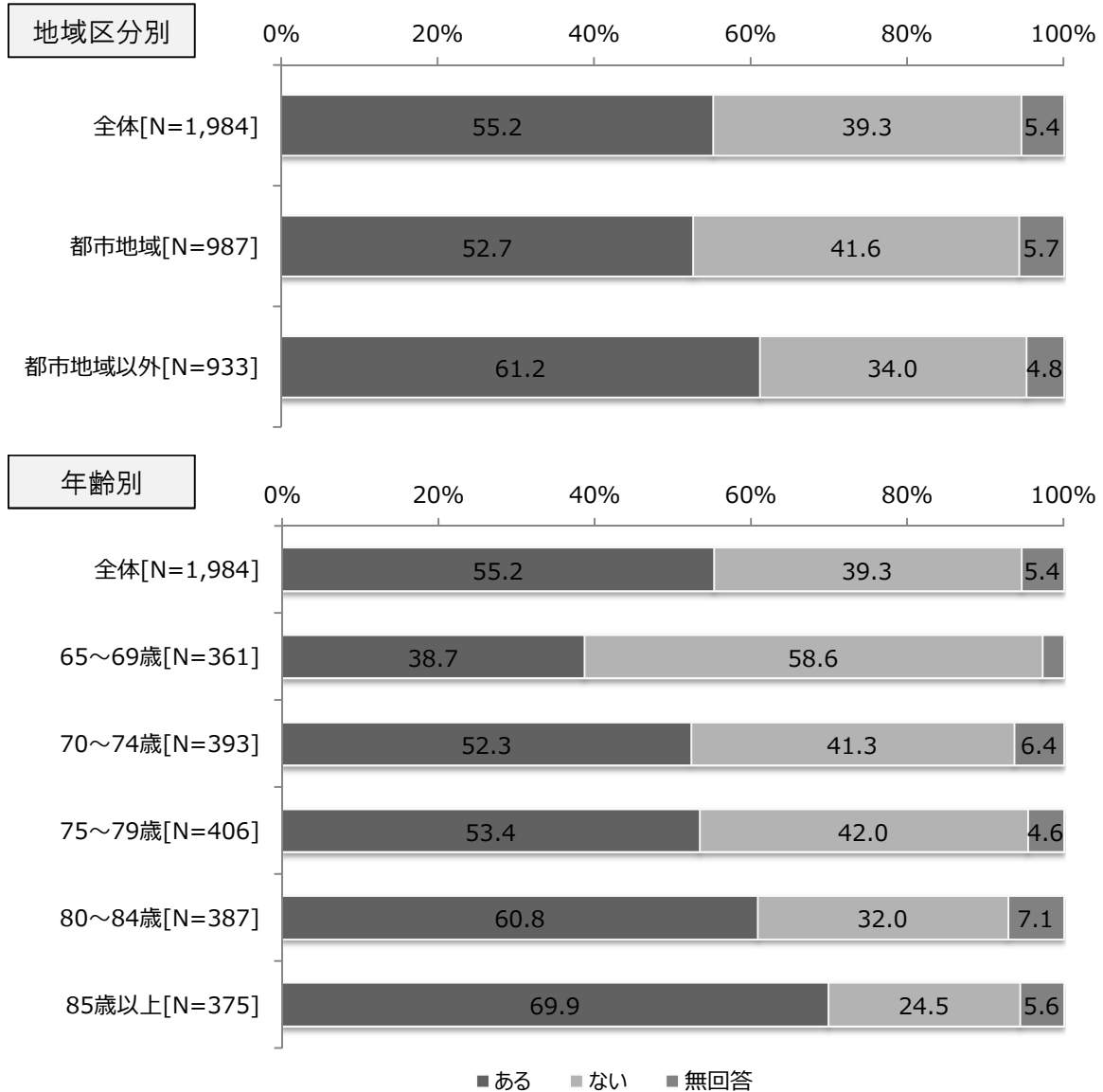
② 自宅で家族を看取った経験の有無

問 33 あなたは、自宅(または親の自宅等)で、家族を看取った経験がありますか。(いずれか1つに○)

自宅で家族を看取った経験について聞いたところ、「ある」が55.2%、「ない」が39.3%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「ある」という人が多くなっています。

図表 36 自宅で家族を看取った経験の有無



③延命治療の希望

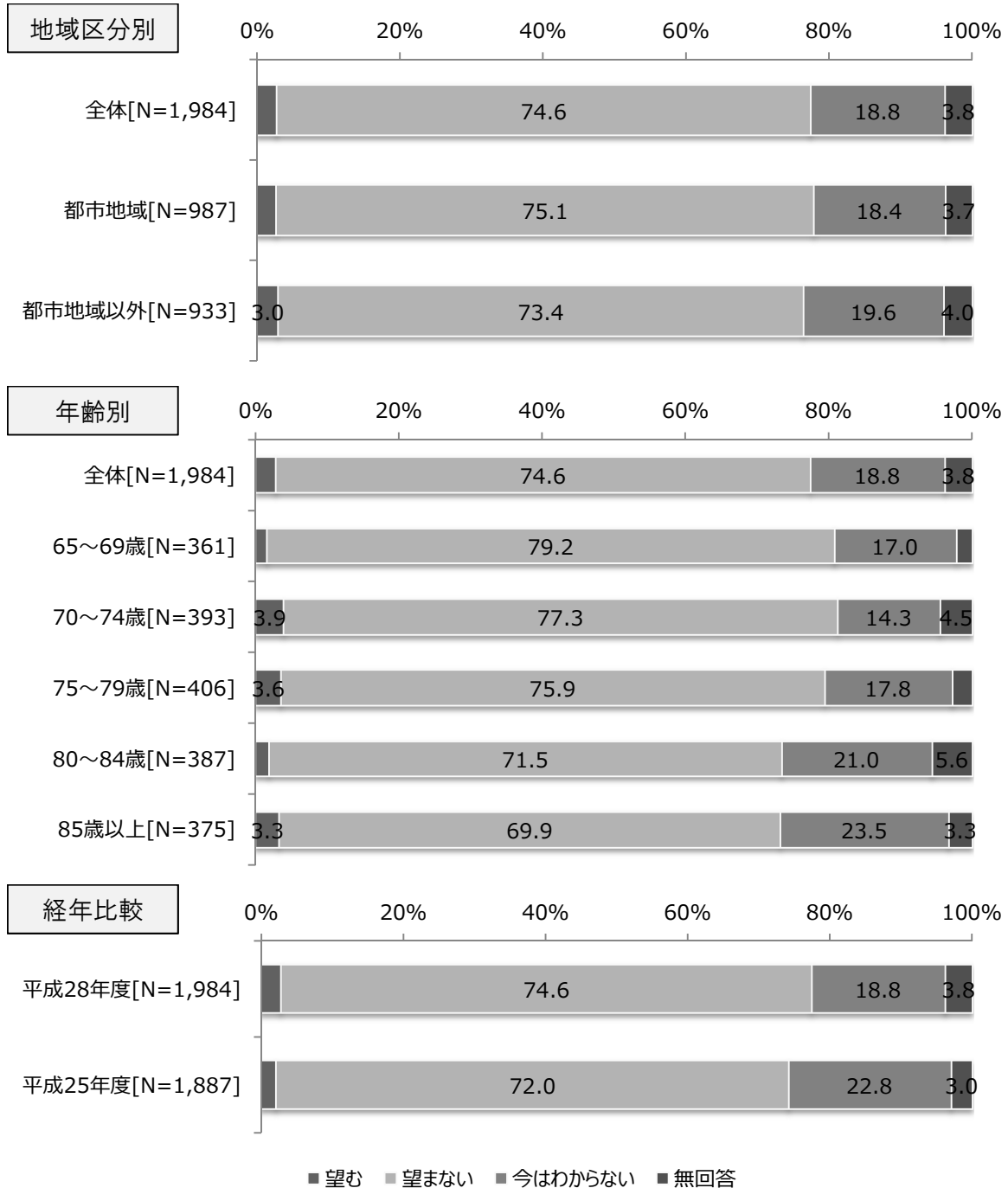
問 34 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、延命治療を望みますか。(最も近いもの1つに○)

延命治療の希望については、「望まない」が74.6%、「今はわからない」が18.8%、「望む」が2.8%となっています。

年齢別で見ると、80歳以上では、「今はわからない」という人が比較的多くなっています。

経年比較では、「望まない」という人がやや増加しています。

図表 37 延命治療の希望



④最期を過ごしたい場所

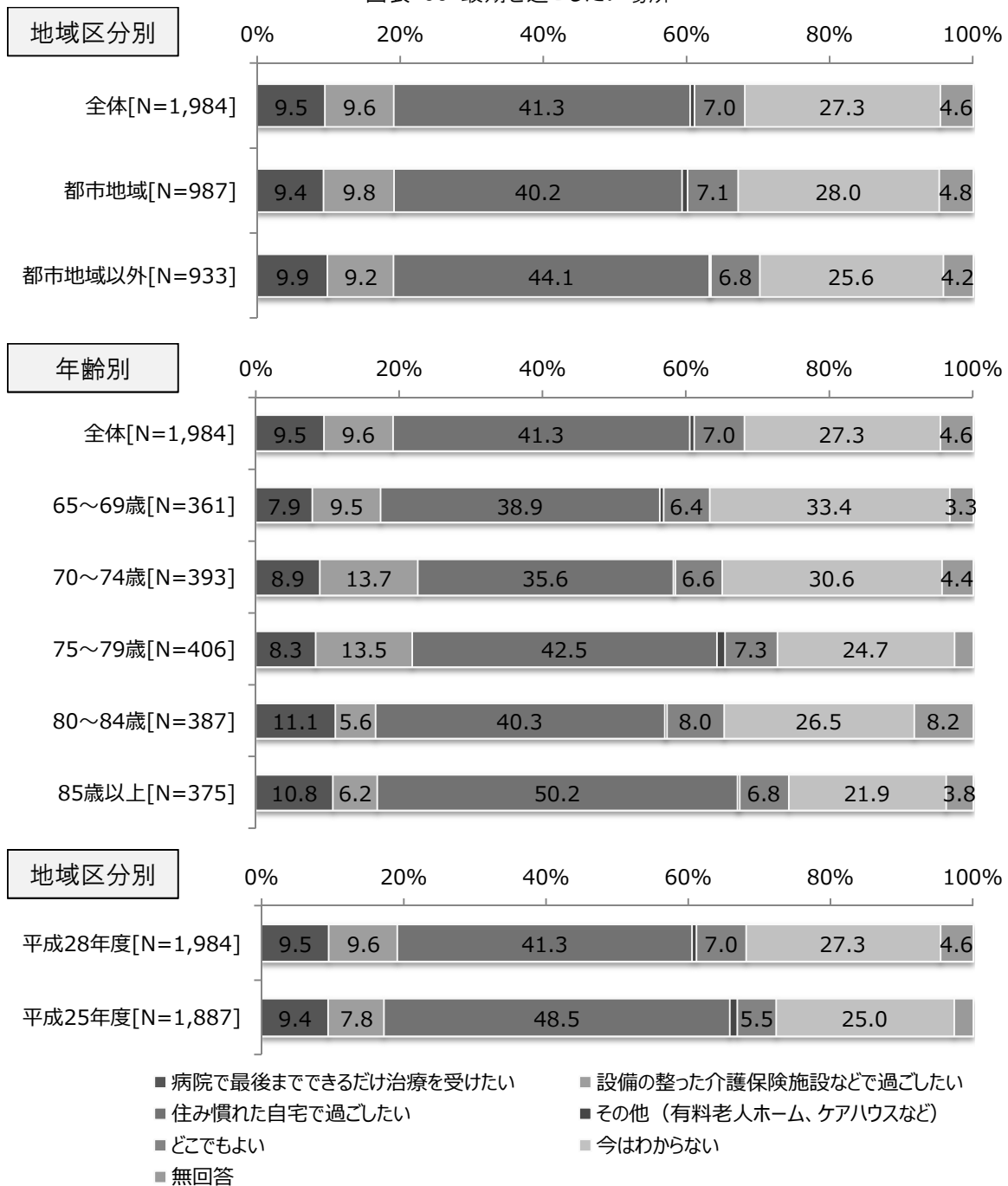
問 35 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、最期をどこで迎えたいと思われませんか。(最も近いもの1つに○)

自分が最期を過ごしたい場所について聞いたところ、「住み慣れた自宅で過ごしたい」が41.3%と多くなっています。次いで、「今はわからない」が27.3%となっています。

地域別では、都市地域以外で「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人がやや多くなっています。年齢別では、85歳以上の人で、「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人が多くなっています。

経年比較では、「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人が減少し、「設備の整った介護保険施設などで過ごしたい」という人のやや増加している傾向が見られます。

図表 38 最期を過ごしたい場所



(10) 高齢者の生活支援や介護の仕事について

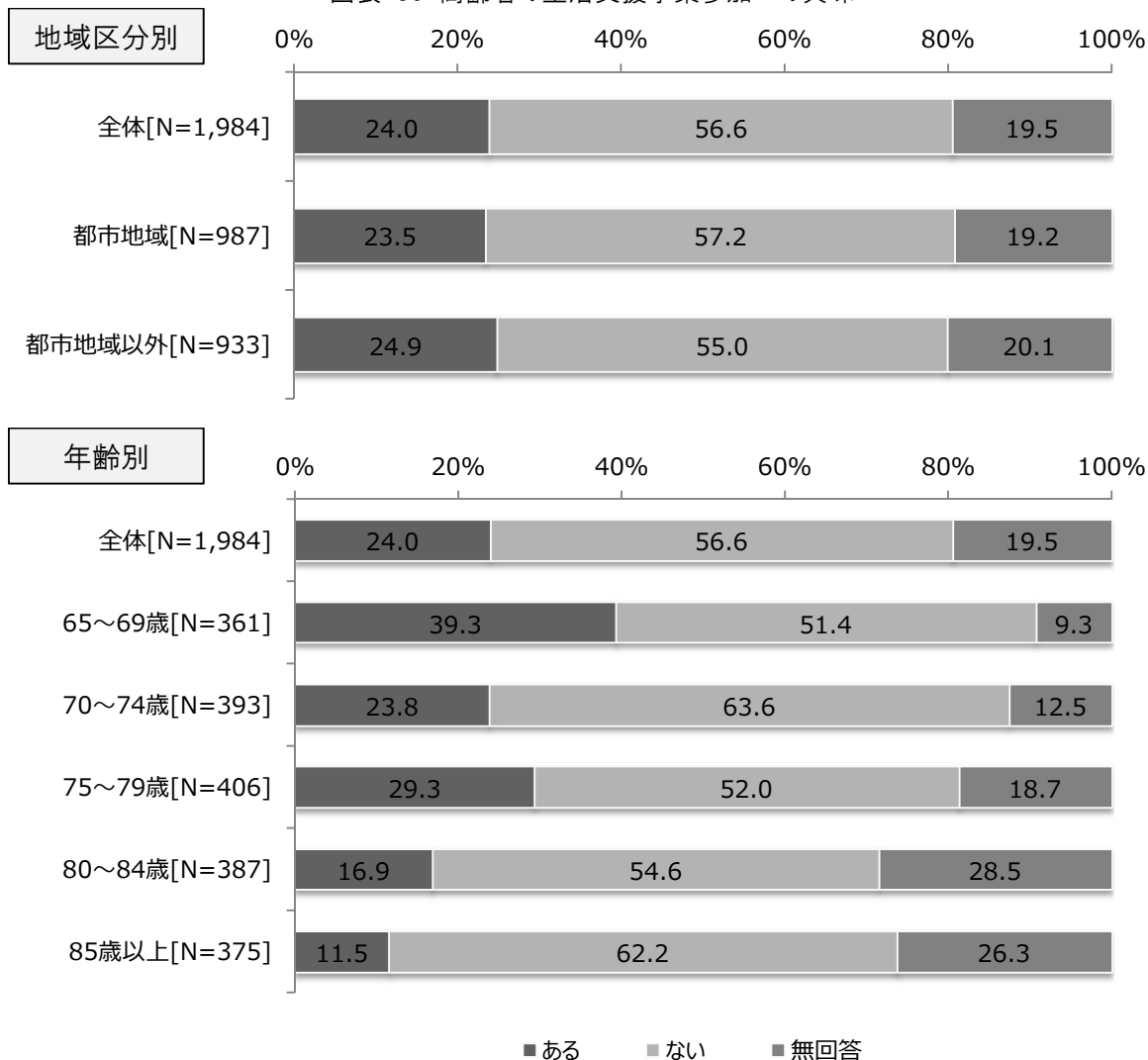
① 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

問 36 あなたは、地域で、高齢者の生活を支援するための事業が運営されることになった場合、そのような事業への参加に興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者の生活支援事業について、参加することへの興味の有無を聞いたところ、「ない」が56.6%、「ある」が24.0%となっています。

年齢別では、65～69歳で「ある」という人が多くなっています。

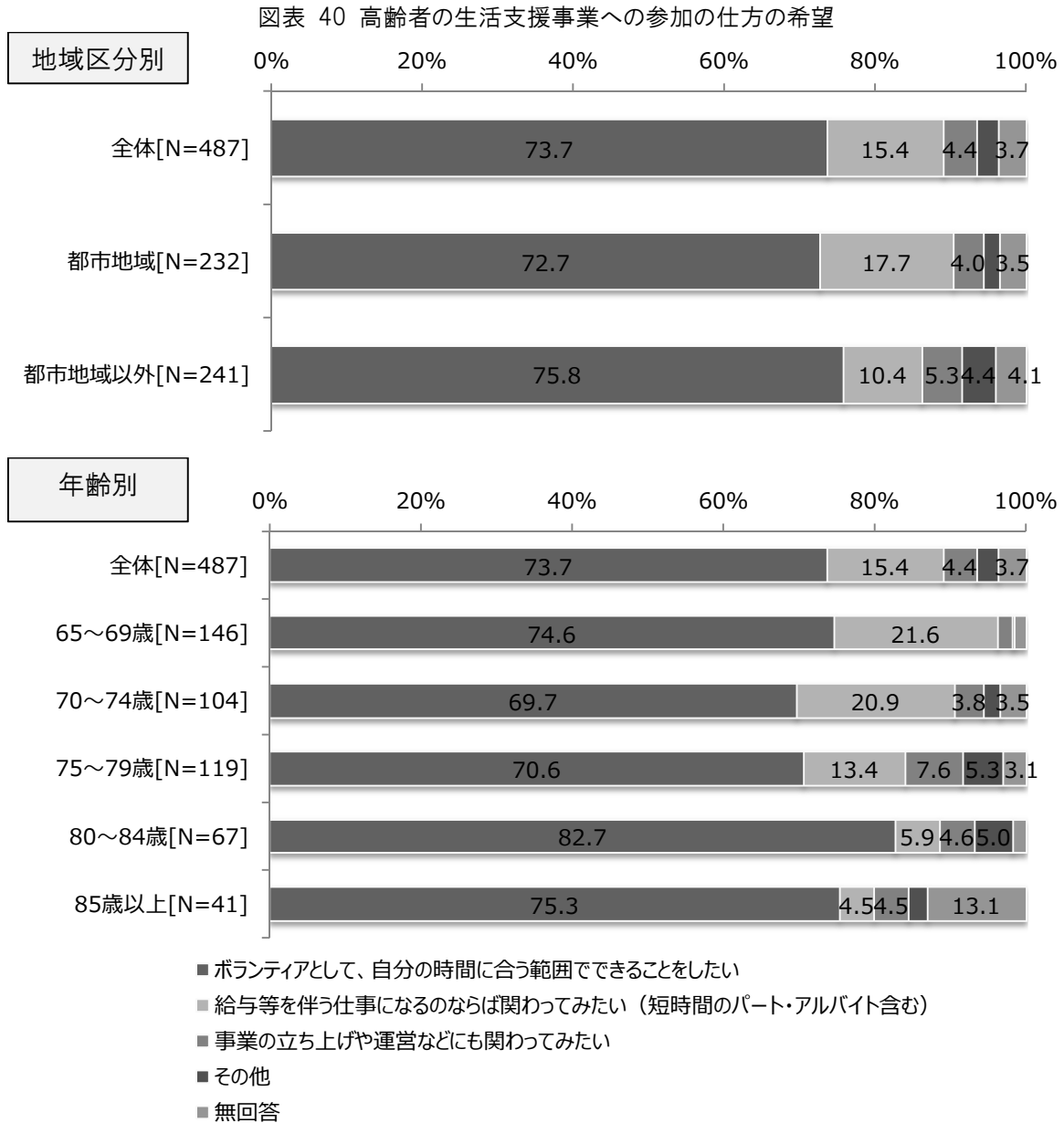
図表 39 高齢者の生活支援事業参加への興味



②高齢者の生活支援事業への参加の仕方の希望

問 37 前の問で「1. ある」と答えた方におたずねします。どのような参加の仕方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者の生活支援事業への参加に興味があると回答した人に、参加の仕方の希望について聞いたところ、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が73.7%と多くなっています。



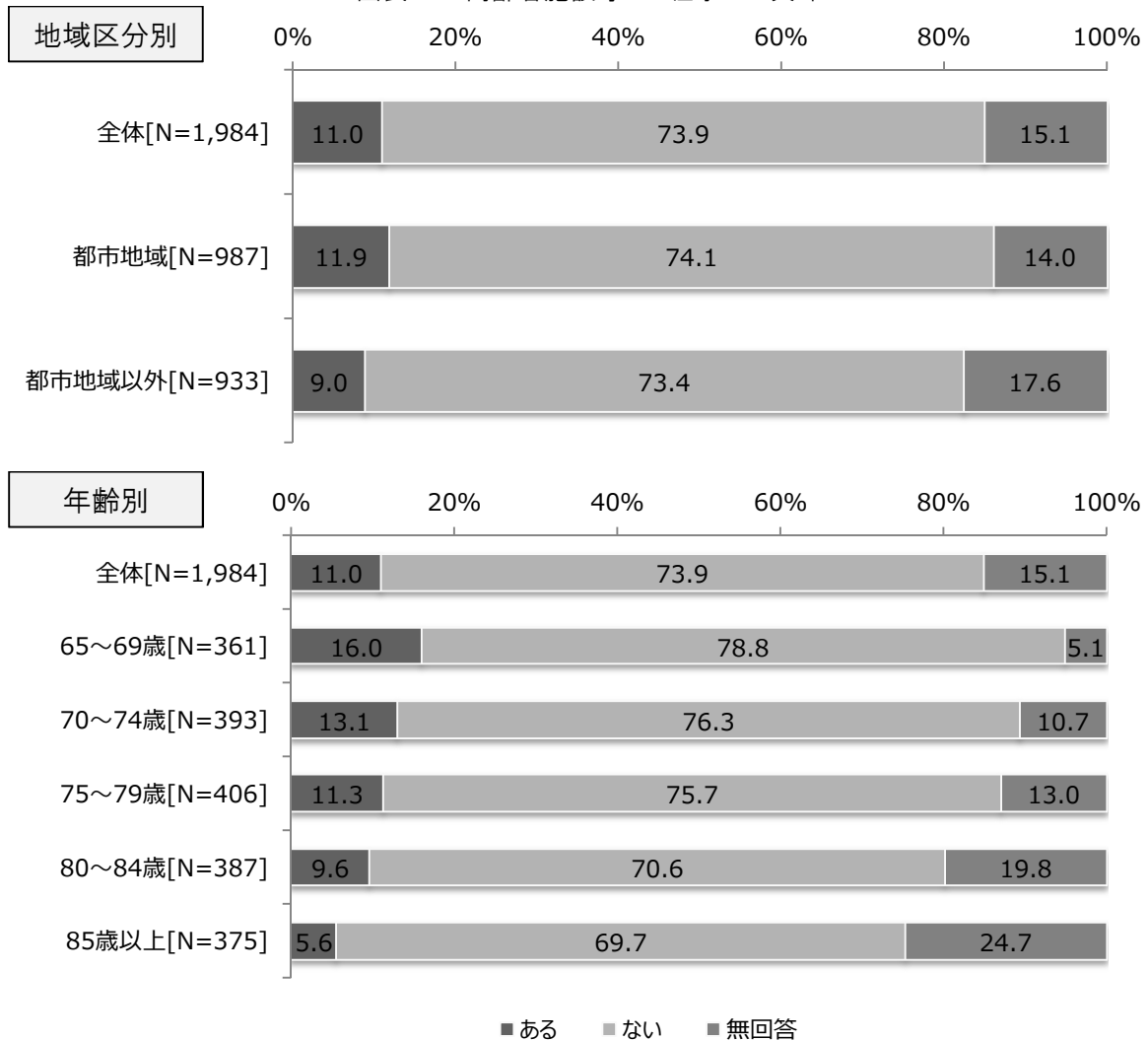
③高齢者施設等での仕事への興味

問 38 あなたは、特別養護老人ホームや老人保健施設など、高齢者の介護やリハビリ等を行う施設で仕事をするについて、興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者施設等で仕事をする事への興味について聞いたところ、「ない」が 73.9%、「ある」が 11.0%となっています。高齢者の生活支援事業と比べると、「ある」という人が少なくなっています。

年齢別で見ると、年齢の若いほど、「ある」という人の多い傾向が見られます。

図表 41 高齢者施設等での仕事への興味

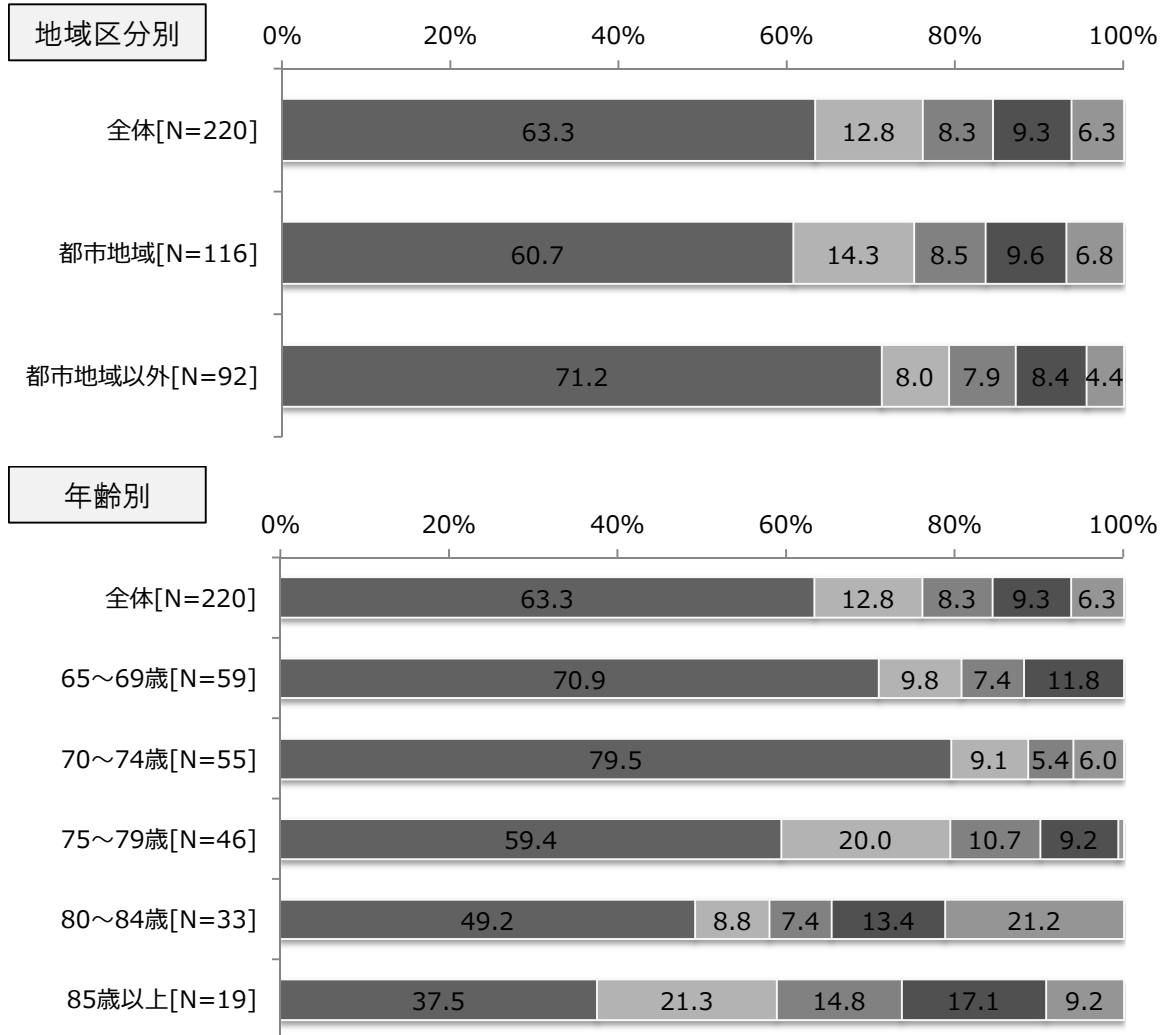


④高齢者施設等での働き方の希望

問39 前の問で「1. ある」と答えた方におたずねします。どのような働き方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者施設等で仕事をすることに興味があると回答した人に、その働き方の希望を聞いたところ、「清掃や片付けなど、専門的知識や技術を必要としない仕事」が63.3%と多くなっています。

図表 42 高齢者施設等での働き方の希望



- 清掃や片付けなど、専門的知識や技術を必要としない仕事
- 「介護助手」など、短期間の研修で専門的知識・技術を取得してから行う仕事
- 一般的な介護職員が行う仕事
- その他
- 無回答

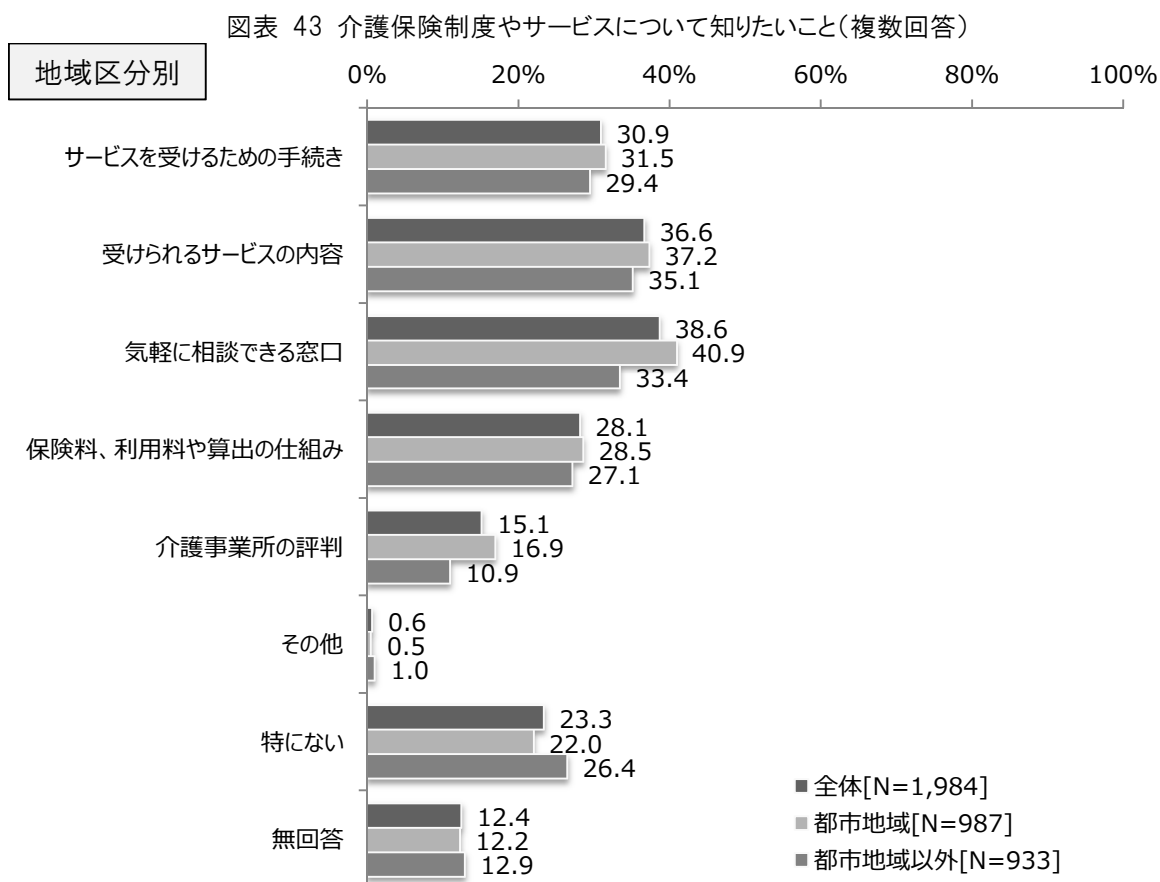
(11) 介護保険制度などについて

①介護保険制度やサービスについて知りたいこと

問 40 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険制度やサービスで知りたいことについて聞いたところ、「気軽に相談できる窓口」が38.6%、「受けられるサービスの内容」が36.6%、「サービスを受けるための手続き」が30.9%、「保険料、利用料や算出の仕組み」が28.1%等となっています。

地域区分別で見ると、都市地域で「気軽に相談できる窓口」等の割合が高くなっています。年齢別では、70歳代で全般的に知りたいことの割合が高くなっています。



年齢別	全体 [N=1,984]	65~69歳 [N=361]	70~74歳 [N=393]	75~79歳 [N=406]	80~84歳 [N=387]	85歳以上 [N=375]
サービスを受けるための手続き	30.9	25.7	34.8	33.3	31.4	29.3
受けられるサービスの内容	36.6	39.9	40.3	38.6	31.0	34.2
気軽に相談できる窓口	38.6	39.0	41.9	43.8	36.4	32.2
保険料、利用料や算出の仕組み	28.1	32.7	34.8	26.4	25.1	22.2
介護事業所の評判	15.1	18.1	16.6	14.5	14.0	12.9
その他	0.6	0.0	0.5	1.0	1.1	0.6
特にない	23.3	31.5	19.7	19.6	21.8	24.8
無回答	12.4	4.1	8.0	11.9	17.5	19.0

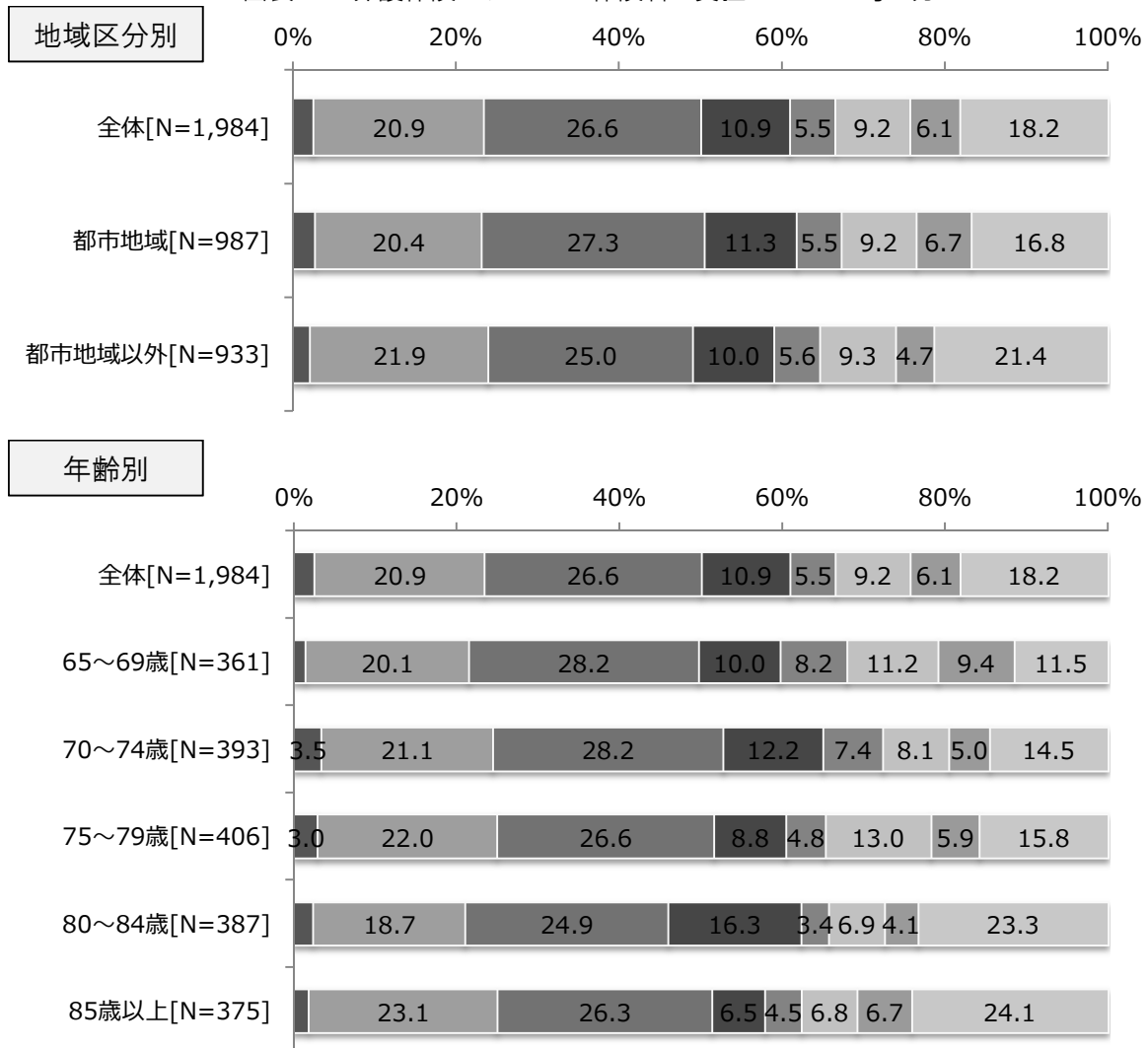
②介護保険のサービスと保険料の負担についての考え方

問 41 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

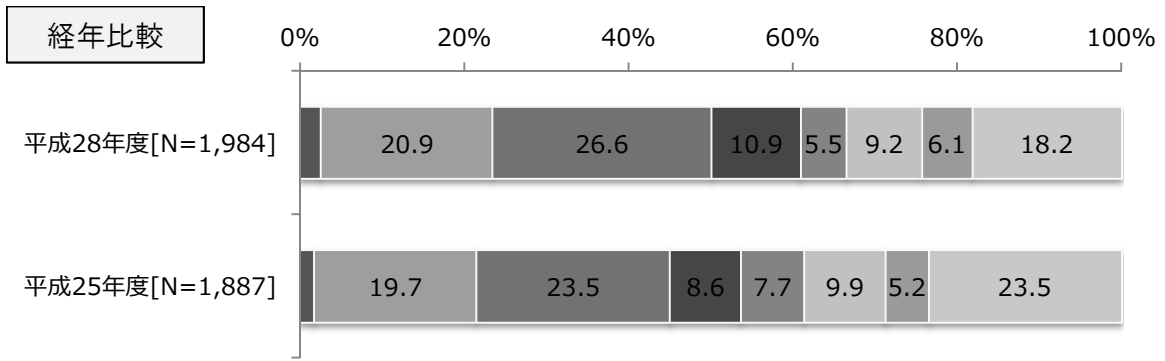
介護保険のサービスと保険料の負担についての考え方を聞いたところ、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」が26.6%と最も多く、次いで、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が20.9%となっています。

経年比較では、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」という人が増加しています。

図表 44 介護保険のサービスと保険料の負担についての考え方



- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- 利用者の負担割合（現状1～2割負担）を上げて、サービスの内容を維持すべき
- 利用者の負担割合（現状1～2割負担）を上げて、介護保険料を下げるべき
- その他
- 無回答



- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- 利用者の負担割合（現状1～2割負担）を上げて、サービスの内容を維持すべき
- 利用者の負担割合（現状1～2割負担）を上げて、介護保険料を下げるべき
- その他
- 無回答

③ 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知状況

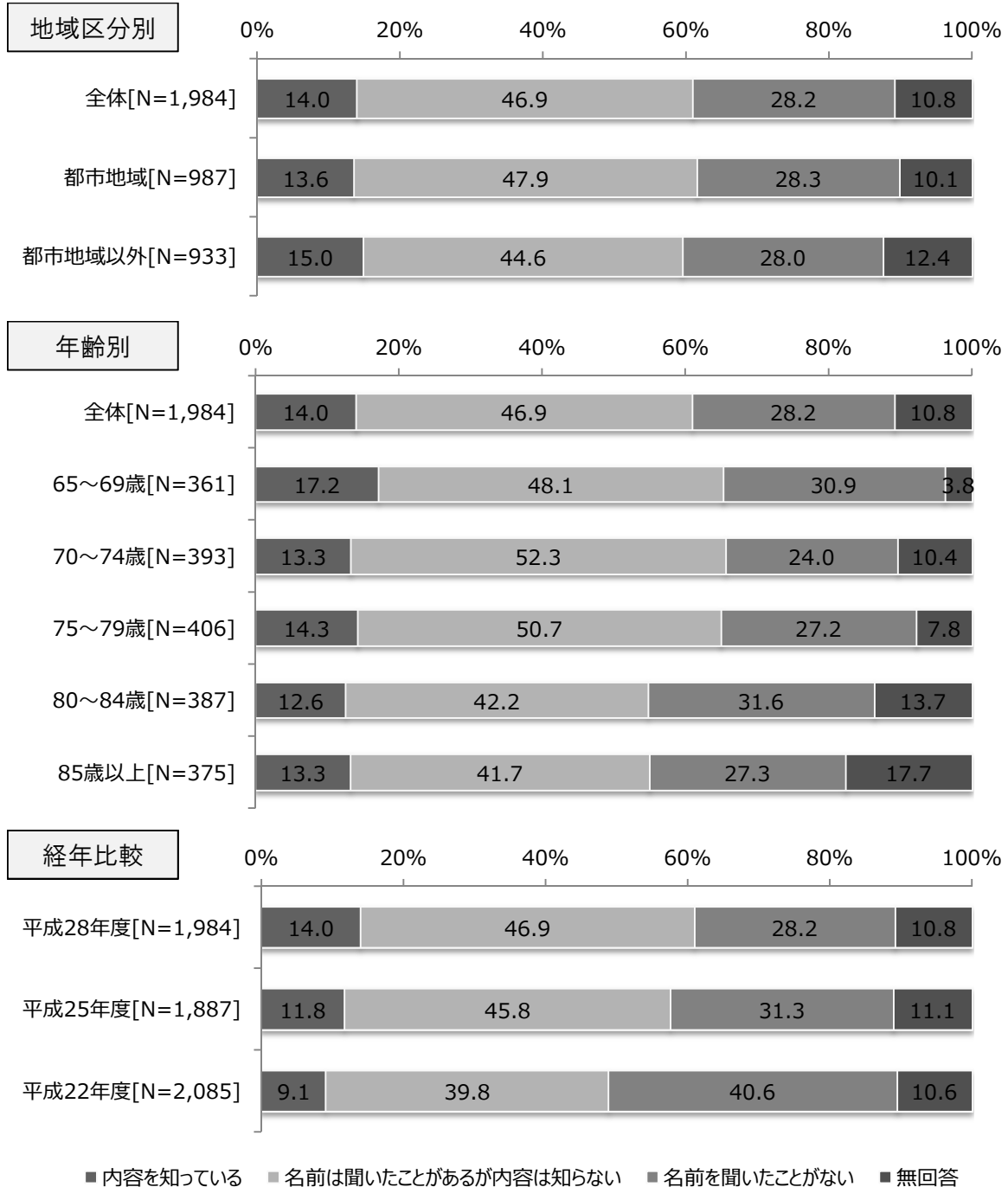
問 42 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」について、知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」が46.9%、「名前を聞いたことがない」が28.2%、「内容を知っている」が14.0%となっています。

年齢別で見ると、65～69歳で「内容を知っている」という人がやや多くなっています。

経年比較では、「名前を聞いたことがない」という人は減っており、認知状況は向上しています。

図表 45 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知



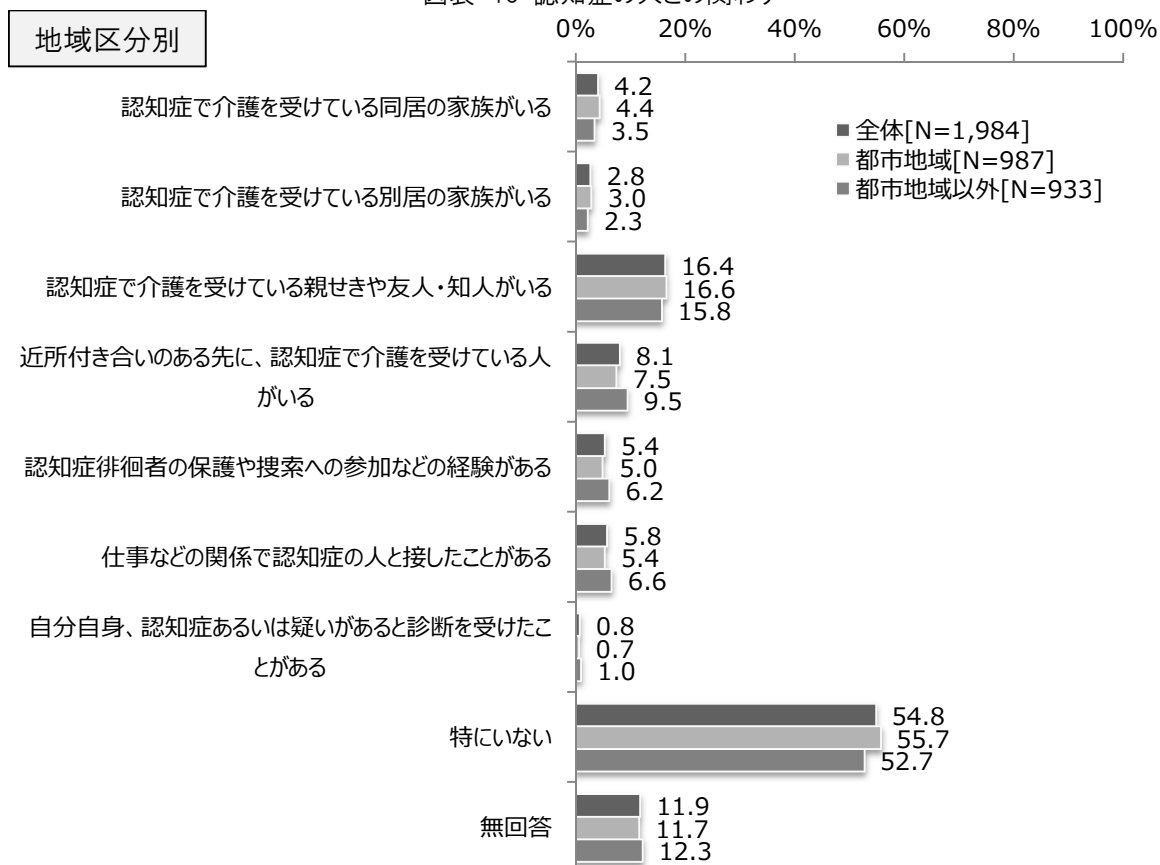
(12) 認知症について

①認知症の人との関わり

問 43 高齢化が進む中で、認知症になる高齢者も増えており、今後も認知症高齢者はさらに増加していくことが予想されます。あなたの身の回りで、認知症の人とどのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症の人との関わりについては、「特にいない」が54.8%と多くなっています。関わりのある人では、「認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる」が16.4%等となっています。

図表 46 認知症の人との関わり



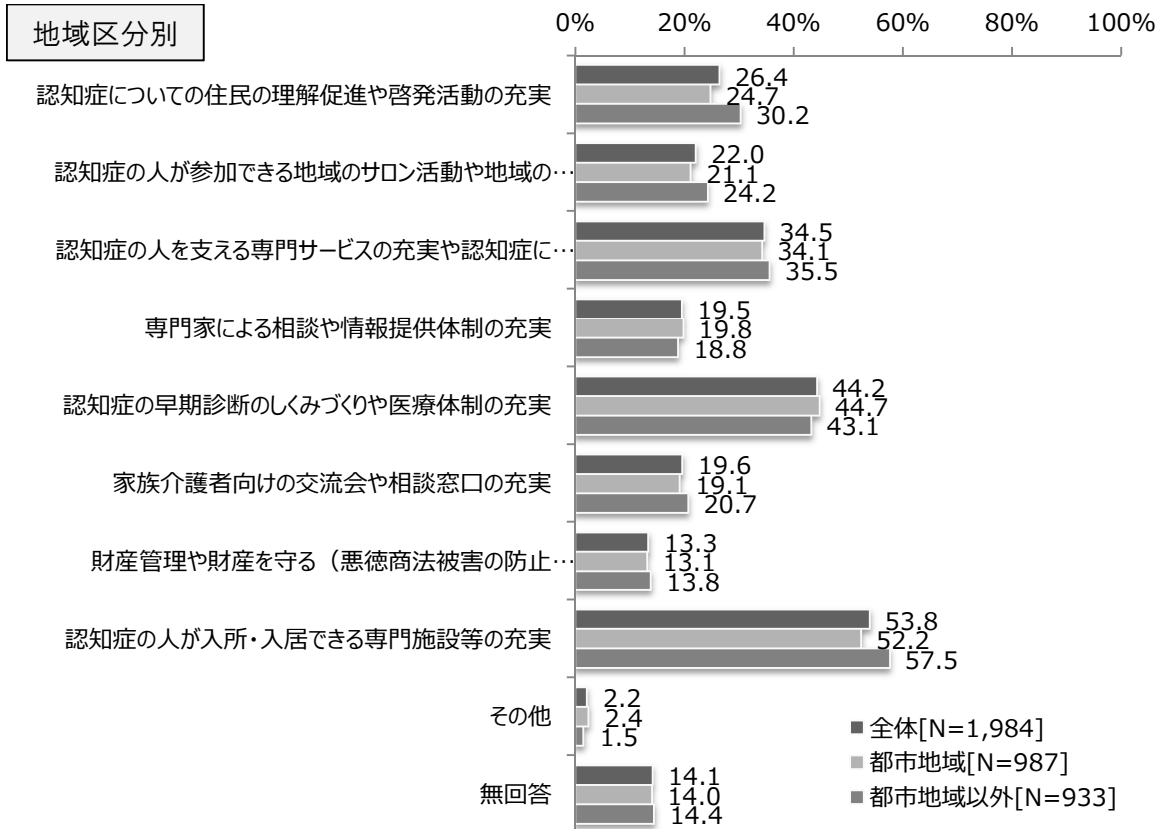
年齢別	全体 [N=1,984]	65~69歳 [N=361]	70~74歳 [N=393]	75~79歳 [N=406]	80~84歳 [N=387]	85歳以上 [N=375]
認知症で介護を受けている同居の家族がいる	4.2	4.3	3.9	4.4	5.4	2.9
認知症で介護を受けている別居の家族がいる	2.8	5.6	4.0	0.8	1.7	2.2
認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる	16.4	17.0	17.5	15.6	14.8	17.9
近所付き合いのある先に、認知症で介護を受けている人がいる	8.1	8.7	8.0	7.6	7.8	8.7
認知症徘徊者の保護や捜索への参加などの経験がある	5.4	8.0	6.4	5.4	3.5	4.0
仕事などの関係で認知症の人と接したことがある	5.8	9.8	7.2	5.9	4.1	2.3
自分自身、認知症あるいは疑いがあると診断を受けたことがある	0.8	0.1	0.8	0.8	0.9	1.4
特にいない	54.8	56.9	54.0	62.0	52.4	48.4
無回答	11.9	4.6	9.3	8.9	16.2	18.8

②認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

問 44 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が 53.8%と最も多く、次いで、「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」が 44.2%、「認知症の人を支える専門サービスの充実や認知症に詳しいケア人材の育成」が 34.5%と続いています。

図表 47 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

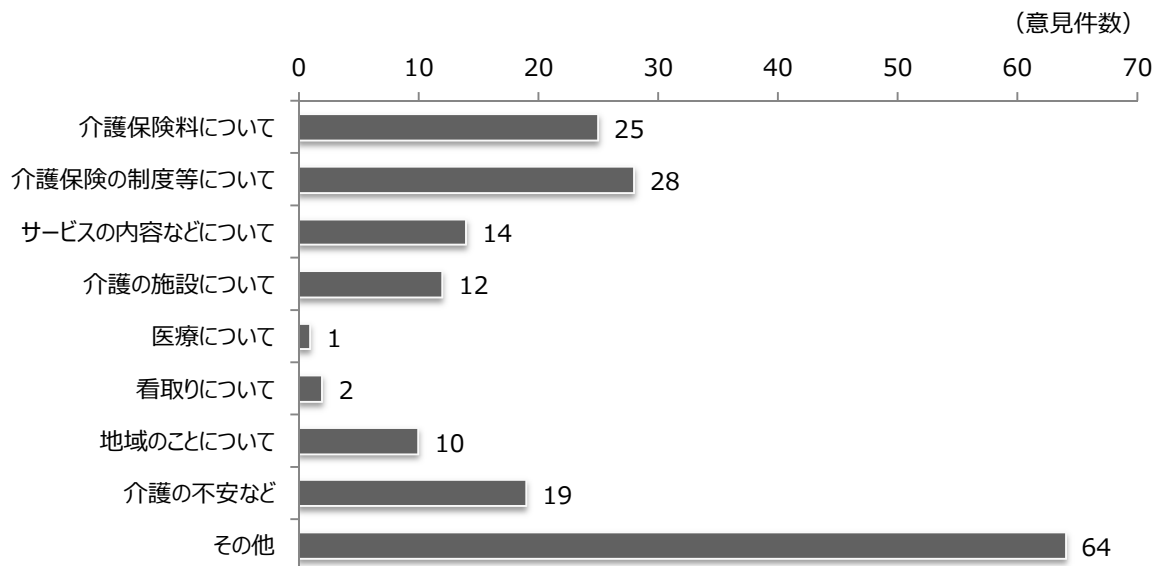


年齢別	全体 [N=1,984]	65～69歳 [N=361]	70～74歳 [N=393]	75～79歳 [N=406]	80～84歳 [N=387]	85歳以上 [N=375]
認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実	26.4	31.7	22.9	30.6	23.3	24.3
認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実	22.0	26.5	23.8	24.8	18.5	17.3
認知症の人を支える専門サービスの充実や認知症に詳しいケア人材の育成	34.5	41.1	38.4	36.7	31.9	25.0
専門家による相談や情報提供体制の充実	19.5	25.2	17.4	18.7	18.5	18.6
認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実	44.2	48.5	46.7	48.1	40.0	39.0
家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実	19.6	25.4	20.0	19.8	17.7	15.9
財産管理や財産を守る（悪徳商法被害の防止等）ための支援の充実	13.3	14.6	13.3	14.1	11.9	13.4
認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実	53.8	62.0	59.3	56.4	50.2	42.9
その他	2.2	2.9	1.3	2.7	2.5	1.3
無回答	14.1	5.8	9.0	11.4	19.7	23.1

(13) 自由意見

自由意見は、175件の記入がありました。意見内容の内訳は次のようになっています。介護保険の制度や介護保険料についての意見が多くなっています。

図表 48 自由意見の意見内容の内訳



【主な意見】

(介護保険料について)

- ・これから高齢化社会のため、介護保険等、負担を軽くしてほしい。
- ・介護保険料が高すぎると思います。もっと見直しをしなければと思います。
- ・介護保険料が上がって、国民年金者の生活が大変です。
- ・介護保険制度の維持のためには、高齢者でも、少しの負担増は仕方ないと考えます。

(介護保険の制度等について)

- ・介護保険サービスについて、高齢化社会となり、この制度は利用する人が多くなれば、保険料の値上げは確かだと思いますので、できるだけ健康年齢を長くするため、社会全体であらゆる努力をするべきではないかと考えます。
- ・介護保険制度を現状維持してほしい。独居、頼る人のいない者にとって、介護保険は、なくてはならない。住みなれた自宅でヘルパーさんに来てもらって、支えてもらえる生活を希望する。
- ・現在の介護保険制度でも、十分に存在価値があることを認めるが、現実には、もっときめ細かい対応、実施が必要と考える。

(サービスの内容などについて)

- ・在宅介護支援センターの相談員が訪問して下さったことがあり、大変心強く感じました。こういった相談員の定期的な訪問回数を多くしていただければと思います。
- ・過疎が進んで、生活全般にわたり困難さを感じます。望むところは、用事を手助けしていただけるサービスです。そのために、気軽に相談にのってくださり、気軽に援助してもらえる制度、サービス料

金が負担にならない程度のサービスを特に望みます。

(介護の施設について)

- ・団塊の世代で生活支援が必要になったとき、施設が空いているか、入所できるか心配です。なるべく健康寿命を保ちたいと思いますが、不安を感じています。
- ・今は健康ですが、もし、病気などで生活が難しくなったときのことが心配です。介護施設などに入所しなければならなくなった場合、入所できるか、また、料金のことが気になっています。

(地域のことについて)

- ・高齢者が多くなってきた今、隣近所の付き合いが、まず一番と思う。お互いが関心を持って安否確認を近所の人たちでやることを望む。
- ・車がないと生活できない土地、不便さがあるのが、一番困っています。

(介護の不安など)

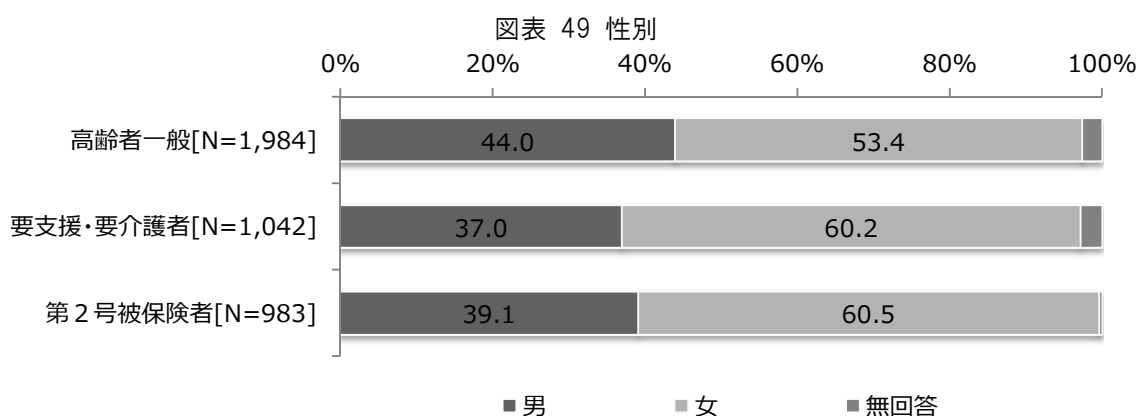
- ・今は元気ですが、この先介護が必要となった場合は、やはり不安です。
- ・高齢化社会の今後に不安を感じています。
- ・現在介護をしているので、家族の支援等の充実も図ってほしいです。預けることが難しく、家庭でみる方々も多いと思います。
- ・親を介護していますが、私達もだんだん高齢になり、施設の利用も考えています。自分の通院等もあり、不安な日々が続いています。

3. 調査間の比較

(1) 回答者の属性

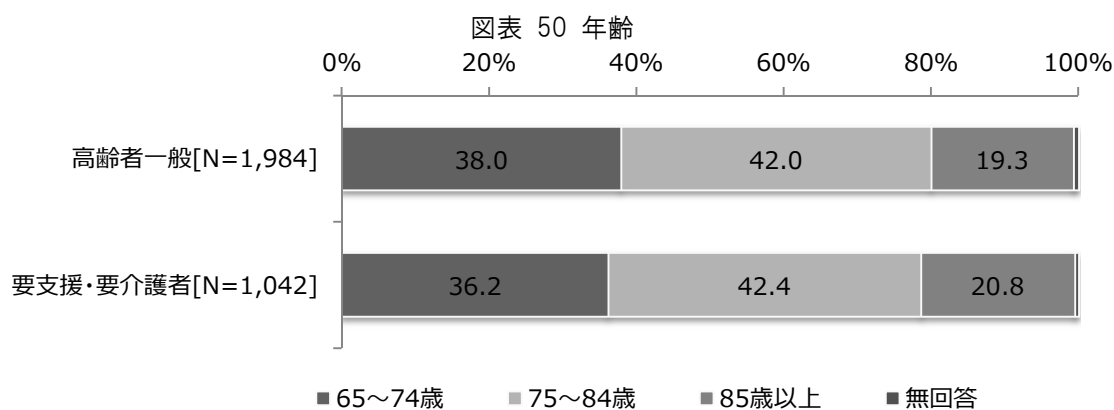
①性別

性別は、高齢者一般で「女」が53.4%、「男」が44.0%、要支援・要介護者で「女」が60.2%、「男」が37.0%、第2号被保険者で「女」が60.5%、「男」が39.1%となっています。いずれの調査も女性の比率が高くなっています。



②年齢

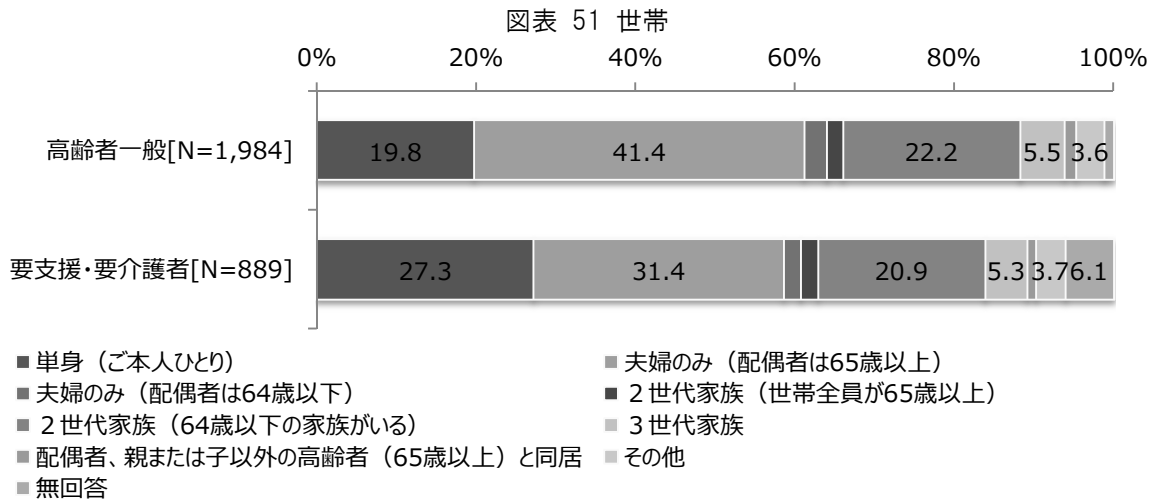
年齢は、高齢者一般で「65～74歳」が38.0%、「75～84歳」が42.0%、「85歳以上」が19.3%となっています。要支援・要介護者では「65～74歳」が36.2%、「75～84歳」が42.4%、「85歳以上」が20.8%となっています。



③世帯

世帯については、高齢者一般で、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が41.4%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が22.2%、「単身（ご本人ひとり）」が19.8%等となっています。

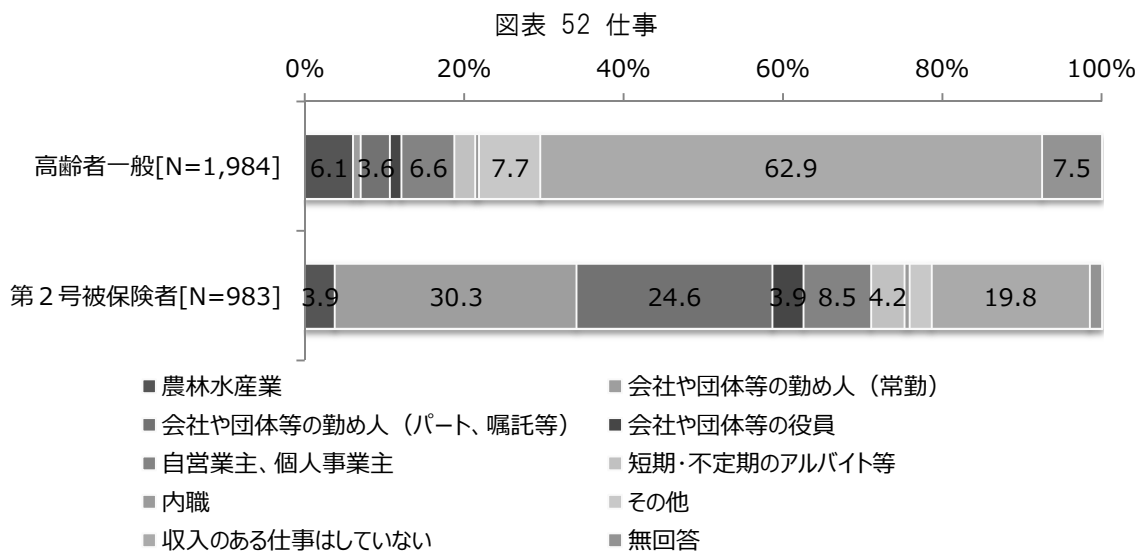
また、要支援・要介護者で、一般の住宅で生活している人の世帯は、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が31.4%、「単身（ご本人ひとり）」が27.3%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が20.9%等となっています。いずれも単身、夫婦のみ世帯が高い割合です。



④仕事

仕事は、第2号被保険者では、「会社や団体等の勤め人（常勤）」が30.3%と最も高く、次いで、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が24.6%「収入のある仕事はしていない」が19.8%となっています。

高齢者一般では「収入のある仕事はしていない」が62.9%となっており、仕事をしている人では、「自営業主、個人事業主」が6.6%、「農林水産業」が6.1%等となっています。「農林水産業」は第2号被保険者より高齢者一般で高い割合となっています。

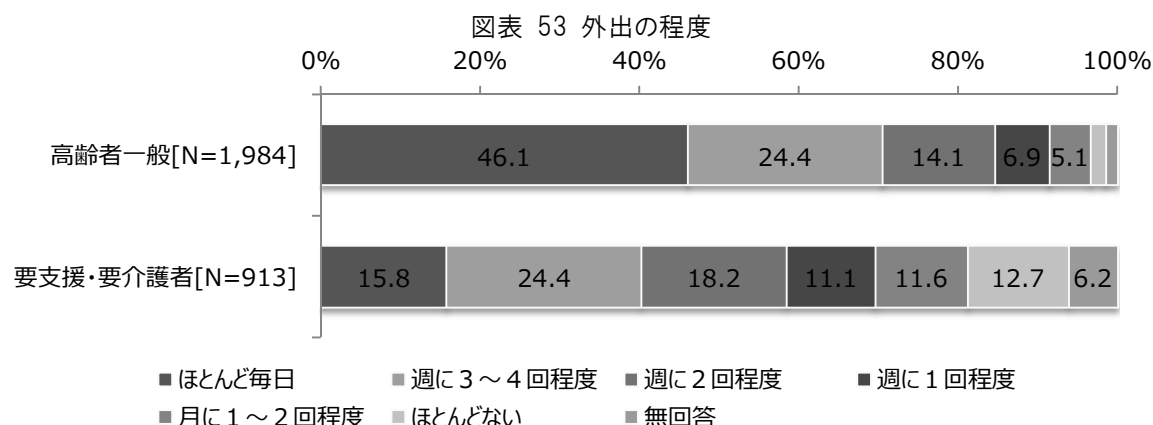


(2) 日常生活について

①外出の程度

高齢者に対し、外出の程度を聞いたところ、高齢者一般では、「ほとんど毎日」が46.1%、「週に3～4回程度」が24.4%となっています。

一方、在宅の要支援・要介護者では、「週に3～4回程度」が24.4%、「週に2回程度」が18.2%等となっており、外出の減っている様子がうかがえます。

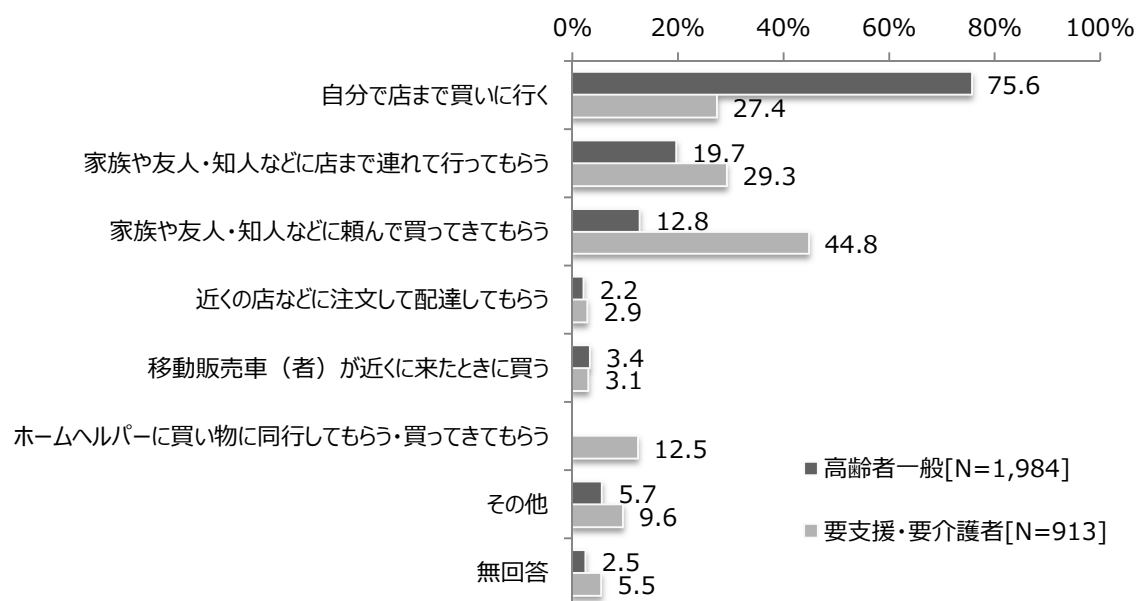


②買い物の状況

高齢者に対し、現在の買い物の方法を聞いたところ、高齢者一般では、「自分で店まで買いに行く」が75.6%と多くを占めます。また、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が19.7%、「家族や友人・知人などに頼んで買ってもらう」が12.8%となっています。

一方、在宅の要支援・要介護者では、「家族や友人・知人などに頼んで買ってもらう」が44.8%と半数近くを占めており、次いで、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が29.3%となっており、多くの人が家族等を頼って買い物をしている様子がうかがえます。

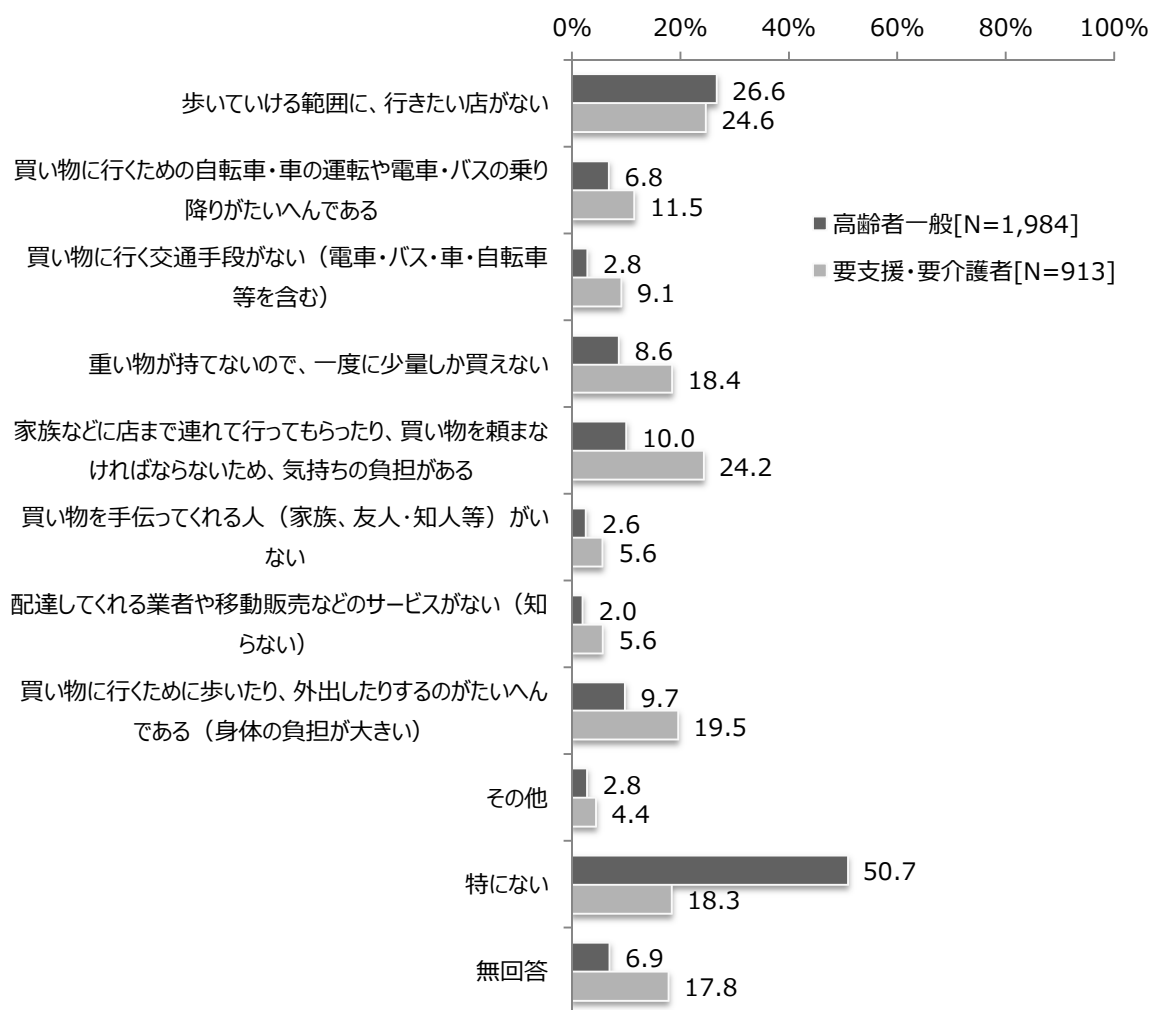
図表 54 買い物の方法(複数回答)



また、買い物で困っていることについては、高齢者一般では「特にない」が 50.7%と半数を占めます。困っていることに関しては、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が 26.6%等となっています。

一方、在宅の要支援・要介護者では、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が 24.6%、「家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある」が 24.2%、「買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである（身体の負担が大きい）」が 19.5%等と比較的高い割合となっており、「特にない」という人は 18.3%と 2 割以下になっています。

図表 55 買い物で困っていること(複数回答)



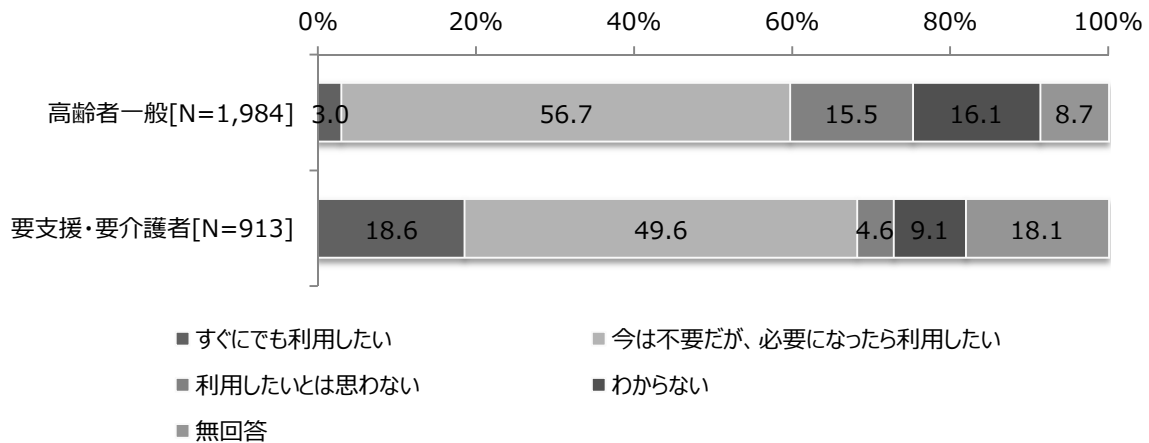
③高齢者の生活支援サービスの利用意向

高齢者に対し、高齢者の生活支援サービスの利用意向について聞いたところ、高齢者一般では、「今は不要だが、必要になったら利用したい」が56.7%と多くなっています。

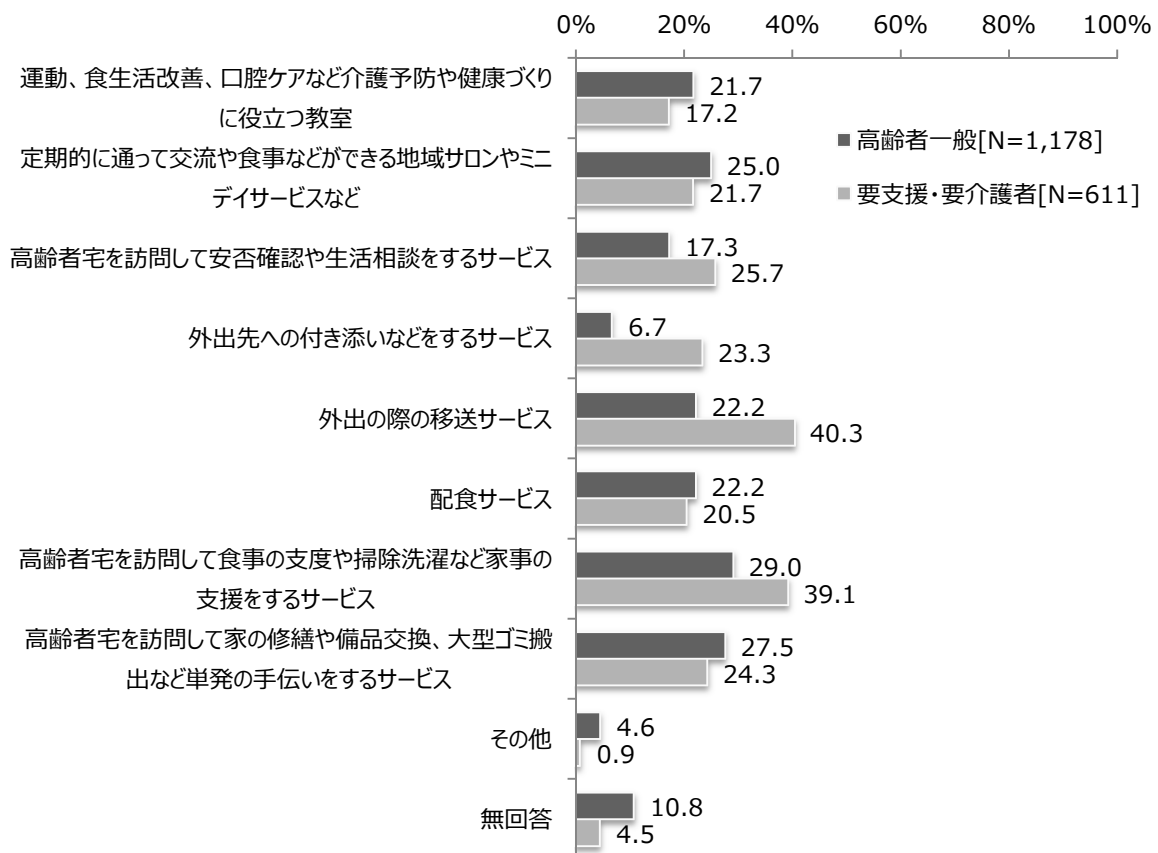
一方、在宅の要支援・要介護者でも、「今は不要だが、必要になったら利用したい」が49.6%と多くなっていますが、「すぐにでも利用したい」も18.6%と比較的高い割合です。

また、利用したいサービスについては、高齢者一般と比べて、在宅の要支援・要介護者では、「外出の際の移送サービス」や「高齢者宅を訪問して食事の支度や掃除洗濯など家事の支援をするサービス」などの利用意向が高い割合となっています。

図表 56 高齢者の生活支援サービスの利用意向



図表 57 高齢者の生活支援サービスで利用したいもの(複数回答)

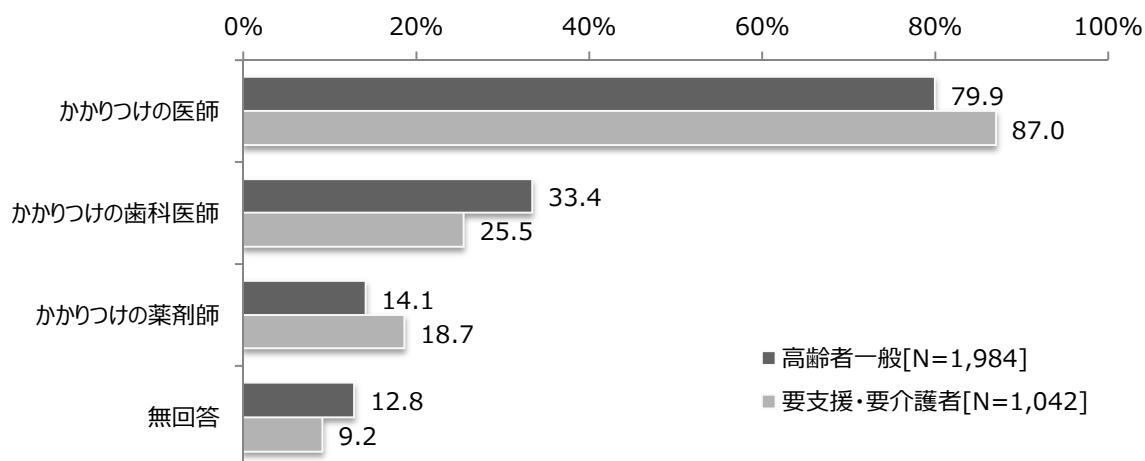


(3) 医療等の状況について

① かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無

高齢者に対し、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無について聞いたところ、「かかりつけの医師」については、高齢者一般で 79.9%、要支援・要介護者で 87.0%となっており、多くの高齢者にかかりつけの医師がいます。

図表 58 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無(複数回答)

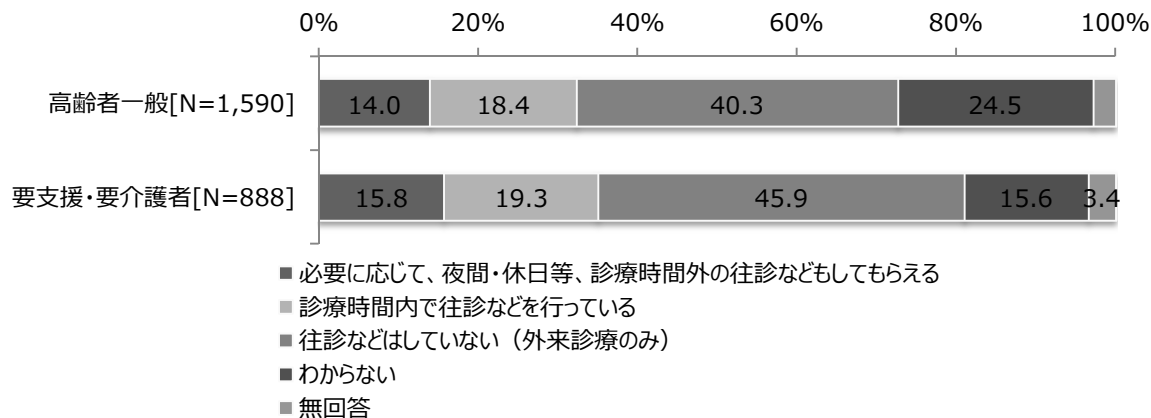


② かかりつけ医の往診対応

かかりつけ医が「いる」と回答した高齢者に、かかりつけ医の往診対応を聞いたところ、高齢者一般では「往診などはしていない(外来診療のみ)」が 40.3%、「わからない」が 24.5%、「診療時間内で往診などを行っている」が 18.4%、「必要に応じて、夜間・休日等、診療時間外の往診などもしてもらえる」が 14.0%となっています。

一方、要支援・要介護者では、「往診などはしていない(外来診療のみ)」が 45.9%、「診療時間内で往診などを行っている」が 19.3%、「必要に応じて、夜間・休日等、診療時間外の往診などもしてもらえる」が 15.8%となっています。

図表 59 かかりつけ医の往診対応

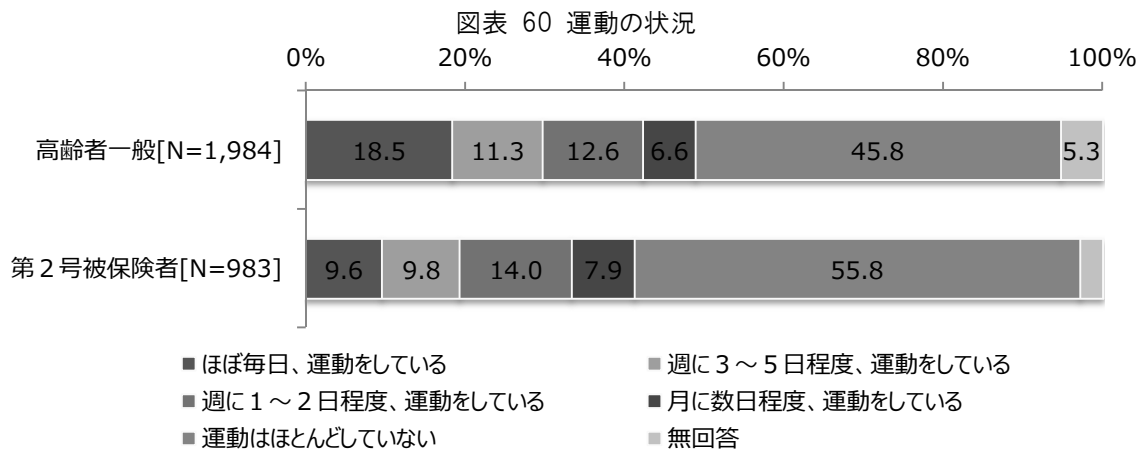


(4) 健康について

①運動の状況

運動の状況は、高齢者一般では、「運動はほとんどしていない」が 45.8%である一方、「ほぼ毎日、運動をしている」も 18.5%となっています。

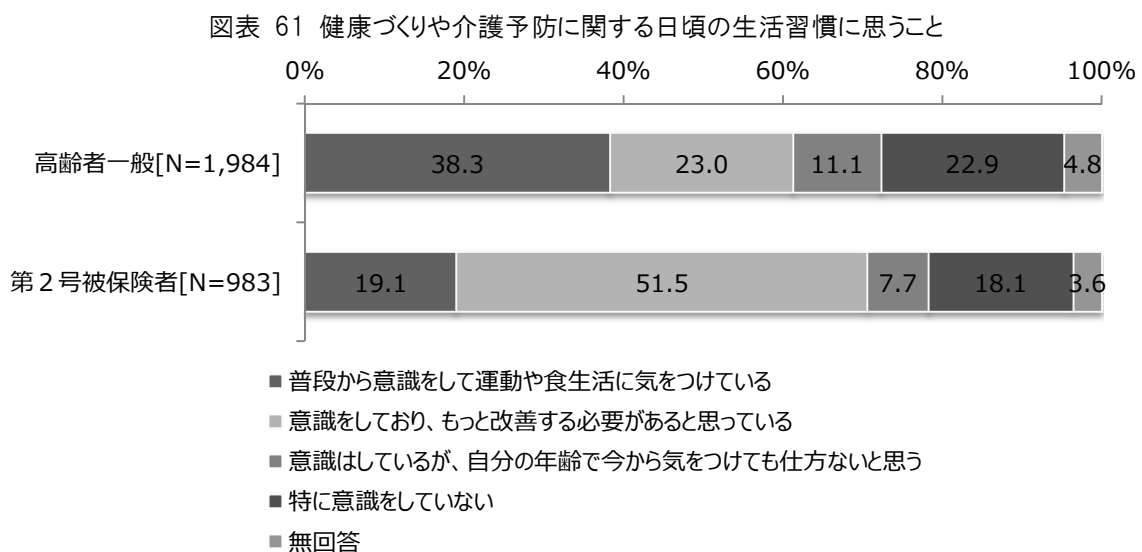
第2号被保険者では、「運動はほとんどしていない」が 55.8%を占め、次いで、「週に1～2日程度、運動をしている」が 12.6%となっています。高齢者に比べて、第2号被保険者は運動をしていない人が多くなっています。



②健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣

健康づくりや介護予防に関し、日頃の生活習慣について聞いたところ、高齢者一般では、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が 38.3%と最も多くなっており、次いで、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が 23.0%となっています。

第2号被保険者では、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が 51.5%と半数以上を占め、次いで、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が 19.1%となっています。高齢者に比べて、第2号被保険者は意識をしている人は多いですが、普段から気をつけている人は少ない傾向が見られます。

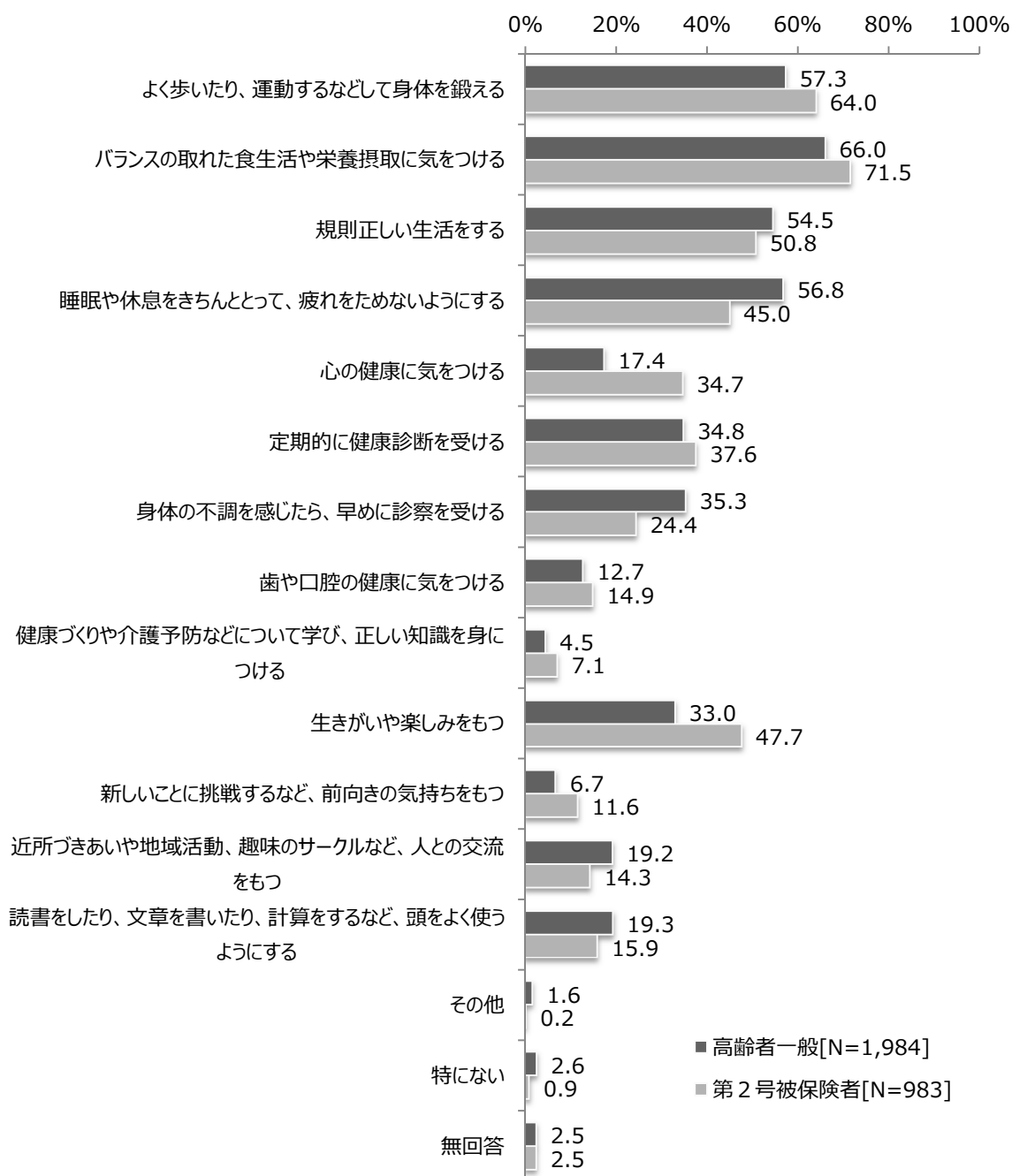


③健康づくり等で重要と思うこと

健康づくり等で重要と思うことは、高齢者一般では、「バランスの取れた食生活や栄養摂取に気をつける」が66.0%と最も高くなっており、次いで、「よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える」が57.3%と続いています。

一方、第2号被保険者では、「バランスの取れた食生活や栄養摂取に気をつける」が71.5%と最も高く、次いで、「よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える」が64.0%となっています。また、「生きがいや楽しみをもつ」ことも47.7%と高い割合です。高齢者も第2号被保険者もほぼ同様なことを重要と考えていますが、第2号被保険者では生きがいや楽しみを持つこと、こころの健康に気をつけることなどの割合が高齢者と比べて高くなっています。

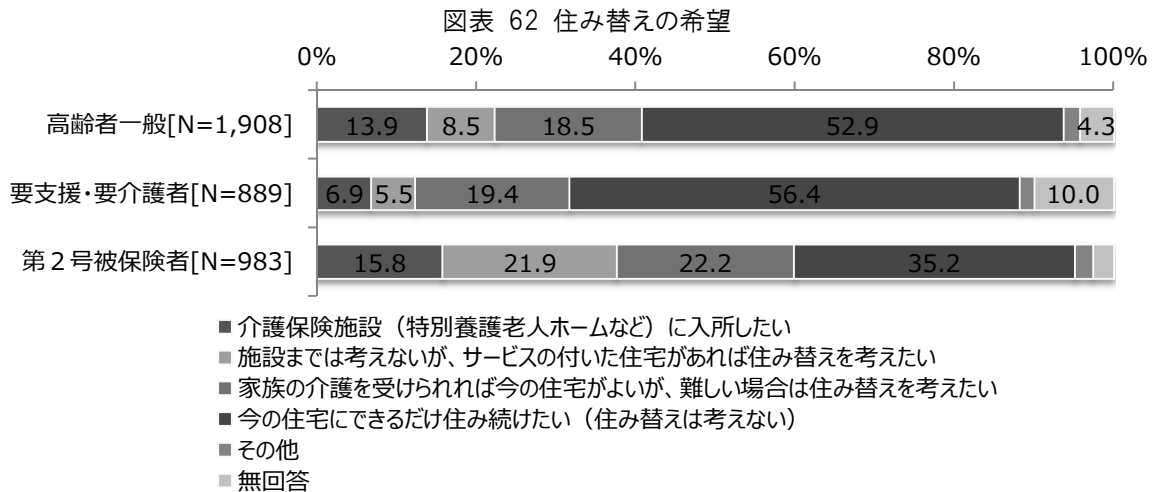
図表 1 健康づくり等で重要と思うこと(複数回答)



(5) 住まい、住み替えなどについて

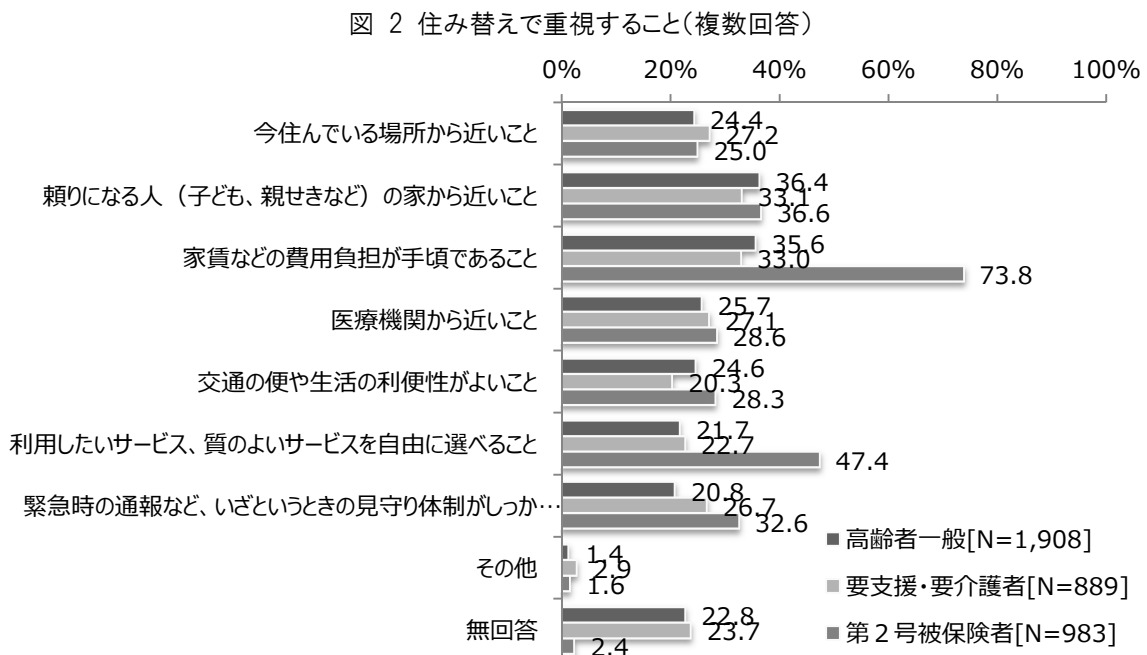
①住み替えの希望

将来の住み替えの希望は、高齢者一般、要支援・要介護者では、「今の住宅にできるだけ住み続けたい（住み替えは考えない）」が半数以上となっており、高齢者では、現在の場所に住み続けたいという人が多くなっています。一方、第2号被保険者では、「今の住宅にできるだけ住み続けたい（住み替えは考えない）」が35.2%となっている一方、施設入所や住み替えを考える人も多くなっています。



②住み替えで重視すること

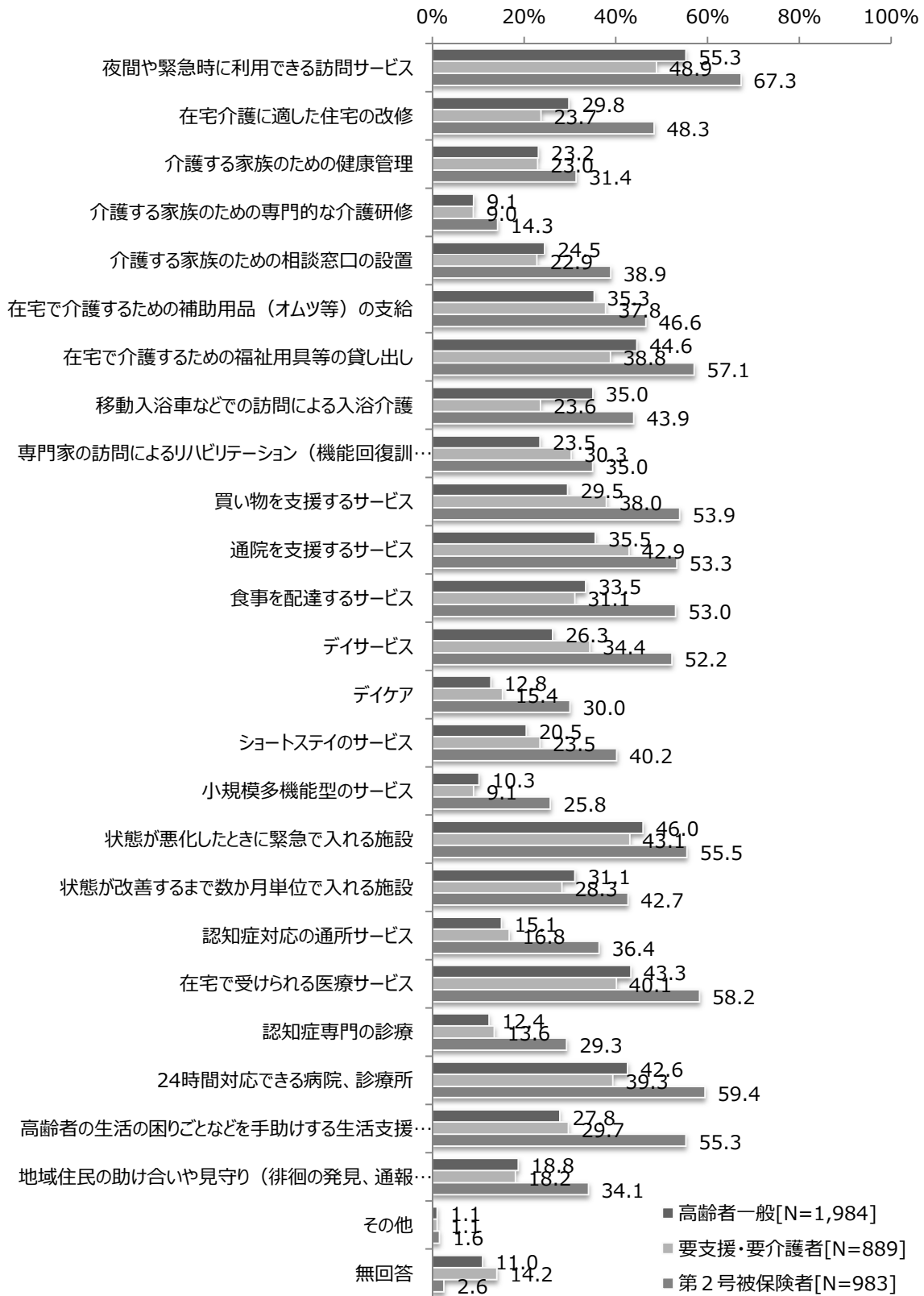
住み替えで重視することとしては、高齢者一般、要支援・要介護者では、「頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」などが高い割合となっています。一方、第2号被保険者では、「家賃などの費用負担が手頃であること」や「利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること」が高い割合となっており、第2号被保険者で費用負担やサービス選択の自由を特に重視する人が多くなっています。



③在宅生活に必要なサービス

在宅生活のために必要と思うサービスについて聞いたところ、高齢者に比べ、全般的に第2号被保険者で必要と思う割合が高くなっています。

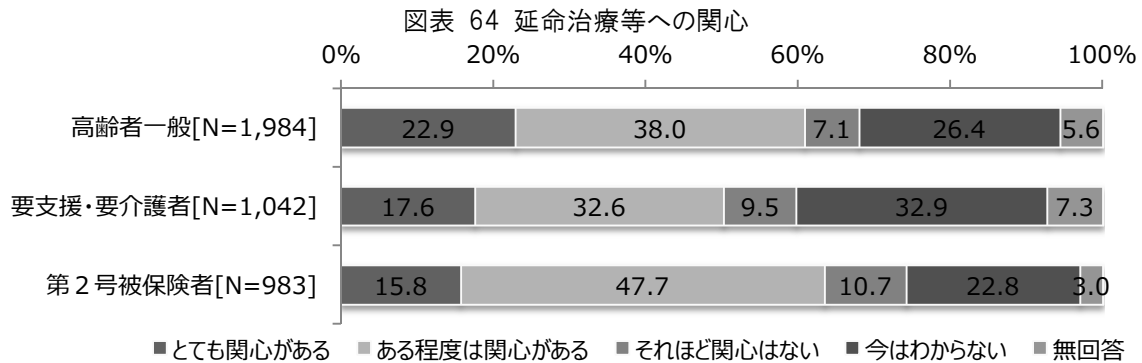
図表 63 在宅生活に必要なサービス(複数回答)



(6) 看取りなどについて

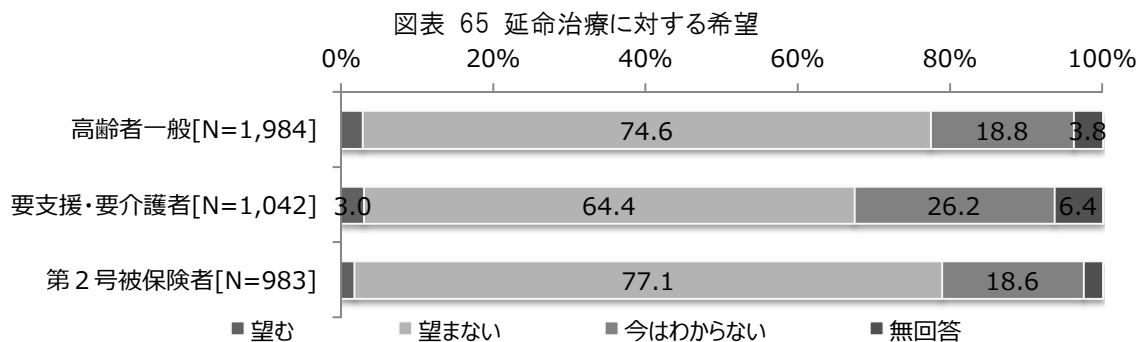
①延命治療等への関心

延命治療等への関心について聞いたところ、高齢者一般、第2号被保険者では関心のある人が約6割となっています。一方、要支援・要介護者では関心のある人がほぼ半数となっています。



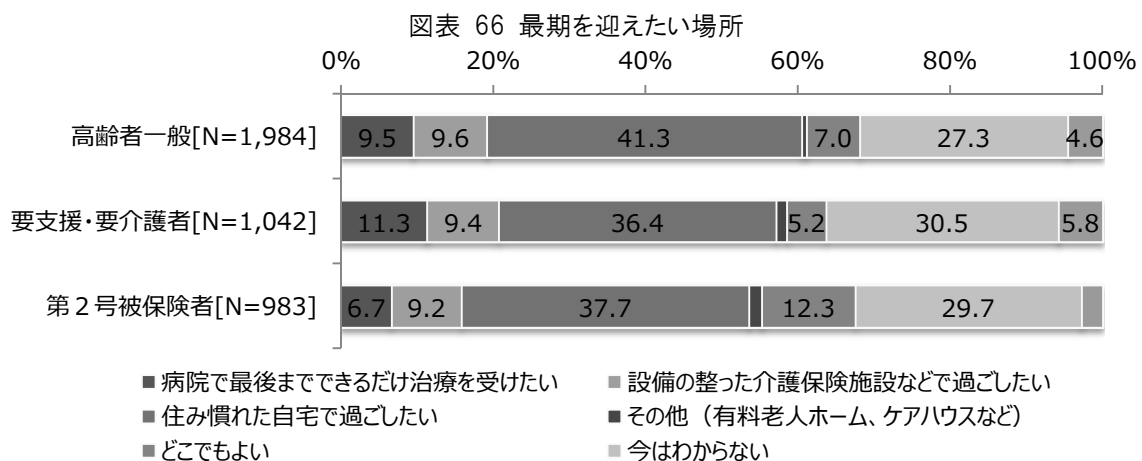
②延命治療に対する希望

延命治療に対する希望は、延命治療は「望まない」という人がいずれも多くなっています。要支援・要介護者では「今はわからない」という人も比較的多くなっています。



③最期を迎えたい場所

最期を迎えたい場所については、「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人が多くなっています。一方、「今はわからない」という人がいずれも3割弱見られます。

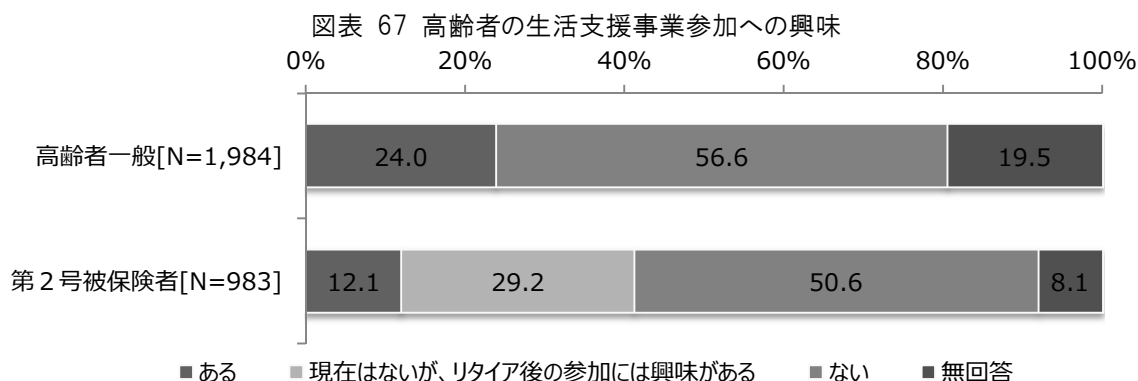


(7) 高齢者の生活支援や介護の仕事について

① 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

高齢者の生活支援事業について、参加することへの興味の有無を聞いたところ、高齢者一般では「ない」が56.6%、「ある」が24.0%となっています。

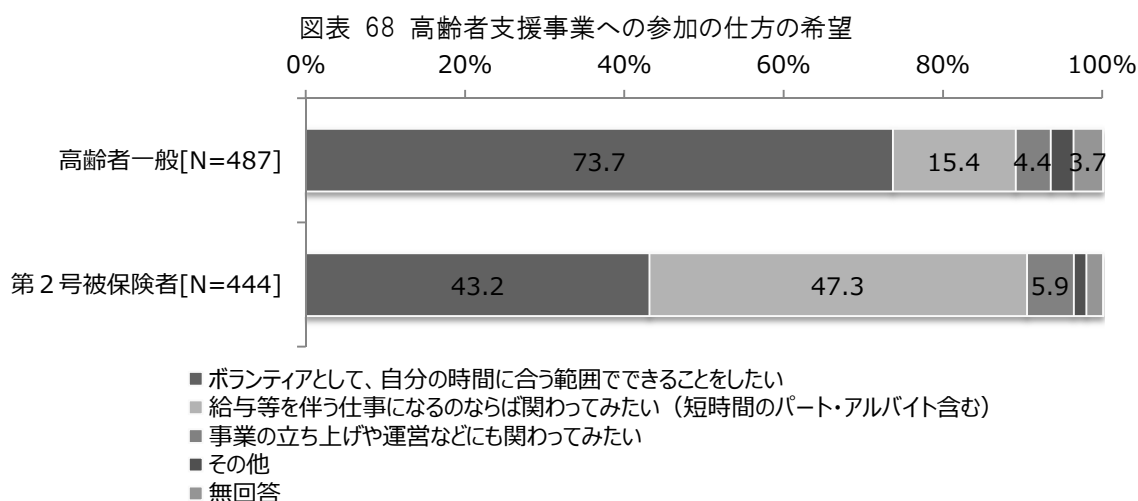
第2号被保険者では、「ない」が50.6%、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が29.2%、「ある」が12.1%となっており、高齢期になってからの参加意向のある人も比較的多くなっています。



② 高齢者支援事業への参加の仕方の希望

高齢者支援事業への参加に興味があると回答した人に、参加の仕方の希望について聞いたところ、高齢者一般では、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が73.7%と多くなっています。

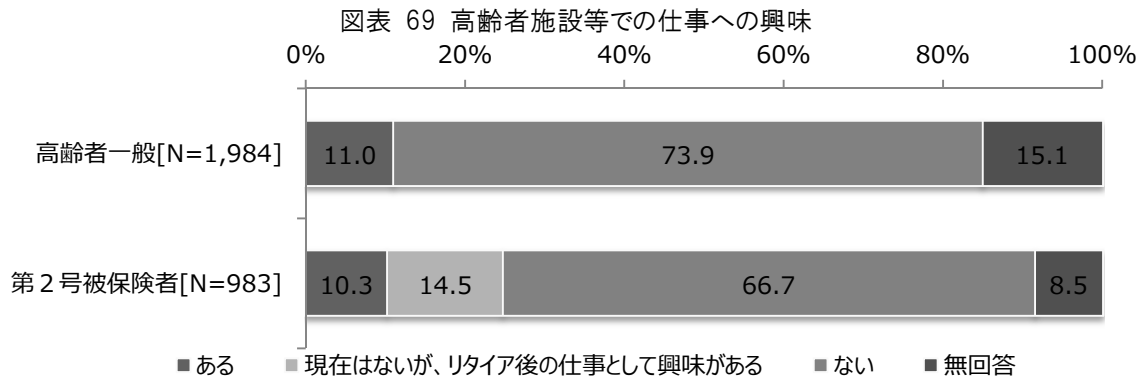
一方、第2号被保険者では、「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい（短時間のパート・アルバイト含む）」が47.3%となっており、仕事として考える人が多くなっています。



③高齡者施設等での仕事への興味

高齡者施設等で仕事をする事への興味について聞いたところ、高齡者一般では「ない」が73.9%、「ある」が11.0%となっています。

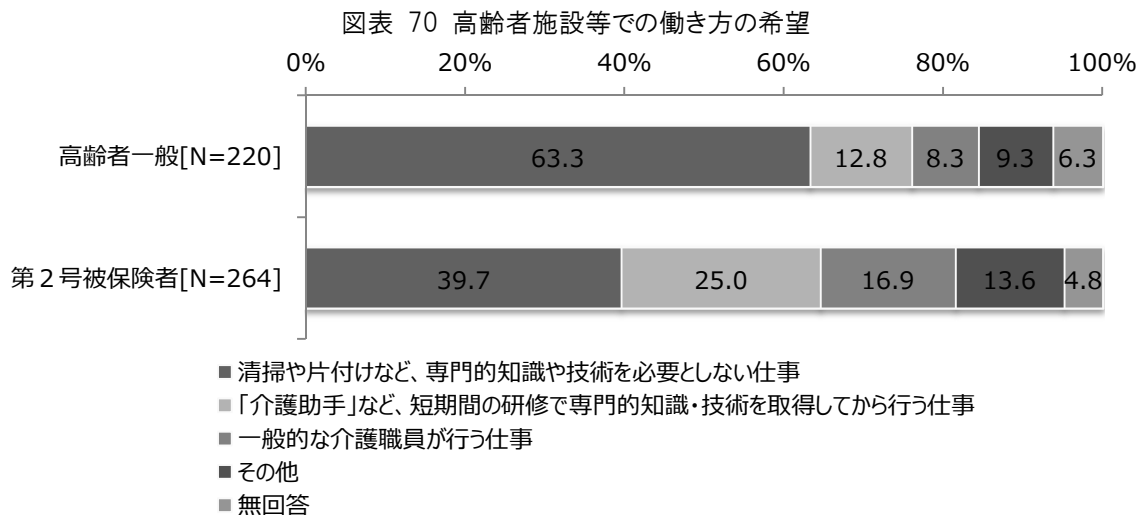
第2号被保険者では、「ない」が66.7%、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が14.5%、「ある」が10.3%となっています。いずれも、生活支援事業よりも参加意向は低くなっています。



④高齡者施設等での働き方の希望

高齡者施設等で仕事をする事に興味があると回答した人に、その働き方の希望を聞いたところ、高齡者一般では、「清掃や片付けなど、専門的知識や技術を必要としない仕事」が63.3%と最も多くなっています。

一方、第2号被保険者でも、「清掃や片付けなど、専門的知識や技術を必要としない仕事」が39.7%と最も多いものの、「「介護助手」など、短期間の研修で専門的知識・技術を取得してから行う仕事」の希望も比較的多く見られます。



(8) 介護保険制度等について

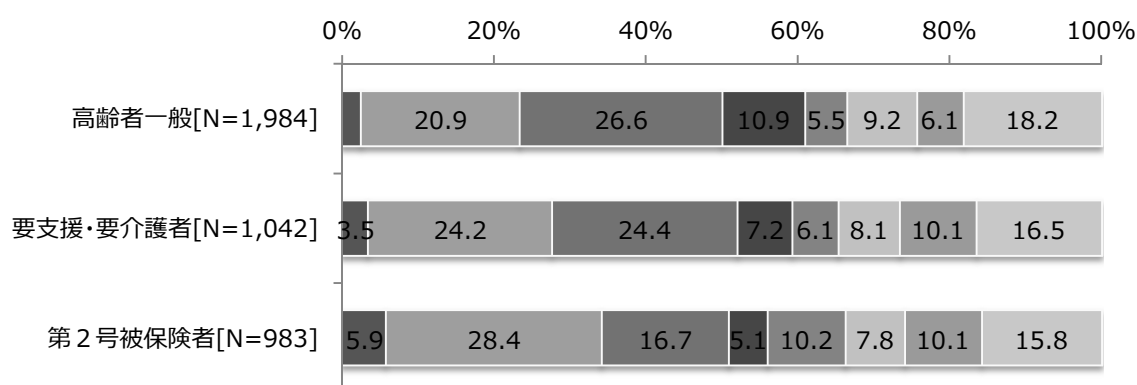
① サービスと保険料負担についての考え方

サービスと保険料負担についての考え方を聞いたところ、高齢者一般では、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」が26.6%と最も多くなっています。要支援・要介護者では、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」と「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が、ほぼ同じ割合となっています。

一方、第2号被保険者では、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が28.4%と最も多くなっています。

介護保険料については、高齢者では、介護保険料は現状程度にすべきという人がやや多い傾向が見られますが、第2号被保険者では、介護保険料が上がってもよい・仕方ないという人が多くなっています。

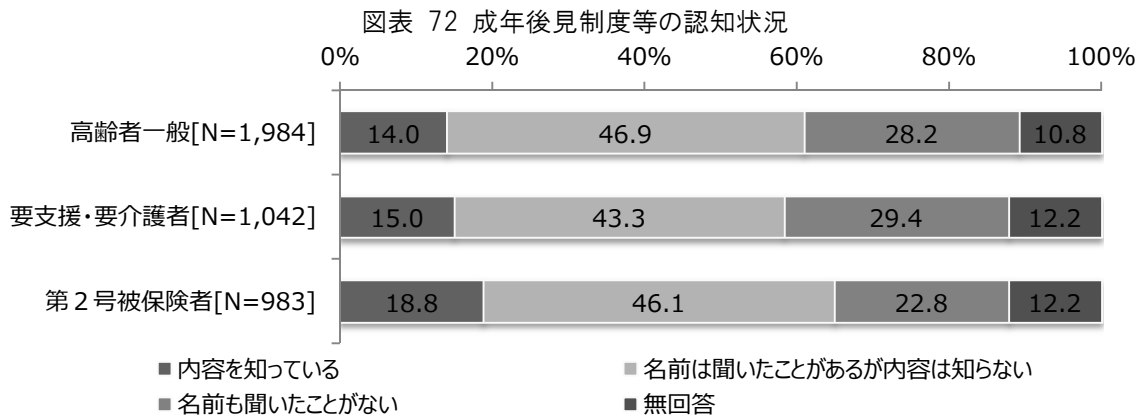
図表 71 サービスと保険料負担についての考え方



- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実すべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- 利用者の負担割合（現状1～2割負担）を上げて、サービスの内容を維持すべき
- 利用者の負担割合（現状1～2割負担）を上げて、介護保険料を下げるべき
- その他
- 無回答

②成年後見制度等の認知状況

成年後見制度等を知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」という人が、高齢者一般では46.9%、要支援・要介護者では43.3%、第2号被保険者では46.1%となっています。



(9) 認知症について

①認知症の人との関わり

認知症の人との関わりについては、高齢者一般、第2号被保険者とも、「特にいない」という人が多くなっています。第2号被保険者では、「仕事などの関係で認知症の人と接したことがある」という人も比較的に見られます。

